

取扱説明書

ワイヤレス LAN カード FMV-JW481/2

(ワイヤレス LAN ドライバ V4.1.2.71 対応)

はじめに

このたびは、弊社の FMV シリーズ用ワイヤレス LAN カード（FMV-JW482 または FMV-JW481）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、ワイヤレス LAN カード（以降、本製品）の基本的な取り扱い方法と、ワイヤレス LAN（無線 LAN）通信を行うための設定方法について説明しています。お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2005 年 10 月

ご注意

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（●▶ P.4）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品は、社団法人 日本電子工業振興協会の PC カードガイドラインに適しています。

本製品のご利用について

本製品は、ご利用になるパソコン本体の仕様との整合を確認の上、お使いください。

保守部品供給期間について

本製品の保守部品の供給期間は、販売終了後 5 年間とさせていただきます。

このマニュアルの表記について



■ 画面例およびイラスト

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種や状況によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。

■ クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をシングルクリックで記述しています。設定によっては、ダブルクリックに読み替えてください。

■ 本文中の記号

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■ 製品の呼び方

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記	
ワイヤレス LAN カード FMV-JW482	FMV-JW482	本製品
ワイヤレス LAN カード FMV-JW481	FMV-JW481	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004		
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005		
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition		
Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005		
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	Windows
Microsoft® Windows® XP Service Pack 1	Windows XP、または SP1	

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載	Windows XP、または SP2

■ 商標について

Atheros、the Atheros logo、Super AG、Super G は、Atheros Communications, Inc.の商標または登録商標であり、弊社は同社の許可に基づき当該商標を使用しています。



Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標であり、弊社へライセンスされています。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。

インテル、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品のドライバの著作権は、Atheros Communications, Inc.にあります。

本製品添付のユーティリティ「Mr.WLANner（ミスターランナー）」の著作権は、富士通株式会社にあります。



その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005




安全上のご注意

■安全にお使いいただくための絵記号

本書では、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様自身や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

警告



- 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに本製品をセットしているパソコン本体の電源スイッチ（MAINスイッチなど）を切ってください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して「4 お問い合わせ先」（●▶P. 212）、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因になります。



- 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、本製品をセットしているパソコン本体の電源スイッチ（MAINスイッチなど）を切り、すぐにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「4 お問い合わせ先」（●▶P. 212）、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因になります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。またマニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因になります。修理や点検が必要な場合は、「4 お問い合わせ先」(●▶P. 212)、またはご購入元にご連絡ください。



- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり置いたりしないでください。
感電・火災の原因になります。



- 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり置いたりしないでください。
感電・火災の原因になります。



- 振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下したりして、けがの原因になります。



- 本製品の上や周りに花びん・コップなどの液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因になります。
また、本製品のうえに重いものを置かないでください。故障・けがの原因になります。



- 病院内や医療用電気機器のある場所では、本製品を使用しないでください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



- 本製品を使用したり持ち運んだりする場合は、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。もしくは本製品をセットしているパソコン本体の電源スイッチ（MAINスイッチなど）を切ってください。
電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所や、自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品を使用しないでください。
誤動作による事故の原因になります。



- 梱包に使用している袋等はお子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。

注意



- 本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。



- 使用中の本体や AC アダプタなどを、布などでおおったり、包んだりしないでください。また、排気孔などの開口部をふさがないでください。
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



- CD-ROM をセットまたは取り出す場合は、CD-ROM ドライブのトレイに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



- PC カードスロットなど、本体の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。



- 本製品の使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。本製品を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。



- 電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となる場合があります。

本製品の IEEE 802.11a について

FMV-JW482 と FMV-JW481 では、2005 年 5 月 16 日に総務省より発表された「電波法施行規則の一部を改正する省令」による、5GHz 帯無線 LAN（IEEE 802.11a 規格）の変更後の周波数帯への対応状況が異なります。対応状況により、5GHz 帯無線 LAN（IEEE 802.11a 規格）でご利用になれるチャンネルが異なりますので、ご注意ください。

■ FMV-JW482 の IEEE 802.11a について

FMV-JW482 は、2005 年 5 月 16 日に総務省より発表された「電波法施行規則の一部を改正する省令」による、5GHz 帯無線 LAN（IEEE 802.11a 規格）の変更後の周波数帯に対応しています。

FMV-JW482 の IEEE 802.11a について

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

J52 W52 W53

- FMV-JW482 の IEEE 802.11a は、以下のチャンネルを使用できます。
 - J52 : 34(5,170MHz)/38(5,190MHz)/42(5,210MHz)/46(5,230MHz)
 - W52 : 36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
 - W53 : 52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)IEEE 802.11a を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。
- FMV-JW482 のアドホック通信は、W52 のチャンネルしか使用できません。IEEE 802.11a でアドホック通信を行う場合は、通信を行う機器が W52 で通信できることを確認してください。

■ FMV-JW481 の IEEE 802.11a について

2005 年 5 月 16 日に総務省より発表された「電波法施行規則の一部を改正する省令」による、5GHz 帯無線 LAN（IEEE 802.11a 規格）の周波数帯の変更に伴い、FMV-JW481 では変更後の周波数帯での通信を可能にするためのアップグレードに対応しています。この省令、およびこの省令に対応したアップグレードについては、富士通パソコン情報ページ FMWORLD.NET をご覧ください。

このマニュアルでは、このアップデートへの対応状況に応じて、FMV-JW481 を次のように記載する場合があります。

- この省令に対応したアップデートを行った場合 : IEEE 802.11a (J52/W52)対応
- この省令に対応したアップデートを行っていない場合 : IEEE 802.11a (J52)対応

IEEE 802.11a (J52/W52)対応の FMV-JW481 と、IEEE 802.11a (J52)対応の FMV-JW481 では、使用できるチャンネルが異なります。

□ FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52/W52)対応) の場合

FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52/W52)対応) の IEEE 802.11a について

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

J52 W52 **W53**

- FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52/W52)対応) の IEEE 802.11a は、以下のチャンネルを使用できます。
 - J52 : 34(5,170MHz)/38(5,190MHz)/42(5,210MHz)/46(5,230MHz)
 - W52 : 36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)IEEE 802.11a を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。
- FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52/W52)対応) のアドホック通信は、W52 のチャンネルしか使用できません。IEEE 802.11a でアドホック通信を行う場合は、通信を行う機器が W52 で通信できることを確認してください。

□ FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52)対応) の場合

FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52)対応) の IEEE 802.11a について

IEEE802.11b/g

IEEE802.11a

J52 **W52** W53

- FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52)対応) の IEEE 802.11a は、以下のチャンネルを使用できます。
 - J52 : 34(5,170MHz)/38(5,190MHz)/42(5,210MHz)/46(5,230MHz)IEEE 802.11a を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。
- FMV-JW481 (IEEE 802.11a (J52)対応) のアドホック通信は、J52 のチャンネルしか使用できません。IEEE 802.11a でアドホック通信を行う場合は、通信を行う機器が J52 でアドホック通信できることを確認してください。

電波に関するご注意

■ ワイヤレス・インタオペラビリティ

本製品は、DS-SS 方式および OFDM 方式を基礎とするワイヤレス LAN 製品との相互通信システムの協調を実現するように設計されています。また、ワイヤレス LAN 製品の相互接続性を検証する「Wi-Fi Alliance」が定義する、ワイヤレス LAN 標準の「Wi-Fi®」に準拠しております。

■電波放射の環境への影響

- 本製品は、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、本製品が放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- 本製品は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、本製品の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記に挙げる場合です。
 - 飛行機内での本製品の使用
 - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確に分からない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

■電波放射の人体への影響

本製品から放射される出力パワーは、FCC 電波放射限界よりはるかに低くなっています。それでも、本製品は、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中は本製品に極力触れないでください。

■干渉に関する注意事項

- 本製品は、高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射します。
- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- 本製品がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本製品をセットしたパソコンの電源を入／切する事で原因となっているかどうかを判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
 - 本製品を搭載したパソコンと受信機の距離を離す
 - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本製品を搭載したパソコンを接続する
 - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- 本製品、および付属品の不正な改造、指定された以外の代替品等の接続は行わないでください。
- 本製品、および付属品の不正な改造や、指定された以外の代替品等の接続により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。
- 近くに他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔をあけるように変更して干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器から 3m 以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

- IEEE 802.11g と IEEE 802.11b の混在環境においては、IEEE 802.11g は IEEE 802.11b との互換性をとるため IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE 802.11b を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品の 2.4GHz 帯は、チャンネル 1～14 まで使用することができますが、他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してお使いください。

この機器の使用上の注意

2.4DS/OF4

上記表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口までお申しつけください。

■海外での使用について

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

■屋外での使用について

IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）のワイヤレス LAN の屋外使用は、電波法により禁じられています。

■無線機器との通信について

Bluetooth[®]機器とは通信規格が異なるため通信できません。

■航空機内での使用について

航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

重要

▶ お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント（ワイヤレス LAN ステーション、ワイヤレスブロードバンドルータ、ファミリーネットワークステーションなど）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報
 - メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレス LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレス LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレス LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

HT テクノロジ インテル® Pentium® 4 プロセッサ搭載 のパソコンで本製品をお使いの場合のご注意

ハイパー・スレディング・テクノロジーを有効にしているときは、次の点にご注意ください。

- パソコンの省電力機能の「スタンバイ」および「休止状態」はお使いになれません。
- まれにパソコンの電源が正常に切れない場合があります。ご使用中のアプリケーションをすべて終了してから電源を切ってください。正常に電源が切れない場合は、お使いのパソコンの電源ボタンを押して電源を切ってください。

目次

はじめに.....	1
ご注意.....	1
このマニュアルの表記について.....	2
安全上のご注意.....	4
本製品の IEEE 802.11a について.....	7
電波に関するご注意.....	8
ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意.....	11
HT テクノロジ インテル® Pentium® 4 プロセッサ搭載のパソコンで本製品 をお使いの場合のご注意.....	12

第 1 章 お使いになる前に

1 確認してください	18
各部の名称と働き.....	18
電波発信の停止と再開について.....	19
2 概要	20
本製品の特長.....	20
ワイヤレス LAN のネットワーク構成.....	21
3 動作環境	23
本製品の動作環境.....	23
ワイヤレス LAN 通信のための動作環境.....	24
良好な通信を行うために.....	26
4 作業の流れ	28
作業の流れ（Atheros クライアントユーティリティの場合）.....	28
作業の流れ（Mr.WLANner の場合）.....	30

第 2 章 インストールとパラメータの設定（Atheros クライアントユーティリティの場合）

1 インストール	32
インストール（Windows XP の場合）.....	32
インストール（Windows 2000 の場合）.....	41
更新インストール.....	49
2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）	56
プロファイルの作成とセキュリティの選択.....	56
セキュリティの設定：WPA/WPA2.....	60
セキュリティの設定：WPA/WPA2 パスフレーズ（WPA/WPA2-PSK）.....	64
セキュリティの設定：IEEE 802.1X 認証.....	65
セキュリティの設定：事前共有キー（静的 WEP）.....	69

3	ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）	71
4	ユーティリティの使用法	78
	電波状態の確認	78
	電波の停止と再開	78
	プロファイルの選択	79
	プロファイルの自動選択	80
	プロファイルの保存と復元	82

第 3 章 インストールとパラメータの設定（Mr.WLANner の場合）

1	インストール	86
	インストール	86
	更新インストール	93
2	ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）	102
	セキュリティの設定：WPA	102
	セキュリティの設定：WPA-PSK	110
	セキュリティの設定：IEEE 802.1X	115
	セキュリティの設定：WEP キー	124
	セキュリティの設定：暗号化なし	129
3	ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）	135
4	ユーティリティの使用法	141
	接続状況（電波状態）の確認	141
	電波の停止と再開	142
	プロファイル	144
	簡易表示	150
	オプション設定	151

第 4 章 ネットワークの設定

1	ネットワークの設定（Windows XP の場合）	158
	ネットワーク接続の設定	158
	共有設定をする	161
	接続を確認する	167
2	ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）	169
	ネットワーク接続の設定	169
	共有設定をする	172
	接続を確認する	175

第 5 章 こんなときは

1	Q&A	178
	Q 本製品をセットしてパソコンの電源を入れても、本製品が検出されません	178

Q	IP アドレスの設定方法を知りたいのですが.....	179
Q	接続確認をしたいのですが.....	180
Q	ネットワークに接続できるのですが、共有フォルダなどにはアクセスできません.....	181
Q	本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが.....	182
2	Q&A (Atheros クライアントユーティリティの場合)	186
Q	デバイスマネージャの画面で、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」に「！」マークや「x」マークがついています.....	187
Q	アドホック通信できません.....	188
Q	ネットワークに接続できません.....	188
Q	IP アドレス／MAC アドレスの確認方法.....	190
Q	電波状態を確認したいのですが.....	193
Q	パソコン起動時にネットワークドライブの接続に失敗します.....	193
Q	スタンバイから復帰後、IEEE 802.1X や WPA の認証に失敗します.....	194
Q	ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが.....	194
Q	Windows の起動時に「athgina.dll を読み込めませんでした」というメッセージが表示され、先に進めません。.....	198
3	Q&A (Mr.WLANner の場合)	201
Q	ネットワークに接続できません.....	201
Q	アドホック通信できません.....	204
Q	IP アドレス／MAC アドレスの確認方法.....	204
Q	Mr.WLANner の設定画面が開けません.....	206
Q	ユーティリティアイコンが通知領域に表示されません.....	206
Q	パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスに「x」マークがついています.....	208
Q	WPA 機能が使えません.....	209
Q	ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが.....	209
4	お問い合わせ先	212

第 6 章 付録

1	用語集	214
2	仕様	219
	FMV-JW482 の仕様.....	219
	FMV-JW481 の仕様.....	220

Memo _____

第 1 章

お使いになる前に

本製品をお使いになる前に必ず確認していただくこと、および本製品の概要について説明します。

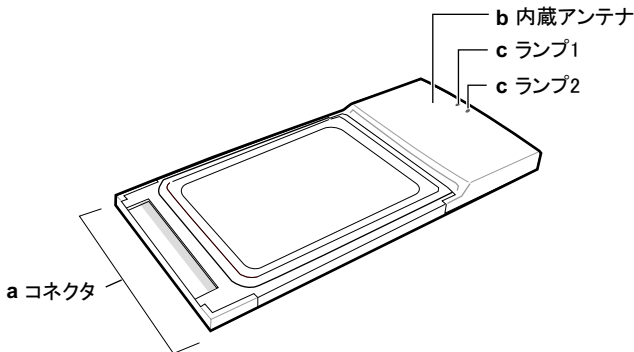
1	確認してください.....	18
2	概要.....	20
3	動作環境.....	23
4	作業の流れ.....	28

1 確認してください

本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたいことなどを説明します。

各部の名称と働き

本製品の各部の名称と働きについて説明します。



a コネクタ

パソコン本体の PC カードスロットに接続する端子です。



▶ コネクタには絶対に手を触れないでください。故障の原因になります。

b 内蔵アンテナ

c ランプ 1／ランプ 2

ランプ1	ランプ2	説明
点滅	-	本製品に電源が供給されている状態です。
同時点滅		送受信中は 2 つのランプが同時に点滅します。点滅の間隔は通信量に応じて変わります。
交互点滅		インフラストラクチャ通信、またはアドホック通信していないときは 2 つのランプが交互に点滅します。

□ 認定番号

本製品は、電波法、および電気通信事業法による技術基準認定を取得しています。認定番号は、カードの裏面に記載されています。

電波発信の停止と再開について

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規則がある場所では、あらかじめ本製品の電波の発信を停止してください。

電波発信の停止と再開については、お使いになるユーティリティによって、それぞれ次をご覧ください。

- Atheros クライアントユーティリティを使用する場合
「電波の停止と再開」(●▶P. 78)
- Mr.WLANner を使用する場合
「電波の停止と再開」(●▶P. 142)

2 概要

本製品は、パソコンに取り付けてワイヤレス LAN 通信を行うための装置です。ここでは、本製品の特長、および本製品を搭載したパソコンでできることを説明します。

本製品の特長

本製品は、パソコンの PC カードスロットにセットして使用するワイヤレス LAN カードです。

主な特長は次のとおりです。

- Super AG および Super G に対応しています。
Super AG または、Super G が有効な無線 LAN アクセスポイントと接続したときにリンクスピードが 108Mbps と表示される場合がありますが、良好な通信を行うための仕様です。
なお、108Mbps は理論上の通信速度であり、実際のデータ転送速度はこれ以下になります。
- Wi-Fi®および WPA に準拠しています。
- 2.4GHz 帯および 5GHz 帯の小電力通信システムを使用しているため、無線免許が不要です。
- IEEE 802.11a^[注]、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g に準拠しています。
[注]：FMV-JW482 は、IEEE 802.11a (J52/W52/W53)に準拠しています。FMV-JW481 は、IEEE 802.11a (J52/W52)、または IEEE 802.11a(J52)に準拠しています。
- 最大で規格値 54Mbps^[注] ワイヤレス LAN に対応しています。
[注]：表示の数値は、ワイヤレス LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 推奨する最大通信距離は、2.4GHz 帯では屋内 25m、5GHz 帯では屋内 15m です。ただし、設置環境（壁や柱などの影響）により短くなる場合があります。
- IEEE 802.1X や WPA などのセキュリティ機能に対応し、より安全にご利用いただけます。
- TKIP または AES を有効にした無線 LAN アクセスポイントと通信が可能です。

仕様の詳細については、「2 仕様」(●▶ P. 219) をご覧ください。

ワイヤレス LAN のネットワーク構成

ワイヤレス LAN を使って接続できるネットワークは、次の 2 種類があります。

■インフラストラクチャ通信

別売のワイヤレスブロードバンドルータなど、無線 LAN アクセスポイントを利用したネットワークを「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この形態を利用した通信方法を「インフラストラクチャ通信」といいます。

この機能を使うと、無線 LAN アクセスポイント経由で有線 LAN のネットワークに接続したり、ADSL モデムやケーブルモデムなどを経由してインターネットに接続したりできます。インフラストラクチャ通信を利用するためには、お使いの無線 LAN アクセスポイントに合わせて本製品のワイヤレス LAN の設定を行います。

次の図は、無線 LAN アクセスポイントを使って、ワイヤレス LAN から有線 LAN やインターネットに接続した場合の接続例です。

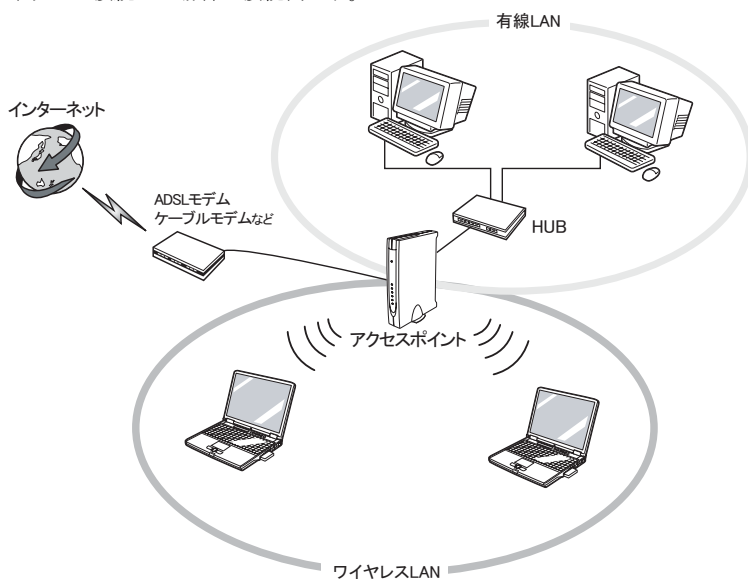


図 1：インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク接続例

■アドホック通信

ワイヤレス LAN を搭載したパソコンどうしのネットワークを「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この形態を利用した通信方法を「アドホック通信」といいます。この機能を使うと、他の周辺機器を接続しなくてもパソコンに保存されているファイルやプリンタを共有できる小規模ネットワークを構築できます。

アドホック通信を利用するためには、接続するすべてのパソコンでワイヤレス LAN の設定を同じにします。

次の図は、アドホックワイヤレス LAN のネットワーク構成例です。

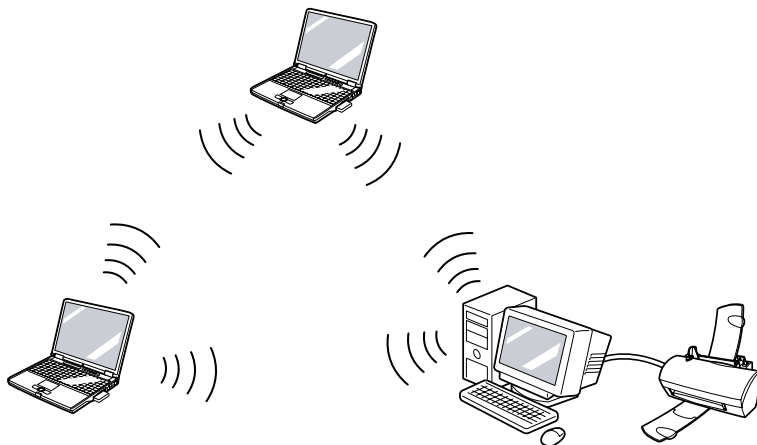


図 2 : アドホックワイヤレス LAN ネットワーク接続例

3 動作環境

本製品をお使いになるために必要なハードウェアとソフトウェア、および本製品を搭載したパソコンの設置場所に関するご注意について説明します。

本製品の動作環境

本製品は、次の対応機種に、対応 OS がインストールされているパソコンでお使いになります。各パソコンが対応する OS については、各パソコンのマニュアルをご覧ください。



- ▶ 本製品をセットした状態で Windows のセットアップ（初めてパソコンの電源を入れた後に行う Windows の初期設定）を行わないでください。

■ 対応機種

□ FMV-JW482 の対応機種

- FMV-DESKPOWER シリーズ（2003 年冬モデル以降の、PC カード（TYPE II）スロットが搭載されているパソコン）
- FMV-DESKTOP シリーズ（2003 年冬モデル以降の、PC カード（TYPE II）スロットが搭載されているパソコン）
- FMV-LIFEBOOK シリーズ（2003 年冬モデル以降）
- FMV-BIBLO LOOX シリーズ（2003 年冬モデル以降）
- FMV-BIBLO シリーズ（2003 年冬モデル以降）

□ FMV-JW481 の対応機種

- FMV-DESKPOWER シリーズ（2001 年冬モデル以降の、PC カード（TYPE II）スロットが搭載されているパソコン）
- FMV-DESKTOP シリーズ（2001 年冬モデル以降の、PC カード（TYPE II）スロットが搭載されているパソコン）
- FMV-LIFEBOOK シリーズ（2001 年冬モデル以降）
- FMV-BIBLO LOOX シリーズ（2001 年冬モデル以降）
- FMV-BIBLO シリーズ（2001 年冬モデル以降）
- FM PenNote シリーズ（2003 年春モデル以降）
- FMV-STYLISTIC シリーズ（2002 年冬モデル以降）

■ 対応 OS

- Microsoft® Windows® XP Professional

- Microsoft® Windows® XP Home Edition
- Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004
- Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005
- Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition
- Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005
- Microsoft® Windows® 2000 Professional

重要

- ▶ ワイヤレス LAN 搭載モデルのパソコンで本製品を使用する場合、対応 OS は Windows XP のみとなります。

ワイヤレス LAN 通信のための動作環境

■インフラストラクチャ通信の場合

次の無線 LAN アクセスポイントを使用した、インフラストラクチャ通信が可能です（2005 年 10 月現在）。

無線 LAN アクセスポイントのご利用方法については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-52A
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-52B
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-52AB
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-52BB
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-53A
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-53G
- ワイヤレス LAN ステーション FMWT-54AG
- ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-101
- ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-102
- ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-201
- ファミリーネットワークステーション FMFNS-101
- ファミリーネットワークステーション FMFNS-102
- ファミリーネットワークステーション FMFNS-103
- ファミリーネットワークステーション FMFNS-104
- ファミリーネットワークステーション-T FMFNS-201
- ファミリーネットワークステーション-T FMFNS-202
- ファミリーネットワークステーション-T FMFNS-203
- ファミリーネットワークステーション-T FMFNS-204
- FMV ステーション FMVST-101
- FMV ステーション FMVST-102
- 弊社製ホームサーバー機能搭載機種

ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-201 をお使いになる場合の注意

ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-201 を使用してインフラストラクチャ通信を行う場合、ワイヤレスブロードバンドルータのファームウェアバージョンが「V2.00.00」以降であることをご確認ください。

ファームウェアバージョンが「V2.00.00」より古い場合は、最新のファームウェアにアップデートしてください。

ファームウェアのダウンロードとアップデートについては、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) をご覧ください。

ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 またはワイヤレス LAN ステーション FMWT-501 をお使いになる場合の注意

ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 およびワイヤレス LAN ステーション FMWT-501 を使用してインフラストラクチャ通信を行う場合、それぞれの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルに記載されている「ワイヤレス LAN カードの設定」は、ワイヤレス LAN カード FMV-W181、またはワイヤレス LAN カード FMV-JW181 を使用する場合の設定です。

本製品をお使いになる場合、これらの設定は行わないよう、ご注意ください。

なお、次は該当する無線 LAN アクセスポイントのマニュアルの該当箇所です。

▶ ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 をお使いの場合

「ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 取扱説明書」

該当箇所

- ・ 「2.1 Client Manager をインストールする」
- ・ 「2.3 ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」

▶ ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501 をお使いの場合

「ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501 取扱説明書」

該当箇所

- ・ 「2.1 Client Manager をインストールする」
- ・ 「2.3 ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」

本製品とワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 の組み合わせでインターネットに接続する場合の注意

本製品と、ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 の組み合わせで、電話回線を使用してインターネットに接続することはできません。ADSL (PPPoE) 回線を使用してインターネットに接続する場合は、ステーション設定ツールの ISP の設定画面で「Connection」を「Automatic」に設定してください。ステーション設定ツールについては、ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 のマニュアルをご覧ください。

■ アドホック通信の場合

次の機器とアドホック通信が可能です (2005 年 10 月現在)。

- ・ 次の LAN カードを搭載したパソコン
 - FMV-JW482 ^[注 1]
 - FMV-JW481 ^{[注 2] [注 3]}
 - ワイヤレス LAN カード FMV-JW181
 - ワイヤレス LAN カード FMV-JW182
 - ワイヤレス LAN カード FMV-JW183
 - ワイヤレス LAN カード FMV-W181
 - ワイヤレス LAN カード FMV-W182
 - ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 (IEEE 802.11a (J52)対応の FMV-JW481 のみ)

- ・ 弊社製ワイヤレス LAN（IEEE 802.11a 準拠^{[注 2][注 3]}、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠）搭載のパソコン
- ・ Pocket LOOX（ワイヤレス LAN モデル）、またはワイヤレス LAN カード FLX-LN1 を搭載した Pocket LOOX
- ・ 液晶プロジェクタ PJ-X3500+ワイヤレス LAN／LAN ユニット PJX35-WL1

注 1： IEEE 802.11a でのアドホック通信は、W52 のチャンネルのみ使用できません。

注 2： FMV-JW482 および IEEE 802.11a (J52/W52)対応の FMV-JW481 の場合、IEEE 802.11a でのアドホック通信は、W52 のチャンネルのみ使用できます。IEEE 802.11a 準拠(W52)でのアドホック通信を行うには、通信相手の機器が IEEE 802.11a 準拠(W52)に対応している必要があります。

注 3： IEEE 802.11a (J52)対応の FMV-JW481 の場合、IEEE 802.11a でのアドホック通信は、J52 のチャンネルのみ使用できます。IEEE 802.11a 準拠(J52)でのアドホック通信を行うには、通信相手の機器が IEEE 802.11a 準拠 (J52)でのアドホック通信に対応している必要があります。

POINT

- ▶ アドホック通信で、Super AG および Super G はサポートしていません。

良好な通信を行うために

本製品を搭載したパソコンの設置場所について次のことをご確認いただき、良好に動作する場所を実際にお試しいただいたうえでお使いください。

■使用する周波数帯に依存しない項目

- ・ 本製品は、他の電気機器から離して使用してください。本製品を搭載したパソコン本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかつたり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用するチャンネルや使用場所を変更してください。
- ・ 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、本製品を搭載したパソコン本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。

■IEEE 802.11a 準拠（5GHz 帯）をお使いになる場合

- ・ 通信距離は見通し半径 15m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質／障害物／ソフトウェア／設置状況／電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

- 本製品は、電波法の定めにより屋外では使用できません。屋内でのみご使用ください。
- W53（52/56/60/64ch）では、無線 LAN アクセスポイントの DFS 機能によって使用するチャンネルが変更された場合、通信がいったん切断されます。

■IEEE 802.11b 準拠／IEEE 802.11g 準拠（2.4GHz 帯）をお使いになる場合

- 通信距離は見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質／障害物／ソフトウェア／設置状況／電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®機器との電波干渉について

ワイヤレス LAN 機器と Bluetooth®機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth®機器を搭載したパソコンの近辺で本製品を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth®機器を搭載したパソコンからは、10m 以上離れた場所で使用してください。
- 10m 以内で使用する場合は、本製品の電波を停止するか Bluetooth®機器の電源を切ってください。

4 作業の流れ

本製品を使用してネットワークへ接続するまでの作業の流れを説明します。

お使いのパソコンにワイヤレス LAN 機能が搭載されている場合といない場合で、インストール方法や使用するユーティリティが異なります。

通常は、「作業の流れ（Atheros クライアントユーティリティの場合）」（●▶ P. 28）をご覧ください。

ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンを Windows XP でお使いの場合は、「作業の流れ（Mr.WLANner の場合）」（●▶ P. 30）をご覧ください。

POINT

更新インストールの場合

現在インストールされている古いバージョンのドライバを更新する場合、現在お使いになっているユーティリティの「作業の流れ」をご覧ください。

作業の流れ（Atheros クライアントユーティリティの場合）

本製品を使用してネットワークへ接続するまでの作業の流れと参照先を説明します。ドライバユーティリティは、「Atheros クライアントユーティリティ」を使用します。パソコンの OS が Windows XP の場合と Windows 2000 の場合で、参照先が異なります。

■作業の流れ（Windows XP の場合）

Windows XP で本製品を使用してネットワークへ接続するまでの作業の流れは次のとおりです。

1 ドライバとユーティリティをインストールします。

「インストール（Windows XP の場合）」（●▶ P. 32）

POINT

更新インストールの場合

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、「更新インストール」（●▶ P. 49）をご覧ください。

2 ワイヤレス LAN の SSID やセキュリティなど、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。

「2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）」（●▶ P. 56）

「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（●▶P. 71）

3 ネットワークの設定を行い、ネットワークへ接続します。

「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶P. 158）

POINT

[ユーティリティの使用法](#)

ユーティリティを使用して、電波の状態を確認したり、電波の発信を停止、再開したりすることができます。ユーティリティの使用法については、

「4 ユーティリティの使用法」（●▶P. 78）をご覧ください。

■作業の流れ（Windows 2000 の場合）

Windows 2000 で本製品を使用してネットワークへ接続するまでの作業の流れは次のとおりです。

1 ドライバとユーティリティをインストールします。

「インストール（Windows 2000 の場合）」（●▶P. 41）

POINT

[更新インストールの場合](#)

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、
「更新インストール」（●▶P. 49）をご覧ください。

2 ワイヤレス LAN の SSID やセキュリティなど、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。

「2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）」（●▶P. 56）

「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（●▶P. 71）

3 ネットワークの設定を行い、ネットワークへ接続します。

「2 ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）」（●▶P. 169）

POINT

[ユーティリティの使用法](#)

ユーティリティを使用して、電波の状態を確認したり、電波の発信を停止、再開したりすることができます。ユーティリティの使用法については、

「4 ユーティリティの使用法」（●▶P. 78）をご覧ください。

作業の流れ（Mr.WLANner の場合）

ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンで本製品を使用する場合の、作業の流れと参照先を説明します。ドライバユーティリティは、「Mr.WLANner（ミスターランナー）」を使用します。

1 ドライバとユーティリティをインストールします。

「インストール」（●▶ P. 86）

POINT

更新インストールの場合

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、「更新インストール」（●▶ P. 93）をご覧ください。

2 ワイヤレス LAN の SSID やセキュリティなど、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。

「2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）」（●▶ P. 102）

「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（●▶ P. 135）

3 ネットワークの設定を行い、ネットワークへ接続します。

「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）

POINT

ユーティリティの使用方法

ユーティリティを使用して、電波の状態を確認したり、電波の発信を停止、再開したりすることができます。ユーティリティの使用方法については、「4 ユーティリティの使用方法」（●▶ P. 141）をご覧ください。

第 2 章

インストールとパラメータの設定 (Atheros クライアントユーティ リティの場合)

ドライバおよびユーティリティのインストールと、ワイヤレス LAN 通信のための設定について説明します。

1	インストール.....	32
2	ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）.....	56
3	ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）.....	71
4	ユーティリティの使用方法.....	78

1 インストール

ドライバおよびユーティリティのインストール方法を説明します。

インストール (Windows XP の場合)

Windows XP のパソコンでドライバおよびユーティリティをインストールする手順を説明します。

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、「更新インストール」(●▶ P. 49) をご覧ください。

■インストール方法の種類について

ドライバおよびユーティリティのインストール方法には、「通常インストール」と「シングルサインオン用インストール」の2通りがあります。

POINT

- ▶ シングルサインオンの有効／無効を切り替えるためには、ドライバおよびユーティリティを削除して、それぞれのインストール方法でインストールし直す必要があります。
ドライバおよびユーティリティの削除については、「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」(●▶ P. 194) をご覧ください。

□ 通常インストール

シングルサインオンを使用しない（無効にする）場合は、通常インストールを行います。

□ シングルサインオン用インストール

シングルサインオンを使用する（有効にする）場合は、シングルサインオン用インストールを行います。

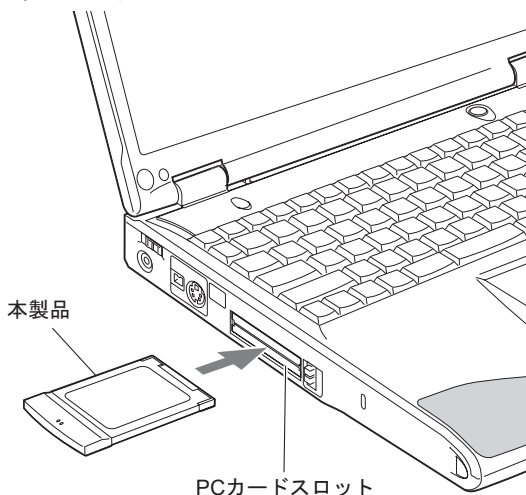
シングルサインオンとは、ワイヤレス LAN の認証方式、PEAP（EAP-MSCHAP v2）などにおいて、Windows にログオンするユーザー名とパスワードを、認証のユーザーID、パスワードとして使用する機能です。認証のためのユーザーID とパスワードを別途入力する必要があります。

重要

- ▶ シングルサインオン用インストールを行うと GINA（Graphical Identification and Authentication）の置き換えを行います。
これにより、Windows にログインするユーザー名とパスワードを、認証用のユーザー名とパスワードに利用できるようになります。
- ▶ シングルサインオンを使用する場合、Windows XP の次の機能が利用できなくなります。
 - ・ ようこそ画面の使用
 - ・ ユーザーの簡易切り替えの使用
- ▶ シングルサインオンを使用する場合、TLS 認証、PEAP 認証では、Windows のユーザーにパスワード（Windows ログオン用のパスワード）を設定する必要があります。

■インストール手順

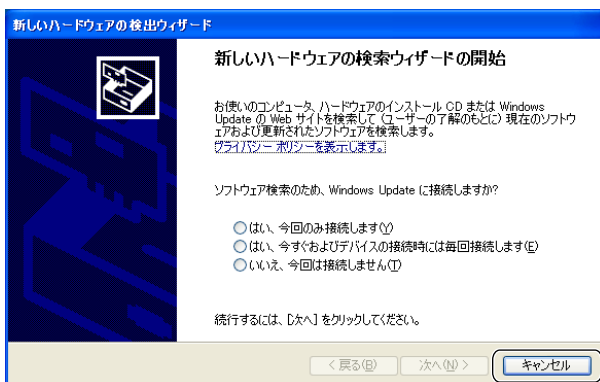
- 1 パソコンの電源を切った状態で、本製品をパソコンの **PC カードスロット** にセットします。



重要

- ▶ インストール中は、絶対に本製品をパソコンから取り外さないでください。

- 2 **パソコンの電源を入れます。**
「ログオン」ウィンドウが表示されたら、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバーでログオンします。
- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウで、「キャンセル」をクリックします。

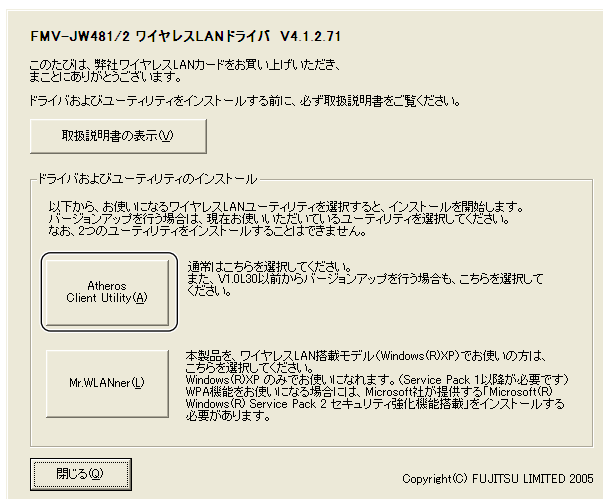


4 本製品に添付の **CD-ROM** を、パソコンにセットします。

インストール方法によって、手順が異なります。

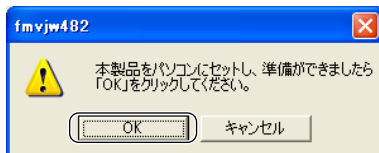
■通常インストールの場合

1. 次の画面で「Atheros Client Utility」をクリックします。



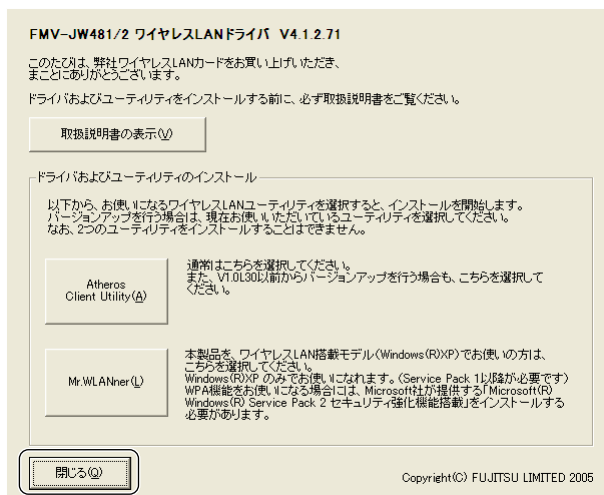
メッセージの画面が表示されます。

2. 「OK」をクリックします。



■ シングルサインオン用インストールの場合

1. 次の画面で「閉じる」をクリックします。



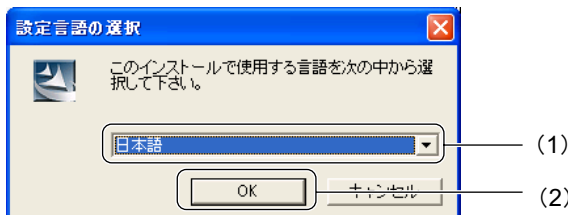
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで、「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥ACU¥Setup.exe -gina

CD-ROM ドライブが E ドライブの場合は、「E:¥ACU¥Setup.exe -gina」となります。

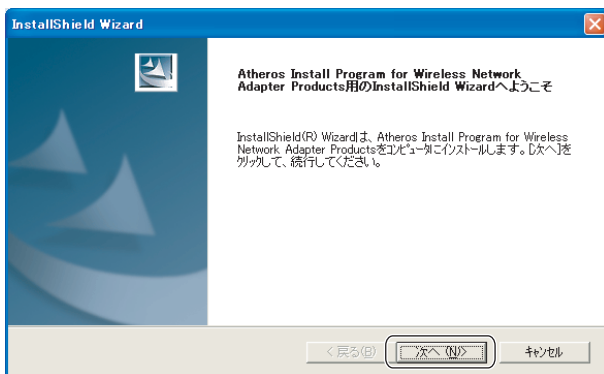
「設定言語の選択」ウィンドウが表示されます。

5 (1)「日本語」を選択し、(2)「OK」をクリックします。



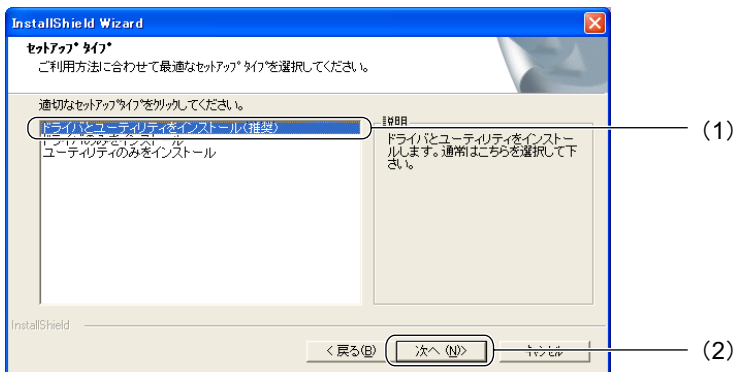
インストール開始の画面が表示されます。

6 「次へ」をクリックします。



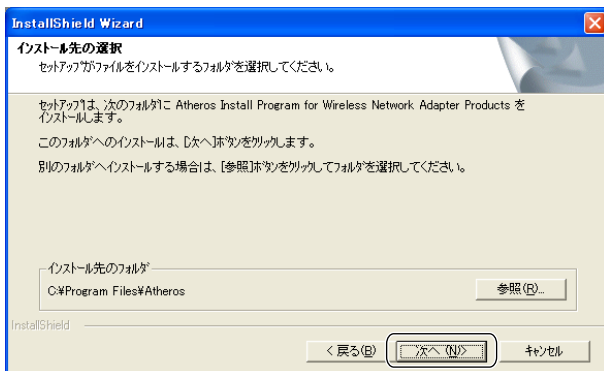
「セットアップタイプ」ウィンドウが表示されます。

- 7 (1) 「ドライバとユーティリティをインストール (推奨)」をクリックして (2) 「次へ」をクリックします。



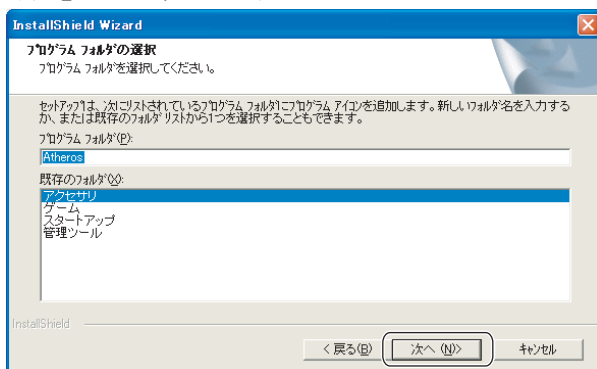
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

- 8 「次へ」をクリックします。



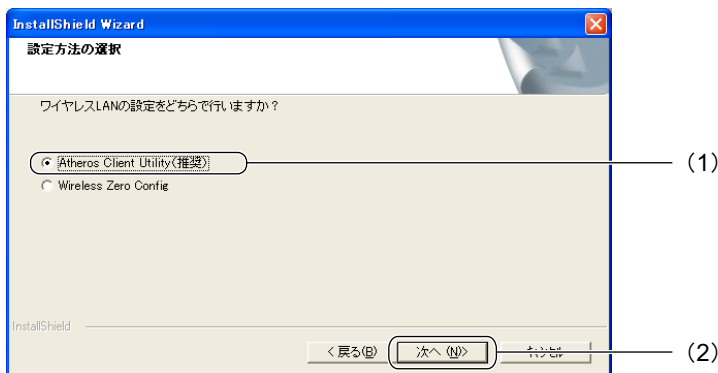
「プログラム フォルダの選択」 ウィンドウが表示されます。

9 「次へ」をクリックします。



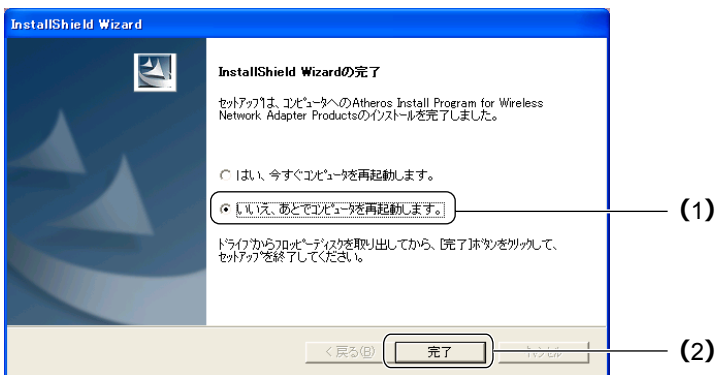
「設定方法の選択」 ウィンドウが表示されます。

10 (1) 「Atheros Client Utility (推奨)」をクリックして にし、(2) 「次へ」をクリックします。



インストールの完了ウィンドウが表示されます。

11 (1) 「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックして にし、(2) 「完了」をクリックします。



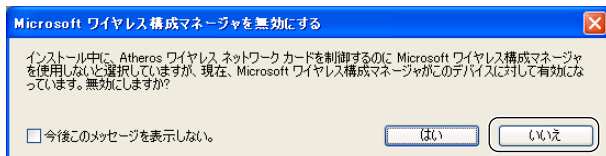
12 CD-ROM を取り出します。

13 Windows を再起動します。

14 「ログオン」ウィンドウが表示されたら、手順 2 で使用したユーザーでログオンします。

POINT

次のメッセージが表示された場合



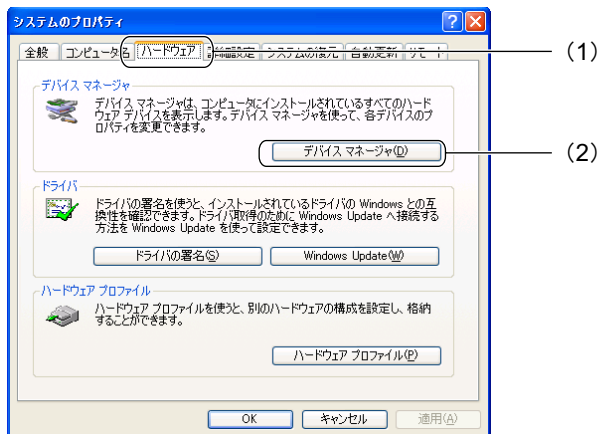
「いいえ」をクリックした後、次の手順で Windows のワイヤレス LAN 機能を無効にしてください。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。
4. 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ね、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」と表示されるアイコンが見つかったら右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
5. 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。
6. 「Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する」(または「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」)をクリックして ☐ にします。

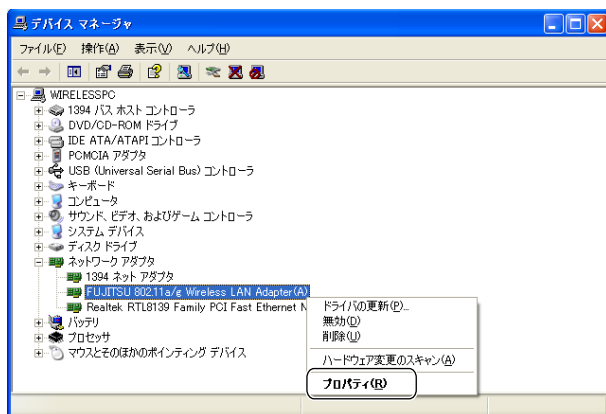
15 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

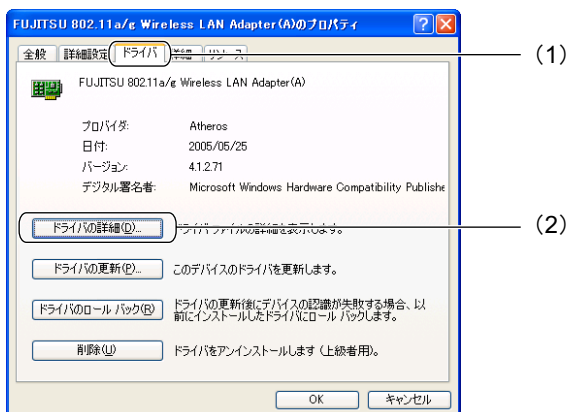
16 (1)「ハードウェア」タブをクリックして、(2)「デバイス マネージャ」をクリックします。



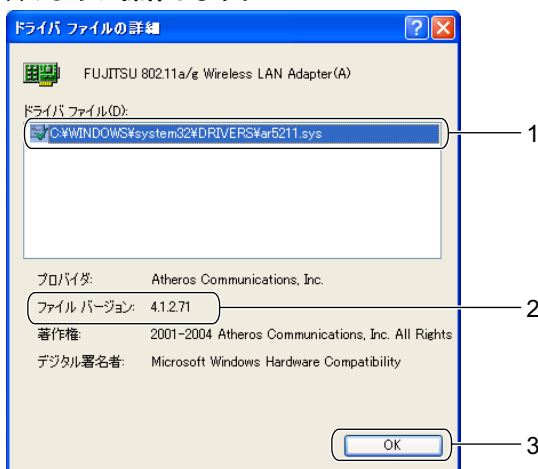
17 「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



18 (1)「ドライバ」タブをクリックして、(2)「ドライバの詳細」をクリックします。



19 次のように操作します。



1. 「ドライバファイル」の「[システム ドライブ]:¥WINDOWS¥system32 ¥DRIVERS¥ar5211.sys」をクリックして反転させます。
2. 「ファイルバージョン」が「4.1.2.71」になっていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

20 「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

21 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

以上で、ドライバおよびユーティリティのインストールは終了です。

POINT

- ▶ 本製品のドライバおよびユーティリティをインストールすると、すべての「ローカルエリア接続」および「ワイヤレスネットワーク接続」のプロパティに「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」が追加されます。この「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」は本製品でのみ動作するため、他のネットワークデバイスには影響を与えません。

次に、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。接続するネットワークによって、「2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）」（●▶ P. 56）または「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（●▶ P. 71）にお進みください。

インストール（Windows 2000 の場合）

Windows 2000 のパソコンでドライバおよびユーティリティをインストールする手順を説明します。

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、「更新インストール」（●▶ P. 49）をご覧ください。

■ インストール方法の種類について

ドライバおよびユーティリティのインストール方法には、「通常インストール」と「シングルサインオン用インストール」の2通りがあります。

POINT

- ▶ シングルサインオンの有効／無効を切り替えるためには、ドライバおよびユーティリティを削除して、それぞれのインストール方法でインストールし直す必要があります。
ドライバおよびユーティリティの削除については、「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」（●▶ P. 194）をご覧ください。

□ 通常インストール

シングルサインオンを使用しない（無効にする）場合は、通常インストールを行います。

□ シングルサインオン用インストール

シングルサインオンを使用する（有効にする）場合は、シングルサインオン用インストールを行います。

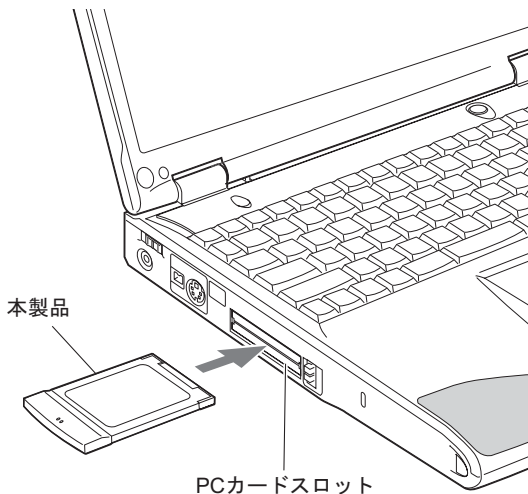
シングルサインオンとは、ワイヤレス LAN の認証方式、PEAP（EAP-MSCHAP v2）などにおいて、Windows にログオンするユーザー名とパスワードを、認証のユーザーID、パスワードとして使用する機能です。認証のためのユーザーID とパスワードを別途入力する必要があります。

重要

- ▶ シングルサインオン用インストールを行うと GINA (Graphical Identification and Authentication) の置き換えを行います。
これにより、Windows にログオンするユーザー名とパスワードを、認証用のユーザー名とパスワードに利用できるようになります。

■インストール手順

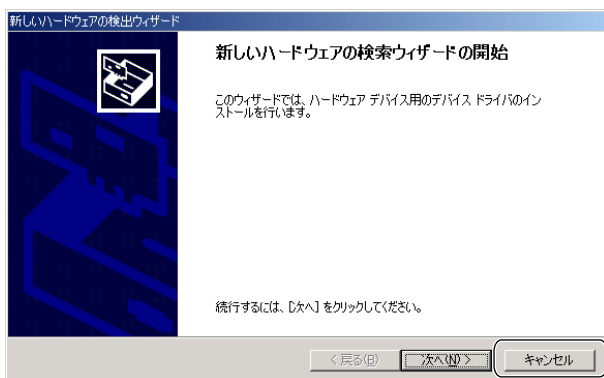
- 1 パソコンの電源を切った状態で、本製品をパソコンの **PC カードスロット** にセットします。



重要

- ▶ インストール中は、絶対に本製品をパソコンから取り外さないでください。

- 2 パソコンの電源を入れます。
「ログオン」ウィンドウが表示されたら、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバでログオンします。
- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウで、「キャンセル」をクリックします。

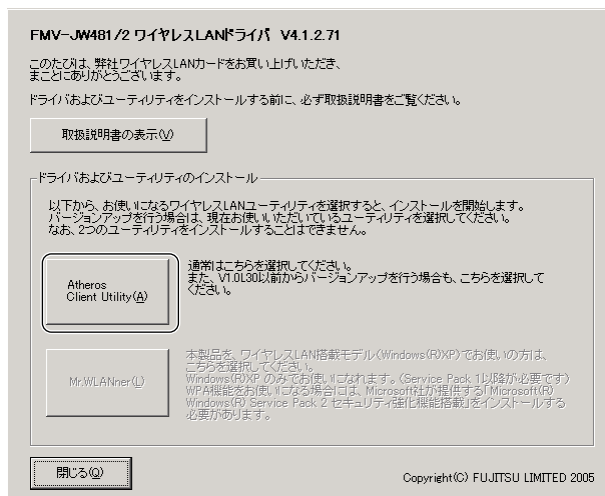


4 本製品に添付の **CD-ROM** を、パソコンにセットします。

インストール方法によって、手順が異なります。

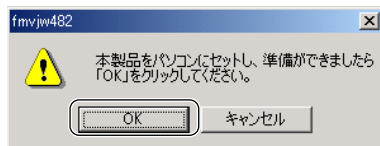
■通常インストールの場合

1. 次の画面で「Atheros Client Utility」をクリックします。



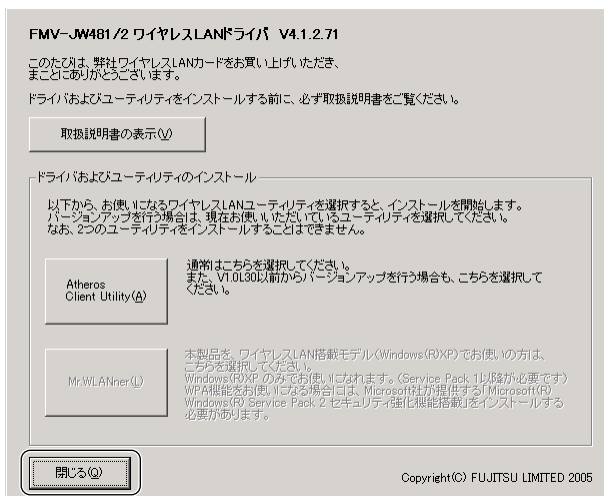
メッセージの画面が表示されます。

2. 「OK」をクリックします。



■シングルサインオン用インストールの場合

1. 次の画面で「閉じる」をクリックします。



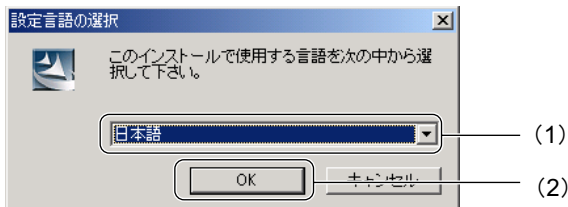
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで、「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:%ACU%Setup.exe -gina

CD-ROM ドライブが E ドライブの場合は、「E:%ACU%Setup.exe -gina」となります。

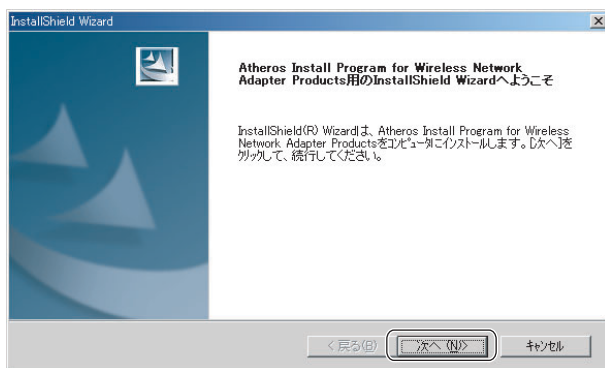
「設定言語の選択」ウィンドウが表示されます。

5 (1)「日本語」を選択し、(2)「OK」をクリックします。



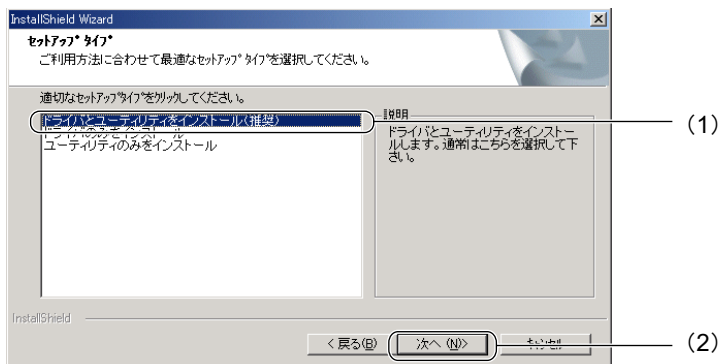
インストール開始の画面が表示されます。

6 「次へ」をクリックします。



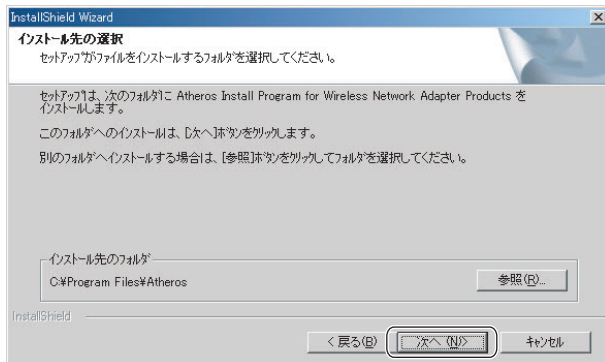
「セットアップタイプ」ウィンドウが表示されます。

7 (1)「ドライバとユーティリティをインストール (推奨)」をクリックして (2)「次へ」をクリックします。



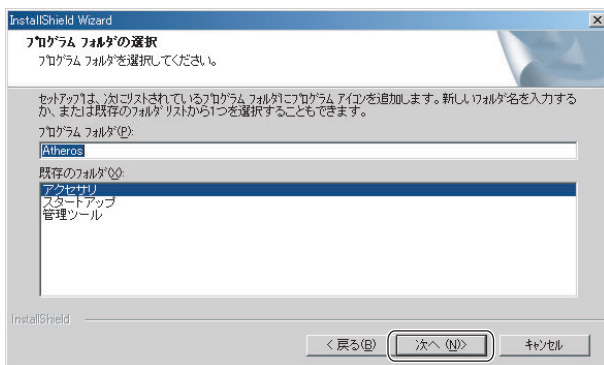
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

8 「次へ」をクリックします。



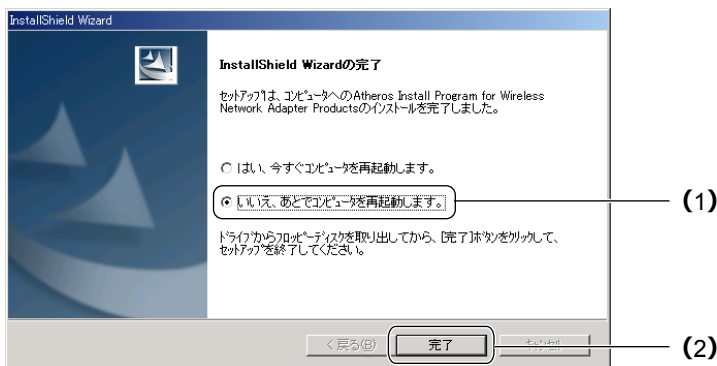
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

9 「次へ」をクリックします。



インストールの完了ウィンドウが表示されます。

10 (1)「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックしてにし、(2)「完了」をクリックします。



11 CD-ROM を取り出します。

12 Windows を再起動します。

13 「ログオン」ウィンドウが表示されたら、手順 2 で使用したユーザーでログオンします。

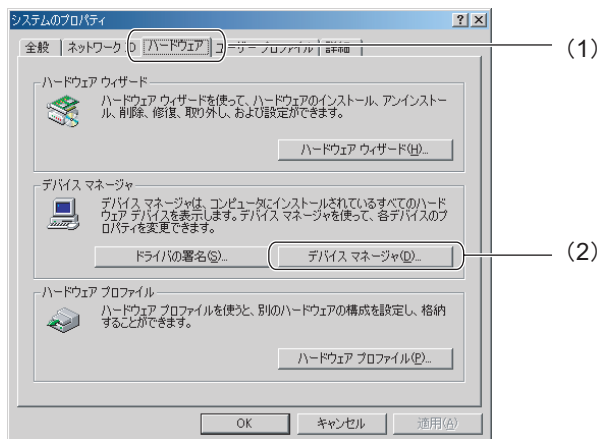
POINT

- ▶ 「システム設定の変更」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックして、Windows を再起動してください。

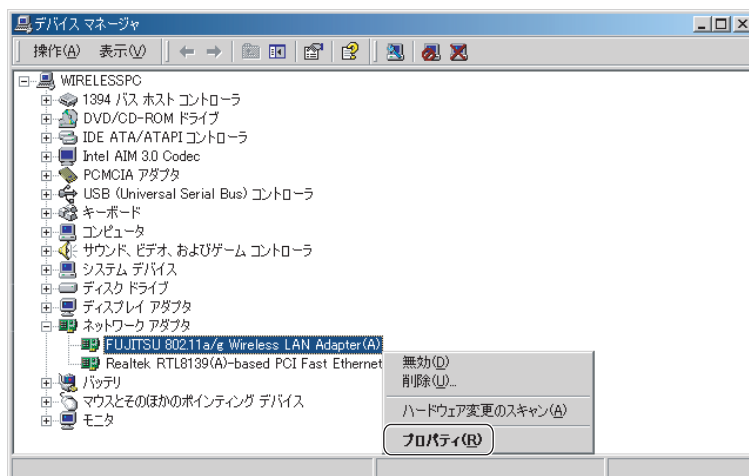
14 デスクトップ画面の「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

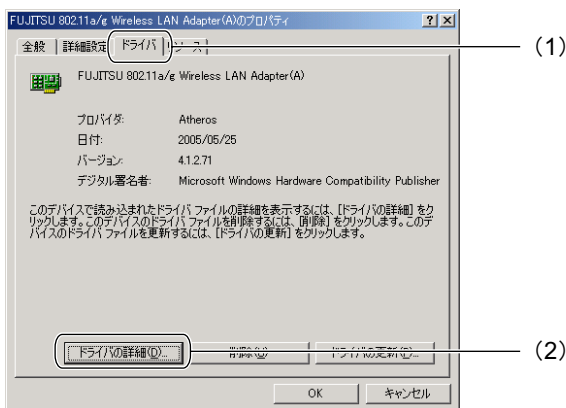
15 (1)「ハードウェア」タブをクリックし、(2)「デバイス マネージャ」をクリックします。



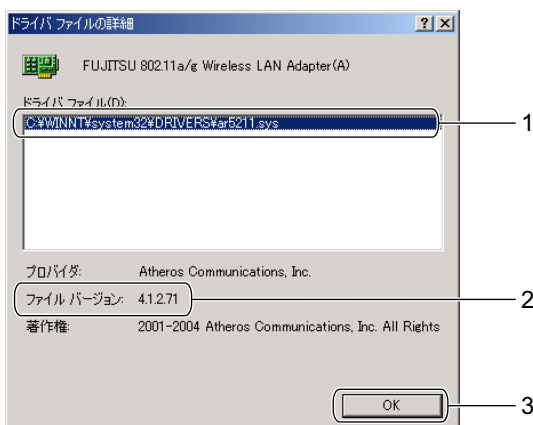
16 「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



17 (1)「ドライバ」タブをクリックして、(2)「ドライバの詳細」をクリックします。



18 次のように操作します。



1. 「ドライバーファイル」の「[システムドライブ]:%WINNT%system32\DRIVERS\ar5211.sys」をクリックして反転させます。
2. 「ファイルバージョン」が「4.1.2.71」になっていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

19 「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

20 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

以上で、ドライバおよびユーティリティのインストールは終了です。

POINT

- ▶ 本製品のドライバおよびユーティリティをインストールすると、すべてのローカルエリア接続のプロパティに「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」が追加されます。この「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」は本製品でのみ動作するため、他のネットワークデバイスには影響を与えません。

次に、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。接続するネットワークによって、「2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）」（[●▶ P. 56](#)）または「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（[●▶ P. 71](#)）にお進みください。

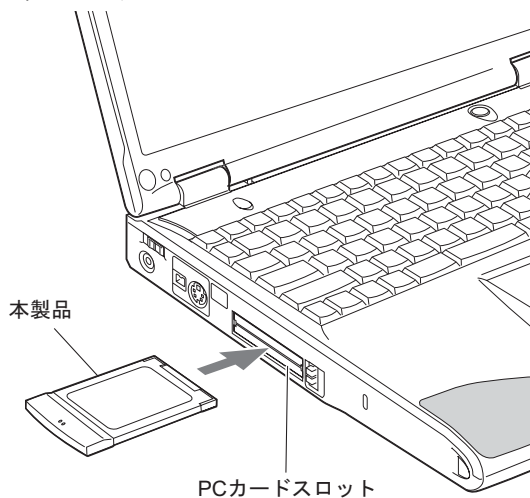
更新インストール

以前のバージョンのドライバおよびユーティリティを、本バージョンに更新する場合のインストール方法を説明します。

POINT

- ▶ 以前のバージョンで使用していたプロファイル（ワイヤレス LAN の設定）は、そのまま引き継がれます。
- ▶ シングルサインオンを使用する場合は、以前のバージョンのドライバ、ユーティリティを削除して、シングルサインオン用インストールを行ってください。
ドライバおよびユーティリティの削除については、「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」（[●▶ P. 194](#)）をご覧ください。
シングルサインオン用インストールについては、お使いの OS によって、「インストール（Windows XP の場合）」（[●▶ P. 32](#)）または「インストール（Windows 2000 の場合）」（[●▶ P. 41](#)）をご覧ください。
ドライバおよびユーティリティを削除すると、以前のバージョンで使用していたプロファイル（ワイヤレス LAN の設定）は引き継がれません。手順に従って、再度ワイヤレス LAN の設定を行ってください。

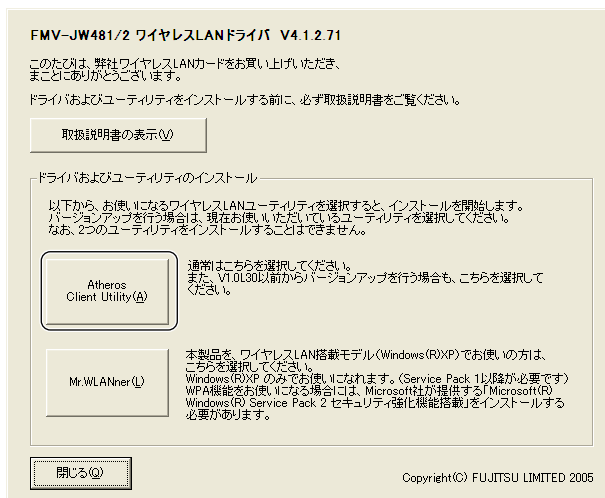
- 1 パソコンの電源を切った状態で、本製品をパソコンの **PC カードスロット** にセットします。



- ▶ インストール中は、絶対に本製品をパソコンから取り外さないでください。

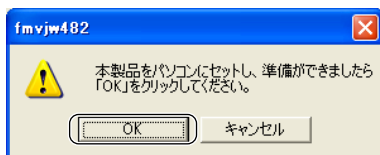
- 2 パソコンの電源を入れます。
「ログオン」ウィンドウが表示されたら、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバーでログオンします。
- 3 本製品に添付の **CD-ROM** を、パソコンにセットします。

4 「Atheros Client Utility」をクリックします。



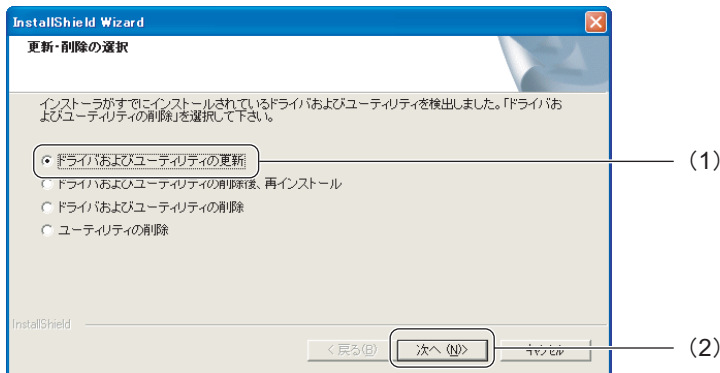
メッセージの画面が表示されます。


5 「OK」をクリックします。

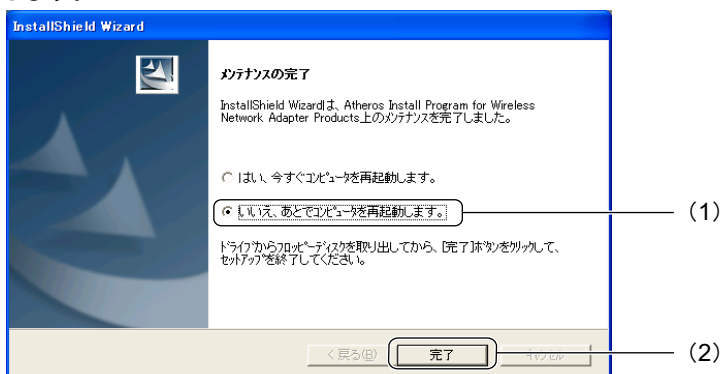


「更新・削除の選択」ウィンドウが表示されます。

6 (1)「ドライバおよびユーティリティの更新」をクリックして にし、 (2)「次へ」をクリックします。



- 7 「メンテナンスの完了」が表示されたら、(1)「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックして  にし、(2)「完了」をクリックします。



- 8 **CD-ROM** を取り出します。

- 9 **Windows** を再起動します。

- 10 「ログオン」ウィンドウが表示されたら、手順 2 で使用したユーザーでログオンします。

- 11 お使いの **OS** によって、次のように操作します。

- Windows XP の場合

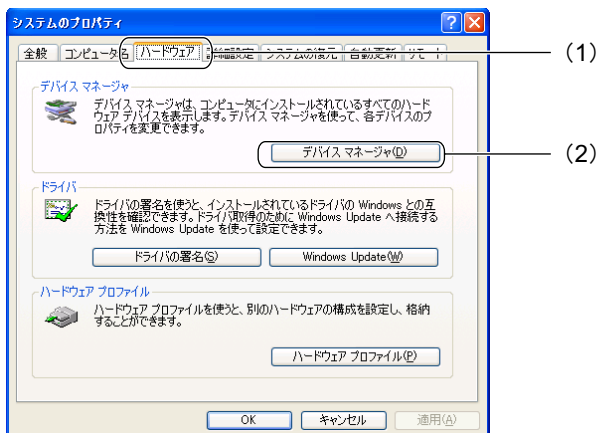
「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

- Windows 2000 の場合

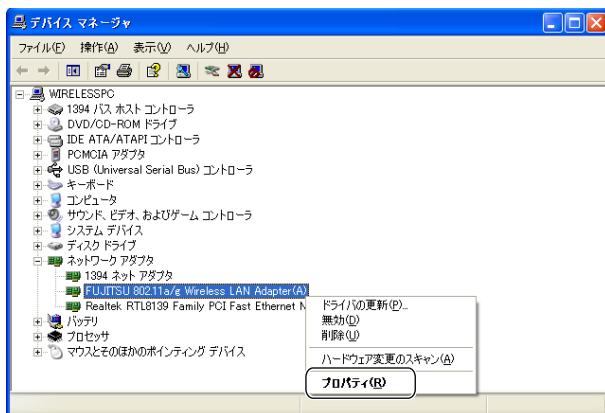
デスクトップ画面の「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

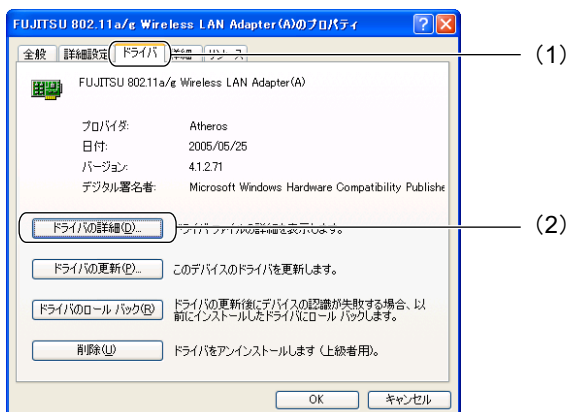
- 12 (1)「ハードウェア」タブをクリックして、(2)「デバイス マネージャ」をクリックします。



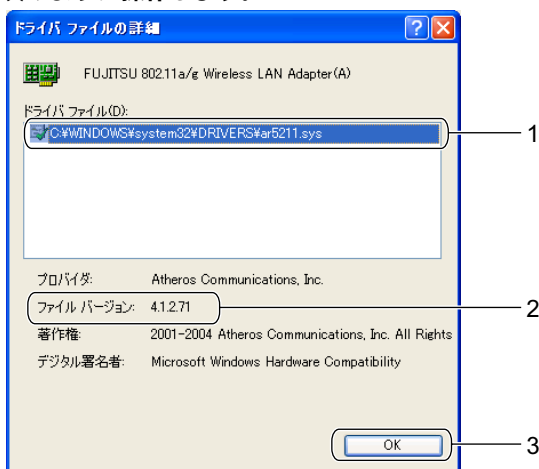
- 13** 「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



- 14** (1)「ドライバ」タブをクリックして、(2)「ドライバの詳細」をクリックします。



15 次のように操作します。



1. お使いの OS によって、次のように操作します。
 - ・ Windows XP の場合
「ドライバファイル」の「[システムドライブ]:¥WINDOWS¥system32 ¥DRIVERS¥ar5211.sys」をクリックして反転させます。
 - ・ Windows 2000 の場合
「ドライバファイル」の「[システムドライブ]:¥WINNT¥system32 ¥DRIVERS¥ar5211.sys」をクリックして反転させます。
2. 「ファイルバージョン」が「4.1.2.71」になっていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

16 「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

17 「デバイス マネージャ」 ウィンドウ、および「システムのプロパティ」 ウィンドウを閉じます。

POINT

- ▶ 本製品のドライバおよびユーティリティをインストールすると、すべてのローカルエリア接続のプロパティに「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」が追加されます。この「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」は本製品でのみ動作するため、他のネットワークデバイスには影響を与えません。

2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）

インフラストラクチャ通信を行う場合のワイヤレス LAN の設定について説明します。



Atheros クライアントユーティリティをお使いください

本製品では、Atheros クライアントユーティリティを使用した各種ワイヤレス LAN 設定およびセキュリティ通信を推奨しています。

Atheros クライアントユーティリティと Windows XP 標準のワイヤレス LAN 機能は併用できませんので、次の手順で Windows XP 標準のワイヤレス LAN 機能が無効になっていることを確認してください。

なお、Windows 2000 SP4 で提供される Wireless Configuration サービスはお使いになれません。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4. 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5. 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。
6. 「Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する」（または「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」）が ☐ になっていることを確認してください。

☒ の場合は、クリックして ☐ にします。



プロファイルの保存と復元について

複数のパソコンに同じワイヤレス LAN の設定を行う場合などは、ひとつのパソコンで設定を行った後、設定内容をファイルに保存して、別のパソコンに復元することができます。詳しくは、「プロファイルの保存と復元」（●▶ P. 82）をご覧ください。


ADSL (PPPoE) を使用してインターネットに接続する場合

ご使用になる無線 LAN アクセスポイントによっては、パソコンの MTU サイズを変更する必要があります。詳しくは無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

プロファイルの作成とセキュリティの選択

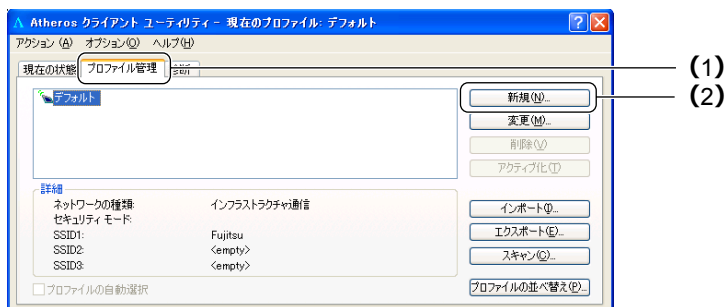
ワイヤレス LAN 通信を行うために必要な、SSID、セキュリティなどを設定します。設定した内容は、プロファイルに保存されます。

ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

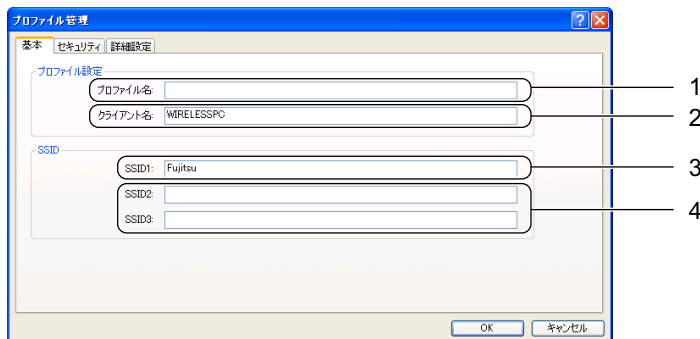
- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（) を右クリックし、表示されるメニューから「Atheros クライアントユーティリティを開く」をクリックします。

「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 (1)「プロファイル管理」タブをクリックし、(2)「新規」をクリックします。



- 3 「プロファイル管理」ウィンドウで次のように設定します。



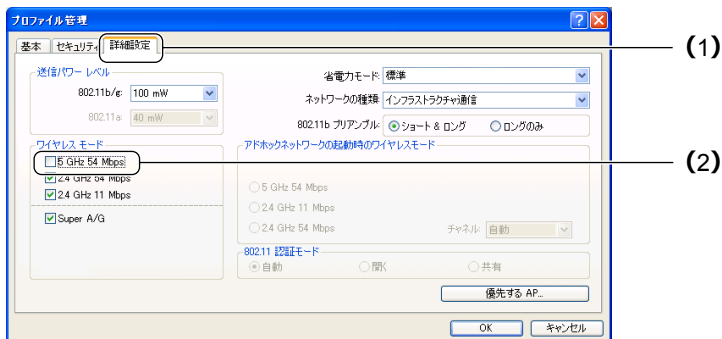
1. プロファイル名
プロファイルを識別するためのプロファイル名を設定します。半角英数字、半角記号および全角文字（日本語）で入力できます（32文字以内）。
2. クライアント名
変更する必要はありません。
3. SSID1
SSIDを接続する無線LANアクセスポイントに合わせて設定します。
4. SSID2/SSID3
SSID2/SSID3は、使用できません。設定を行わないでください。

重要

本製品を屋外で使用する場合

本製品を屋外で使用する場合は、次のように 5GHz の電波を停止させてください。
5GHz 帯の電波を停止することで、IEEE 802.11a の通信を行わなくなります。

- ▶ (1) 「詳細設定」タブをクリックし、(2) 「ワイヤレスモード」の「5GHz 54 Mbps」をクリックして ☐ にします。



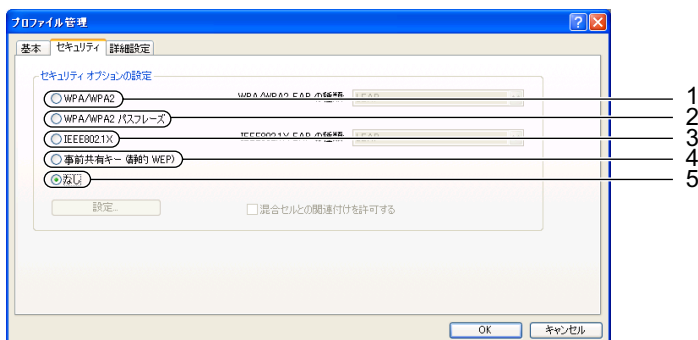
注： ネットワークの状況によっては、この画面の「Super A/G」という項目の下に「QoS」という項目が表示される場合がありますが、設定を変更する必要はありません。

4 「セキュリティ」タブをクリックします。

5 通信データの暗号化などのための設定をします。

重要

- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。



1. WPA/WPA2

WPA/WPA2 を使用する場合、認証サーバーや CA 局が必要になります。WPA/WPA2 を使用する場合は、「セキュリティの設定：WPA/WPA2」(●▶ P. 60) にお進みください。

2. WPA/WPA2 パスフレーズ

WPA/WPA2-PSK を使用する場合、「セキュリティの設定：WPA/WPA2 パスフレーズ (WPA/WPA2-PSK)」(●▶ P. 64) にお進みください。


3. IEEE 802.1X

IEEE 802.1X 認証を使用する場合、認証サーバーや CA 局が必要になります。IEEE 802.1X 認証を使用する場合は、「セキュリティの設定：IEEE 802.1X 認証」(●▶ P. 65) にお進みください。

4. 事前共有キー（静的 WEP）

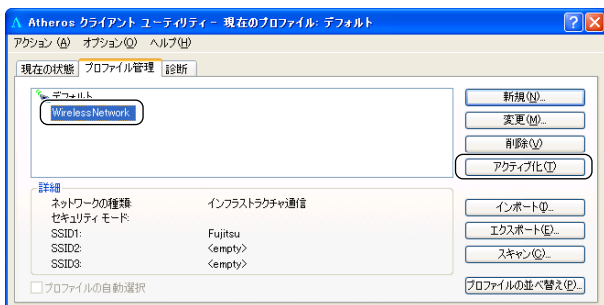
WEP キーを使用する場合は、「セキュリティの設定：事前共有キー（静的 WEP）」(●▶ P. 69) にお進みください。

5. なし

データの暗号化をしない場合、クリックして  にします。手順 6 へお進みください。

6 「OK」をクリックします。

7 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。



以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。

次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」(●▶ P. 158) へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定 (Windows 2000 の場合)」(●▶ P. 169) へお進みください。

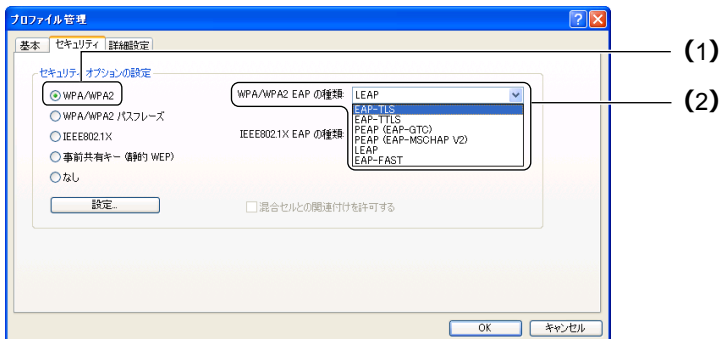
セキュリティの設定：WPA/WPA2

POINT

- ▶ WPA/WPA2 を使用する場合、認証サーバーや CA 局などが必要になります。

WPA/WPA2 を使用する場合、「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブで次のように設定します。「プロファイル管理」ウィンドウを表示するには、「プロファイルの作成とセキュリティの選択」(●▶ P. 56) をご覧ください。

- 1 (1)「WPA/WPA2」をクリックして●にし、(2)「WPA/WPA2 EAP の種類」の▼をクリックして、接続するネットワークに合わせて認証プロトコルを選択します。



- 2 「設定」をクリックします。

使用する認証プロトコルによって、設定が異なります。

■EAP-TLS を使用する場合



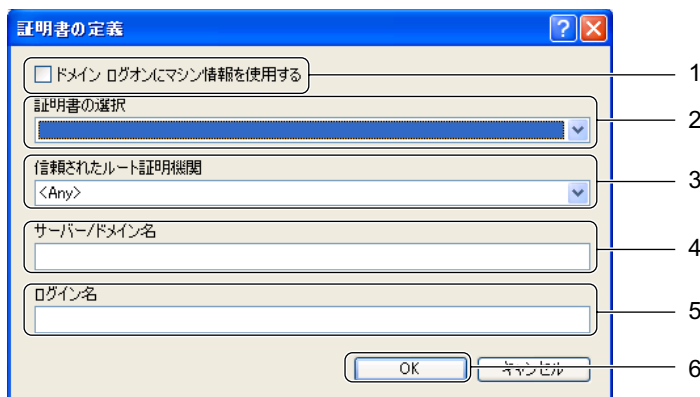
Windows のドメイン環境でお使いになる場合

Windows のドメイン環境でお使いになる場合には、次の設定が必要になります。

- ▶ コンピュータ証明書のインストール
- ▶ 「ドメイン ログオンにマシン情報を使用する」の有効化
- ▶ ローカルコンピュータに対する管理者権限
- ▶ シングルサインオン無効

POINT

- ▶ パソコンに証明書がインストールされていない場合はエラーメッセージが表示されます。お使いになる環境に合わせて証明書のインストールを行ってください。
- ▶ お使いになる証明書によっては、各項目が自動で設定される場合があります。
- ▶ Windows XP でシングルサインオン用インストールを行っている場合には、Windows のユーザーにパスワード（Windows ログオン用のパスワード）を設定してください。



1. ドメインログオンにマシン情報を使用する

Windows のドメイン環境でコンピュータ証明書をお使いになる場合に、クリックして ☒ にします。

2. 証明書の選択

☒ をクリックして使用する証明書を選択します。

3. 信頼されたルート証明機関

証明機関を選択する場合は、☒ をクリックして使用する証明機関を選択します。

4. サーバー/ドメイン名

認証サーバー名またはドメイン名を入力します（環境によっては、Windows のドメインと一致する場合があります）。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。

5. ログイン名

認証用のログイン名を入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。

6. OK

設定が完了したら、「OK」をクリックします。

「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。

■PEAP (EAP-MSCHAP v2) を使用する場合




Windows のドメイン環境でお使いになる場合

Windows のドメイン環境でお使いになる場合には、シングルサインオンは使用せず、Atheros クライアントユーティリティにユーザー名とパスワードを設定し、「ユーザがログオンしていない時にネットワークに接続する」の設定を有効にする必要があります。

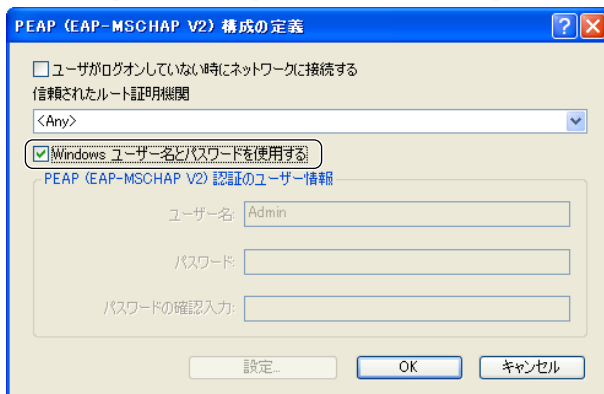


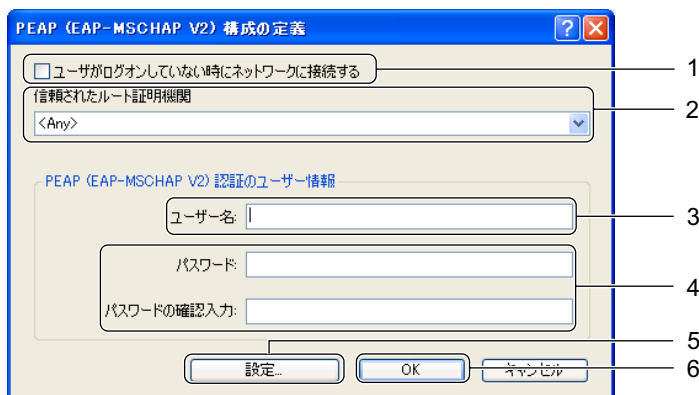
シングルサインオンをお使いの場合

- ▶ Windows XP でシングルサインオンを使用する場合、Windows のユーザーにパスワード（Windows ログオン用のパスワード）を設定してください。
- ▶ シングルサインオン用インストールを行っている場合は、次の画面が表示されます。

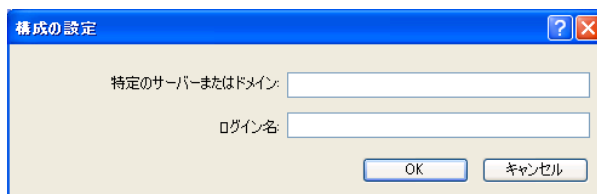
Windows にログオンするユーザー名とパスワードを使用して認証を行う場合は、「Windows ユーザー名とパスワードを使用する」をクリックして  にしてください。

「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」は設定しません。





1. ユーザーがログオンしていない時にネットワークに接続する
ユーザーがコンピュータにログオンする前、およびユーザーがログオフした状態でも無線ネットワークに接続する場合に、クリックして ☒ にします。認証には、Atheros クライアントユーティリティに設定したユーザー情報が使用されます。「Windows ユーザー名とパスワードを使用する」に設定した場合、本機能は使用できません。
2. 信頼されたルート証明機関
証明機関を選択する場合は、 をクリックして使用する認証機関を選択します。
3. ユーザー名
認証に使用するユーザー名を入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。
4. パスワード／パスワードの確認入力
認証に使用するユーザーのパスワードを入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。
5. 設定
「設定」をクリックし、「構成の設定」ウィンドウで認証環境に合わせて各項目を設定し、「OK」をクリックします（環境によっては、Windows のドメインと一致する場合があります）。



6. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。
「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。

3 「OK」をクリックします。

4 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。

以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。

次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）」（●▶ P. 169）へお進みください。

セキュリティの設定：WPA/WPA2 パスフレーズ (WPA/WPA2-PSK)

POINT

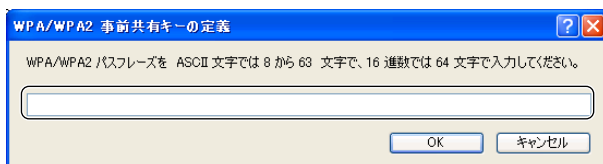
- ▶ ユーザーがコンピュータにログオンする前、およびユーザーがログオフした状態でも無線ネットワークに接続されます。
- ▶ コンピュータ起動時、無線ネットワークへの接続には時間がかかります。そのため、ログオン時にログオン画面が表示された状態で数十秒待つ必要があります。

WPA/WPA2-PSK を使用する場合、「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブで次のように設定します。「プロファイル管理」ウィンドウを表示するには、「プロファイルの作成とセキュリティの選択」（●▶ P. 56）をご覧ください。

1 「WPA/WPA2 パスフレーズ」をクリックして にし、「設定」をクリックします。

「WPA/WPA2 事前共有キーの定義」ウィンドウが表示されます。

2 お使いになる無線 LAN アクセスポイントに合わせて PSK (WPA/WPA2 パスフレーズ) を入力し、「OK」をクリックします。



3 「OK」をクリックします。

4 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。

以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。



次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）」（●▶ P. 169）へお進みください。

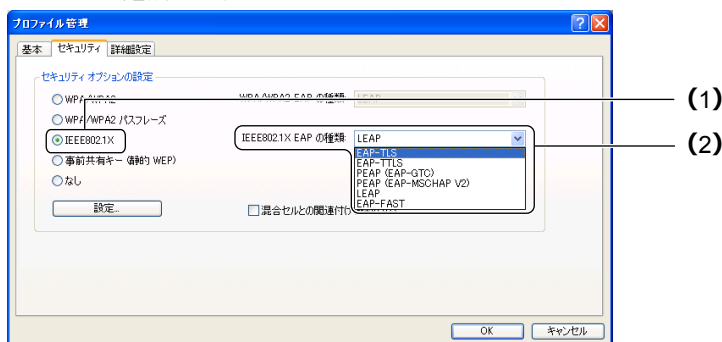
セキュリティの設定：IEEE 802.1X 認証

POINT

- ▶ IEEE 802.1X 認証を使用する場合、認証サーバーや CA 局が必要になります。

IEEE 802.1X 認証を使用する場合、「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブで次のように設定します。「プロファイル管理」ウィンドウを表示するには、「プロファイルの作成とセキュリティの選択」(●▶ P. 56) をご覧ください。

- 1 (1)「IEEE 802.1X」をクリックして  にし、(2)「IEEE 802.1X EAP の種類」の  をクリックして、接続するネットワークに合わせて認証プロトコルを選択します。



- 2 「設定」をクリックします。
使用する認証プロトコルによって、設定が異なります。

■EAP-TLS を使用する場合

重要

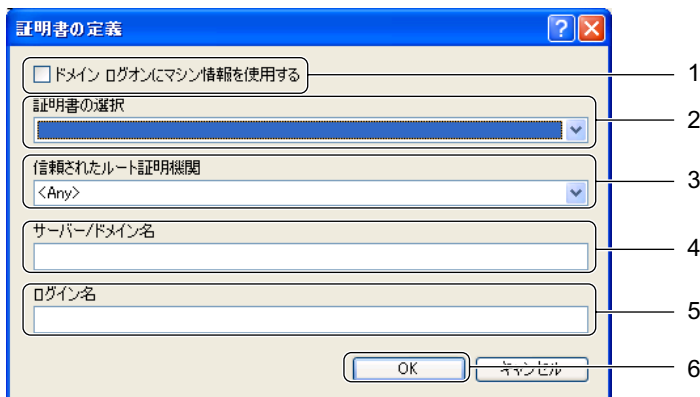
[Windows のドメイン環境でお使いになる場合](#)

Windows のドメイン環境でお使いになる場合には、次の設定が必要になります。

- ▶ コンピュータ証明書のインストール
- ▶ 「ドメイン ログオンにマシン情報を使用する」の有効化
- ▶ ローカルコンピュータに対する管理者権限
- ▶ シングルサインオン無効

POINT

- ▶ パソコンに証明書がインストールされていない場合はエラーメッセージが表示されます。お使いになる環境に合わせて証明書のインストールを行ってください。
- ▶ お使いになる証明書によっては、各項目が自動で設定される場合があります。
- ▶ Windows XP でシングルサインオン用インストールを行っている場合には、Windows のユーザーにパスワード（Windows ログオン用のパスワード）を設定してください。



1. ドメインログオンにマシン情報を使用する

Windows のドメイン環境で、コンピュータ証明書をお使いになる場合に ☒ にします。

2. 証明書の選択

☒ をクリックして使用する証明書を選択します。

3. 信頼されたルート証明機関

証明機関を選択する場合は、☒ をクリックして使用する証明機関を選択します。

4. サーバー/ドメイン名

認証サーバー名またはドメイン名を入力します（環境によっては、Windows のドメインと一致する場合があります）。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。

5. ログイン名

認証用のログイン名を入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。

6. OK

設定が完了したら、「OK」をクリックします。

「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。

■PEAP (EAP-MSCHAP v2) を使用する場合




Windows のドメイン環境でお使いになる場合

Windows のドメイン環境でお使いになる場合には、シングルサインオンは使用せず、Atheros クライアントユーティリティにユーザー名とパスワードを設定し、「ユーザーがログオンしていない時にネットワークに接続する」の設定を有効にする必要があります。

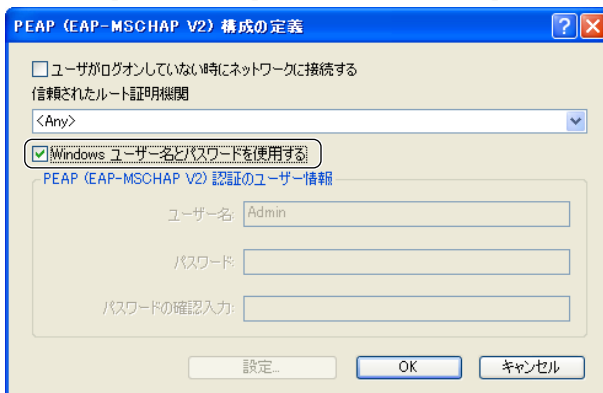


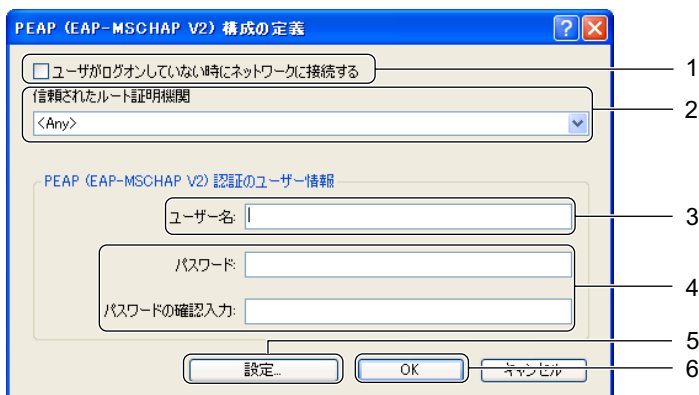
シングルサインオンをお使いの場合

- ▶ Windows XP でシングルサインオンを使用する場合、Windows のユーザーにパスワード (Windows ログオン用のパスワード) を設定してください。
- ▶ シングルサインオン用インストールを行っている場合は、次の画面が表示されます。

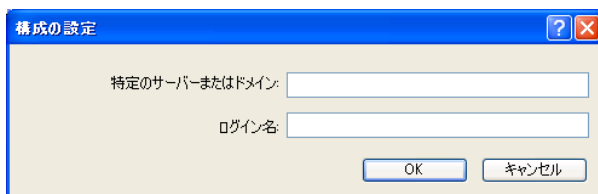
Windows にログオンするユーザー名とパスワードを使用して認証を行う場合は、「Windows ユーザー名とパスワードを使用する」をクリックして  にしてください。

「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」は設定しません。





1. ユーザーがログオンしていない時にネットワークに接続する
ユーザーがコンピュータにログオンする前、およびユーザーがログオフした状態でも無線ネットワークに接続する場合に、クリックして ☒ にします。
認証には、Atheros クライアントユーティリティに設定したユーザー情報が使用されます。「Windows ユーザー名とパスワードを使用する」に設定した場合、本機能は使用できません。
2. 信頼されたルート証明機関
証明機関を選択する場合は、 をクリックして使用する認証機関を選択します。
3. ユーザー名
認証に使用するユーザー名を入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。
4. パスワード/パスワードの確認入力
認証に使用するユーザーのパスワードを入力します。お使いになる認証環境に合わせて設定してください。
5. 設定
「設定」をクリックし、「構成の設定」ウィンドウで認証環境に合わせて各項目を設定し、「OK」をクリックします（環境によっては、Windows のドメインと一致する場合があります）。



6. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。
「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。

3 「OK」をクリックします。

4 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。

以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。

次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」 (●▶ P. 158) へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定 (Windows 2000 の場合)」 (●▶ P. 169) へお進みください。

セキュリティの設定：事前共有キー（静的 WEP）

POINT

- キーの番号はお使いになる無線 LAN アクセスポイントと同じ値に設定する必要がありますが、装置や OS のバージョンなどによって、設定できる範囲が 0～3 の場合と 1～4 の場合があります。キーの番号は次のように対応していますので、ご注意ください。

	対応するインデックス番号			
キーのインデックス番号が 0～3 の場合	0	1	2	3
キーのインデックス番号が 1～4 の場合	1	2	3	4

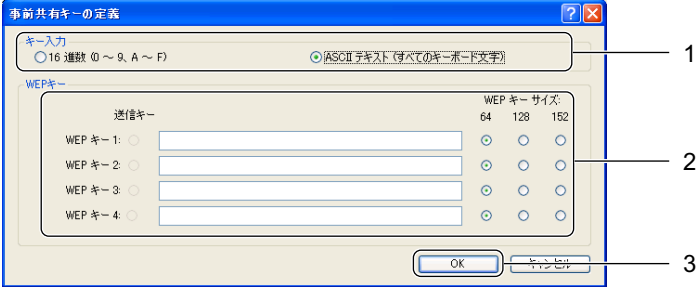
- 一度入力済みの WEP キーを変更する場合は、すべての文字列を削除してから入力し直してください。

WEP キーを使用する場合、「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブで次のように設定します。「プロファイル管理」ウィンドウを表示するには、「プロファイルの作成とセキュリティの選択」 (●▶ P. 56) をご覧ください。

1 「事前共有キー（静的 WEP）」をクリックしてにし、「設定」をクリックします。

「事前共有キーの定義」ウィンドウが表示されます。

2 次のように設定します。



1. キー入力

キー入力の形式を 16 進数または ASCII テキストから選択します。

2. WEP キー

接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて設定します。

使用する WEP キーの長さを「WEP キーサイズ」で選択し、「送信キー」に WEP キーを入力します。

POINT

- ▶ WEP キーとしてお使いになれる文字は、次のとおりです。
 - ・ キー入力が ASCII テキストの場合
0～9、A～Z、a～z、_（アンダーバー）
 - ・ キー入力が 16 進数のキャラクターコードの場合
0～9、A～F、a～f
- ▶ 「キー入力」、「WEP キーサイズ」の設定による WEP キーの入力文字数は、次のとおりです。

「キー入力」	「WEP キーサイズ」		
	64bit	128bit	152bit
「16 進数 (0-9、A-F)」	10 桁	26 桁	32 桁
「ASCII テキスト」	5 文字	13 文字	16 文字

3. OK

設定が完了したら、「OK」をクリックします。

「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。

3 「OK」をクリックします。

4 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。

以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。

次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」(●▶ P. 158) へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定 (Windows 2000 の場合)」(●▶ P. 169) へお進みください。

3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）

アドホック通信の場合のワイヤレス LAN の設定について説明します。



Atheros クライアントユーティリティをお使いください

本製品では、Atheros クライアントユーティリティを使用した各種ワイヤレス LAN 設定およびセキュリティ通信を推奨しています。

Atheros クライアントユーティリティと Windows XP 標準のワイヤレス LAN 機能は併用できませんので、次の手順で Windows XP 標準のワイヤレス LAN 機能が無効になっていることを確認してください。

なお、Windows 2000 SP4 で提供される Wireless Configuration サービスはお使いになれません。

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
クラシック表示をお使いの場合は「ネットワークとインターネット接続」は表示されません。そのまま手順3へお進みください。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。
4. 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
5. 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。
6. 「Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する」（または「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」）が ☐ になっていることを確認してください。
 ☒ の場合は、クリックして ☐ にします。




- ▶ アドホック通信で、Super AG および Super G はサポートしていません。

ワイヤレス LAN 通信を行うために必要な SSID、セキュリティなどを設定します。設定した内容はプロファイルに保存されます。



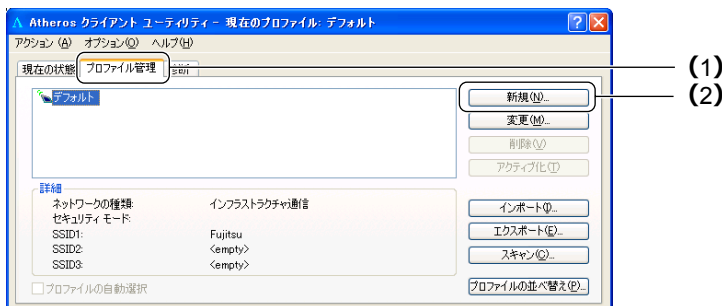
プロファイルの保存と復元について

複数のパソコンに同じワイヤレス LAN の設定を行う場合などは、ひとつのパソコンで設定を行った後、設定内容をファイルに保存して、別のパソコンに復元することができます。詳しくは、「プロファイルの保存と復元」（**▶ P. 82）をご覧ください。

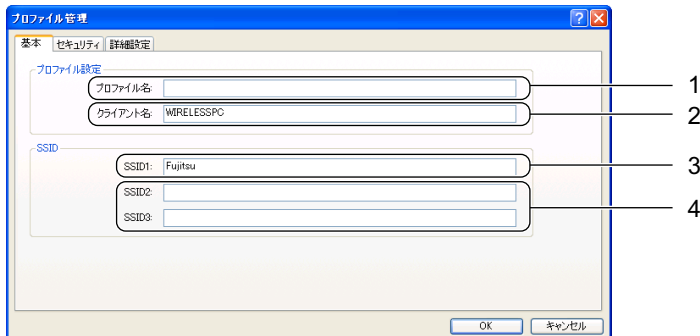
- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「Atheros クライアントユーティリティを開く」をクリックします。

「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 (1)「プロファイル管理」タブをクリックし、(2)「新規」をクリックします。



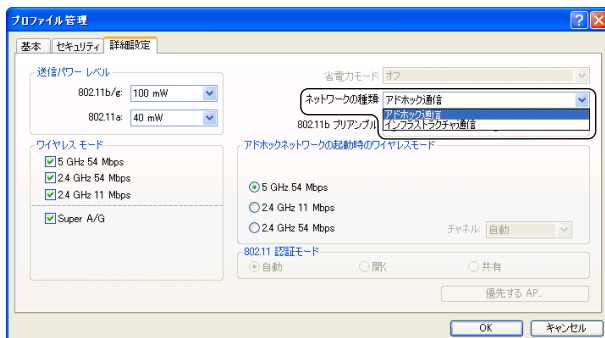
- 3 「プロファイル管理」ウィンドウで次のように設定します。



1. プロファイル名
プロファイルを識別するためのプロファイル名を設定します。半角英数字、半角記号および全角文字（日本語）で入力できます（32 文字以内）。
2. クライアント名
変更する必要はありません。
3. SSID1
接続するアドホックワイヤレス LAN ネットワークに合わせて、SSID を半角英数字 32 文字以内で入力します。大文字、小文字を区別します。
4. SSID2/SSID3
SSID2/SSID3 は、使用できません。設定を行わないでください。

- 4 「詳細設定」タブをクリックします。

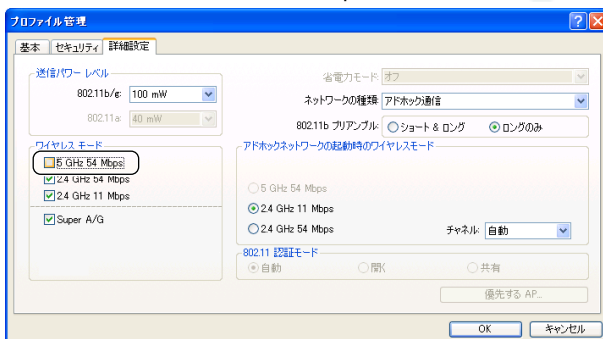
5 「ネットワークの種類」の▼をクリックして「アドホック通信」に設定します。



本製品を屋外で使用する場合

本製品を屋外で使用する場合は、次のように 5GHz の電波を停止させてください。
5GHz 帯の電波を停止することで、IEEE 802.11a の通信を行わなくなります。

- ▶ 「ワイヤレスモード」の「5GHz 54 Mbps」をクリックして ☐ にします。




注： ネットワークの状況によっては、この画面の「Super A/G」という項目の下に「QoS」という項目が表示される場合がありますが、設定を変更する必要はありません。

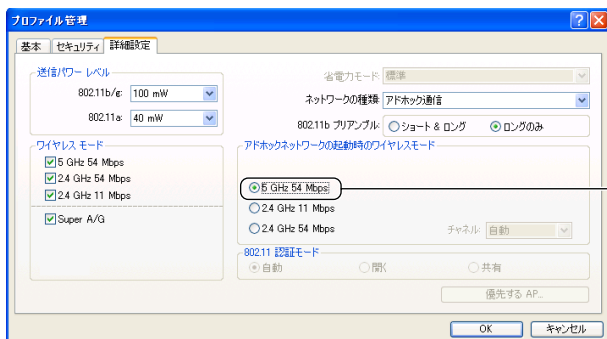
6 「アドホックネットワークの起動時のワイヤレスモード」から使用する周波数を選択します。





- ▶ 2.4GHz 帯でアドホック通信を行う場合、指定できるチャンネルは 1～13 までですが、実際には 1～14 チャンネルでのアドホック通信が可能です（14 チャンネルを使用する場合は、事前に通信相手を起動しておく必要があります）。

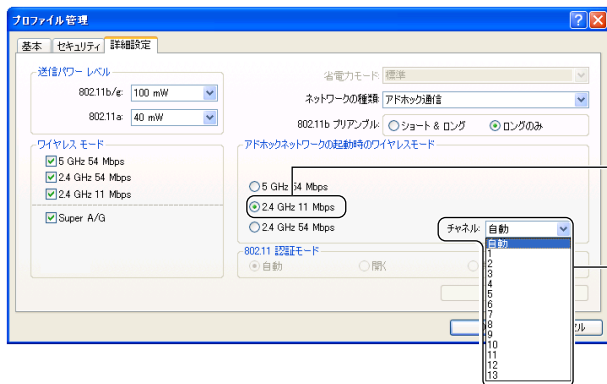
■IEEE 802.11a を使用する場合

1. 「5GHz 54Mbps」をクリックして  にします。





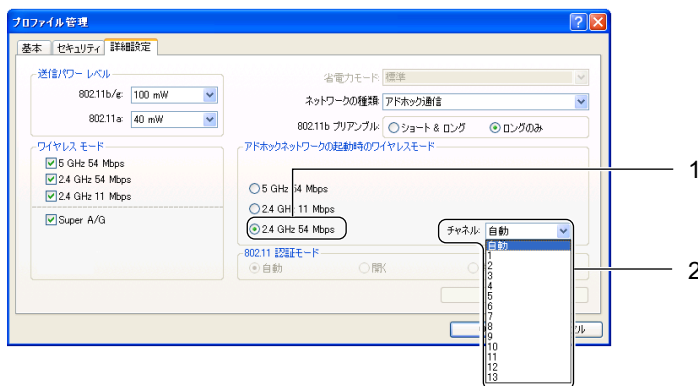
■IEEE 802.11b を使用する場合

1. 「2.4GHz 11Mbps」をクリックして  にします。
2. 「チャンネル」の右側の  をクリックして使用するチャンネルを選択します。



■IEEE 802.11g を使用する場合

1. 「2.4GHz 54Mbps」をクリックして  にします。
2. 「チャンネル」の右側の  をクリックして使用するチャンネルを選択します。



POINT

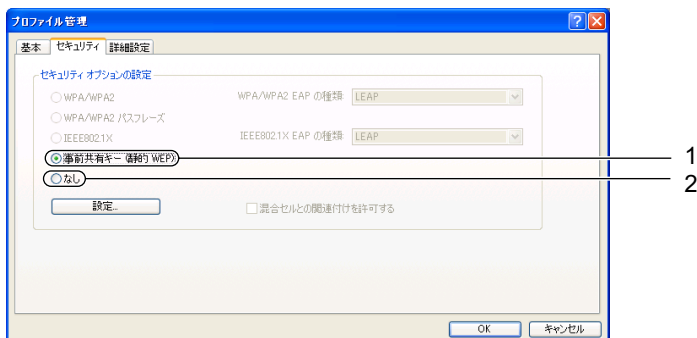
- ▶ 事前に通信相手が起動している場合は、「アドホックネットワークの起動時のワイヤレスモード」の設定に関係なく接続される場合があります。
- ▶ 同一フロア内など、近くに他の IEEE 802.11b ワイヤレス LAN ネットワークが存在する場合には、チャンネルの値を 5 つ以上離してください。例えばチャンネル 1、6、11 のように設定してください。

7 「セキュリティ」タブをクリックします。

8 通信データを暗号化するための設定をします。

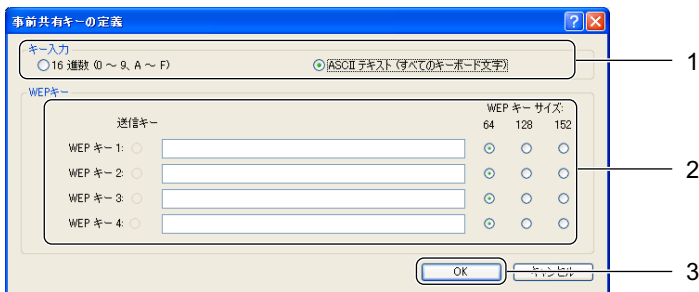
重要

- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。



1. 事前共有キー（静的 WEP）

WEP キーを使用する場合、「事前共有キー（静的 WEP）」をクリックして にします。「設定」をクリックし、「事前共有キーの定義」ウィンドウで次のように設定します。



1. キー入力
キー入力の形式を 16 進数または ASCII テキストから選択します。
2. WEP キー
接続するアドホックワイヤレス LAN ネットワークに合わせて設定します。
使用する WEP キーの長さを「WEP キーサイズ」で選択し、「送信キー」に WEP キーを入力します。

POINT

- ▶ WEP キーとしてお使いになれる文字は、次のとおりです。
 - ・ キー入力が ASCII テキストの場合
0～9、A～Z、a～z、_（アンダーバー）
 - ・ キー入力が 16 進数のキャラクターコードの場合
0～9、A～F、a～f
- ▶ 「キー入力」、「WEP キーサイズ」の設定による WEP キーの入力文字数は、次のとおりです。

「キー入力」	「WEP キーサイズ」		
	64bit	128bit	152bit
「16 進数 (0-9、A-F)」	10 桁	26 桁	32 桁
「ASCII テキスト」	5 文字	13 文字	16 文字

3. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。
「プロファイル管理」ウィンドウの「セキュリティ」タブの画面に戻ります。


POINT

- キーの番号はお使いになるパソコンと同じ値に設定する必要がありますが、装置や OS のバージョンなどによって、設定できる範囲が 0～3 の場合と 1～4 の場合があります。キーの番号は次のように対応していますので、ご注意ください。

	対応するインデックス番号			
キーのインデックス番号が 0～3 の場合	0	1	2	3
キーのインデックス番号が 1～4 の場合	1	2	3	4

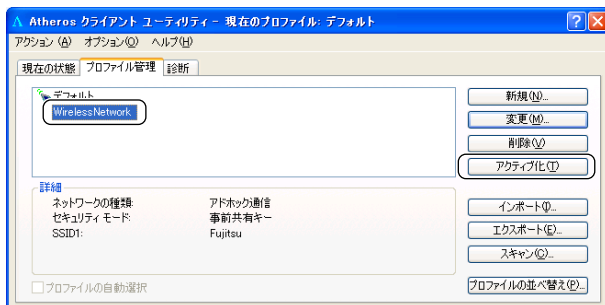
- 一度入力済みの WEP キーを変更する場合は、すべての文字列を削除してから入力し直してください。

2. なし

データを暗号化しない場合、クリックして  にします。

9 「OK」をクリックします。

10 「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウの「プロファイル管理」タブで設定したプロファイルが選択されていることを確認し、「アクティブ化」をクリックします。



以上でワイヤレス LAN の設定は終了です。







次に、Windows XP の場合は、「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）へ、Windows 2000 の場合は、「2 ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）」（●▶ P. 169）へお進みください。

4 ユーティリティの使用法

ドライバユーティリティの使用法について説明します。

電波状態の確認

デスクトップ右下の通知領域に登録されているドライバユーティリティのアイコンは、電波の状態などによって、次のように変化します。


アンテナの状態	説明
	電波環境が良好な状態です。
	電波環境が普通の状態です。
	電波環境が良くない状態です。
	接続していない状態です。
	電波が停止している状態です。
	Super AG または Super G が有効なアクセスポイントに接続しています。


電波の停止と再開

電波の停止と再開は次のように行います。

- ・ 「電波の停止」 (▶▶ P. 78)
- ・ 「電波の再開」 (▶▶ P. 79)

■電波の停止

1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「無線の無効化」をクリックします。


本製品の動作が停止し、ユーティリティアイコンが  に変わります。


「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。



2 「OK」をクリックします。

■電波の再開

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「無線の有効化」をクリックします。

本製品の動作が再開し、ユーティリティアイコンが  に変わります。

「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。




- 2 「OK」をクリックします。

プロファイルの選択


ワイヤレス LAN 設定を保存したプロファイルが複数ある場合は、接続するネットワークによってプロファイルを変更する必要があります。

重要

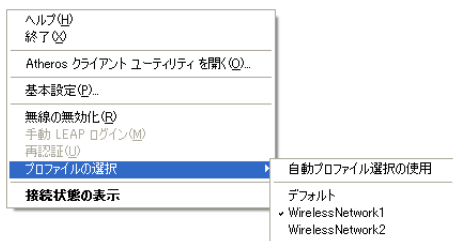
- ▶ Atheros クライアントユーティリティに保存されたプロファイルは、ログオン可能なすべてのユーザーが参照・編集可能です。
- ▶ コンピュータ起動時にアクティブになるプロファイルは、シャットダウンおよび再起動前にアクティブだったプロファイルです。

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューの「プロファイルの選択」をクリックします。


POINT

- ▶ アイコンの状態は、接続状態などにより異なります。詳しくは、「電波状態の確認」( P. 78) をご覧ください。
- ▶ 通知領域にユーティリティアイコンが表示されていない場合は、「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」(または「プログラム」) → 「Atheros」 → 「Atheros Client Utility」の順にクリックします。

- 2 登録したプロファイルの一覧から変更したいプロファイルをクリックします。



POINT

- ▶ プロファイル名の先頭に  が付いているものが、現在選択されているプロファイルです。


プロファイルが切り替わります。

プロファイルの自動選択

プロファイルを複数設定している場合、優先順位をつけて自動で切り替えることができます。

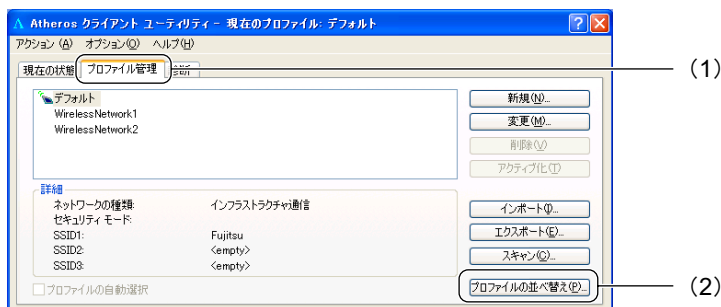
重要

- ▶ プロファイルの切り替え時に、接続するネットワークが存在しない場合は、次に優先順位の高いプロファイルに切り替わります。電波状態や認証の成否によるプロファイルの切り替えは行いません。
- ▶ プロファイルの自動選択を有効にすると、「自動的に選択されたプロファイル」に登録されていないプロファイルはアクティブにできません。

1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「**Atheros クライアントユーティリティを開く**」をクリックします。

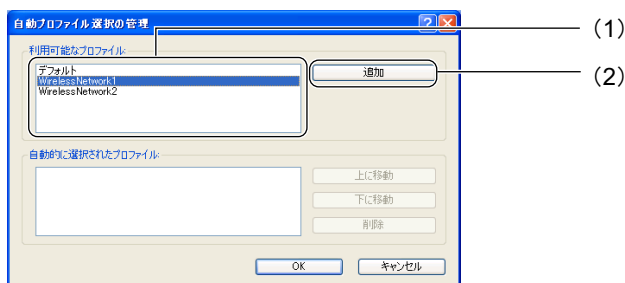
「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

2 (1)「**プロファイル管理**」タブをクリックし、(2)「**プロファイルの並べ替え**」をクリックします。



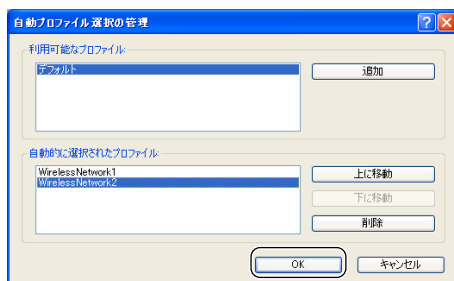
「自動プロフィール選択の管理」ウィンドウが開きます。

- 3** (1)「利用可能なプロフィール」から自動で切り替えたいプロフィールを選択して、(2)「追加」をクリックします。



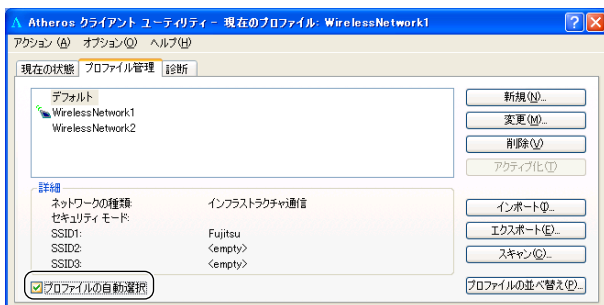
「自動的に選択されたプロフィール」に追加されます。

- 4** 自動で切り替えたいプロフィールをすべて追加したら、「OK」をクリックします。



「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウに戻ります。

- 5** 「プロフィールの自動選択」をクリックして ☒ にします。




プロファイルの保存と復元

プロファイルに設定されている情報を、ファイルに保存することができます。保存したファイルを使用して、本製品を搭載している別のパソコンに同じプロファイルを復元することができます。

重要

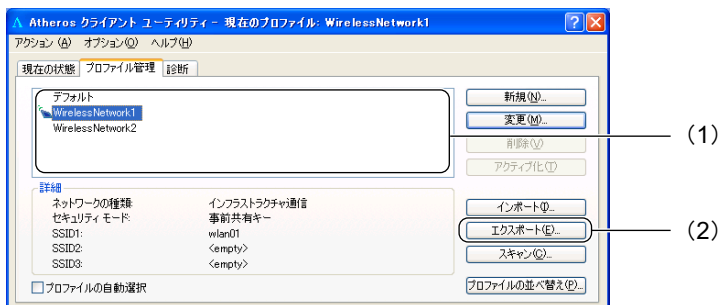
- ▶ ファイルに保存された情報は暗号化されているので、メモ帳などのテキストエディタでファイルを開いても、設定内容を確認することはできません。
- ▶ 保存、復元できるのは、Atheros クライアントユーティリティで設定した情報のみです。認証のための証明書は保存、復元できません。
- ▶ プロファイルの保存と復元は、同じバージョンの Atheros クライアントユーティリティを使用して行ってください。
- ▶ プロファイルを復元するパソコンに、すでに同じ名前のプロファイルがある場合は、復元できません。

■ プロファイルの保存（エクスポート）

1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「Atheros クライアントユーティリティを開く」をクリックします。
「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

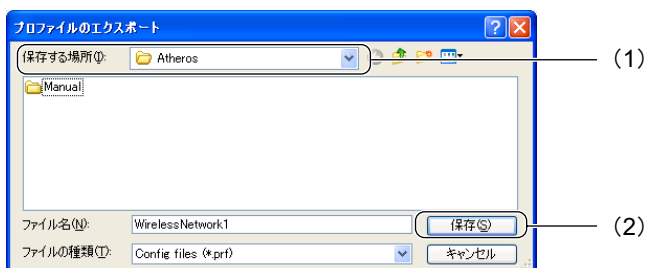
2 「プロファイル管理」タブをクリックします。

3 (1) 保存したいプロファイルをクリックし、(2) 「エクスポート」をクリックします。




「プロファイルのエクスポート」ウィンドウが開きます。

- 4** (1) ファイルを保存するフォルダを選択し、(2) 「保存」をクリックします。

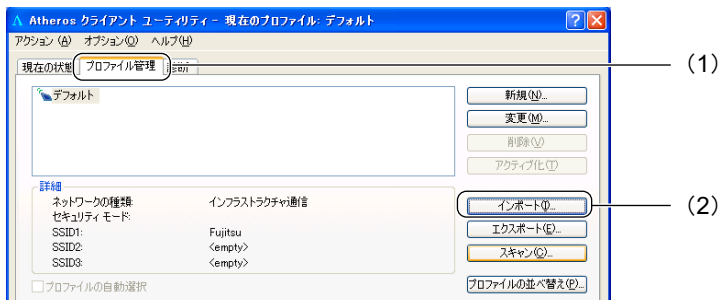


■ プロファイルの復元（インポート）

- 1** デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（) を右クリックし、表示されるメニューから「Atheros クライアントユーティリティを開く」をクリックします。

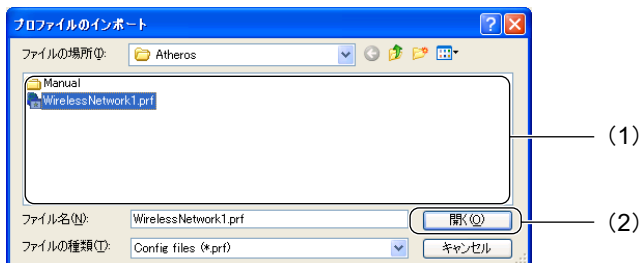
「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2** (1) 「プロファイル管理」タブをクリックし、(2) 「インポート」をクリックします。

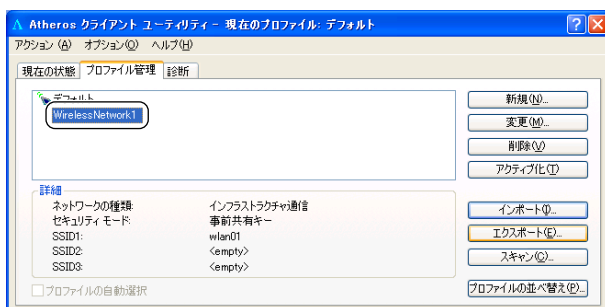


「プロファイルのインポート」ウィンドウが開きます。

3 (1) 復元するファイルをクリックして、(2)「開く」をクリックします。



プロファイルが復元されます。



第 3 章

インストールとパラメータの設定 (Mr.WLANner の場合)

ドライバおよびユーティリティのインストールと、ワイヤレス LAN 通信のための設定について説明します。

1	インストール.....	86
2	ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）.....	102
3	ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）.....	135
4	ユーティリティの使用方法.....	141

1 インストール

ドライバおよびユーティリティのインストール方法を説明します。

インストール

ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンに、本製品のドライバおよびユーティリティをインストールする手順を説明します。

古いバージョンのドライバを更新インストールする場合は、「更新インストール」(●▶ P. 93) をご覧ください。

重要

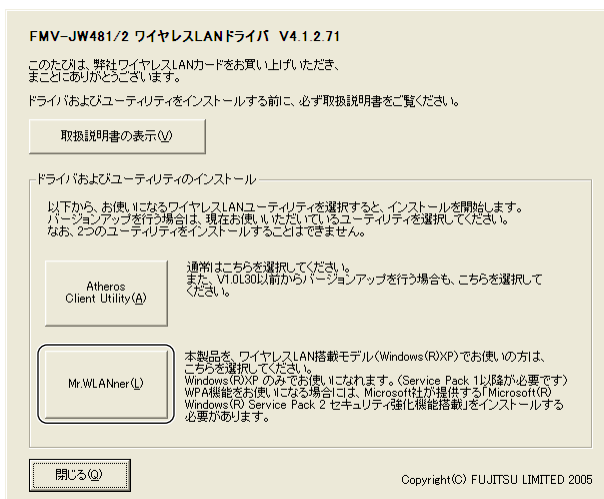
- ▶ インストールを開始する前に、本製品をパソコンにセットしないでください。
- ▶ Windows XP のみでお使いになれます (Windows XP SP1 以降が必要です)。
- ▶ WPA をお使いになるためには、Windows XP SP2 をインストールする必要があります。インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

1 パソコンの電源を入れます。

「ログオン」ウィンドウが表示されたら、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバでログオンします。

2 本製品に添付の CD-ROM を、パソコンにセットします。

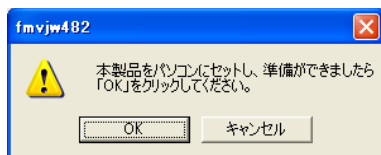
3 「Mr.WLANner」をクリックします。



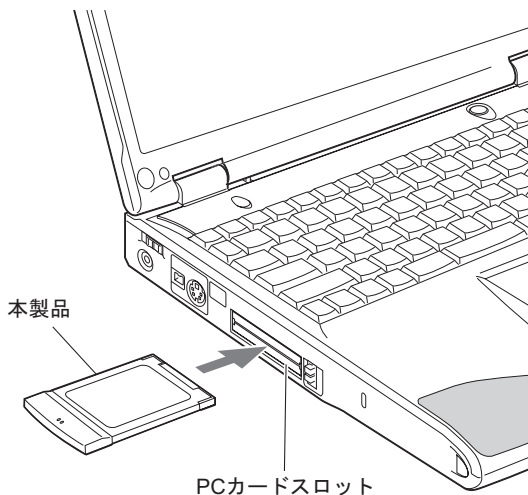
パソコンの機種によって、次に表示されるメッセージが異なります。

4 メッセージの内容に従って、次のように操作します。

■次のメッセージ画面が表示された場合

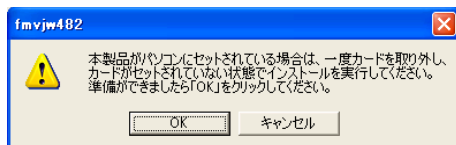


1. 本製品をパソコンのPC カードスロットにセットします。



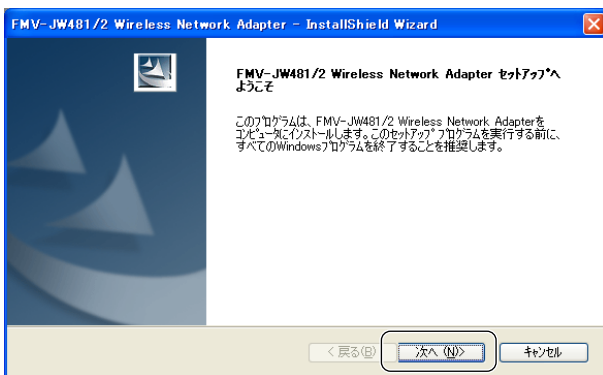
2. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウで、「キャンセル」をクリックします。
3. メッセージの画面で「OK」をクリックします。

■次のメッセージ画面が表示された場合



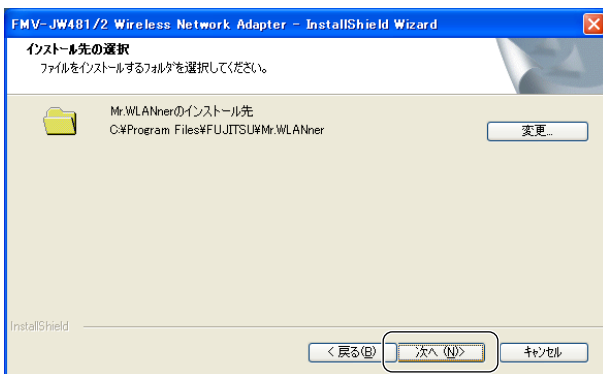
1. 本製品をパソコンにセットせずに、メッセージの画面で「OK」をクリックします。
(後で本製品をセットします。)
インストール開始の画面が表示されます。

5 「次へ」をクリックします。



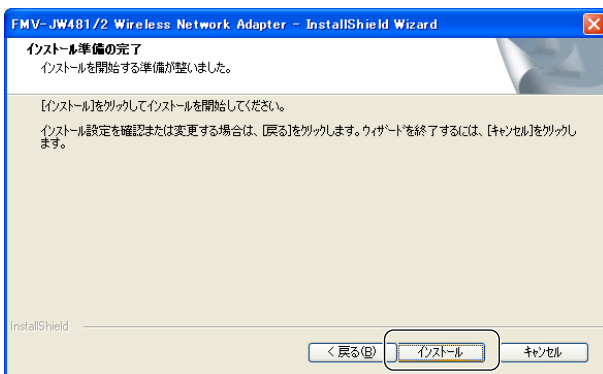
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

6 「次へ」をクリックします。



「インストール準備の完了」ウィンドウが表示されます。

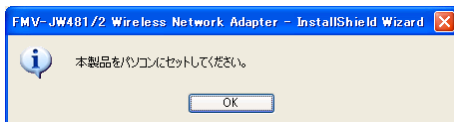
7 「インストール」をクリックします。



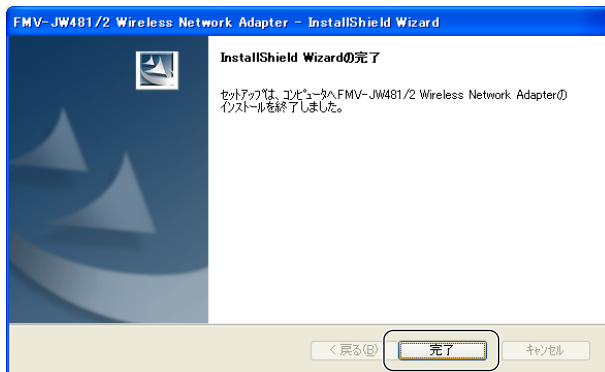
ドライバおよびユーティリティがインストールされ、「インストールの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- ▶ 次のメッセージが表示された場合は、本製品をパソコンにセットしてから、「OK」をクリックしてください。



8 「完了」をクリックします。

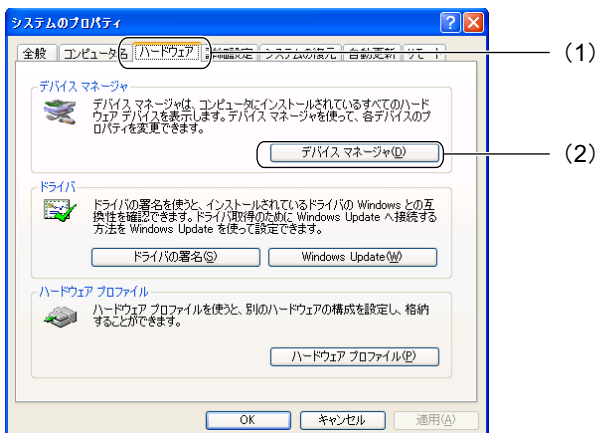


9 CD-ROM を取り出します。

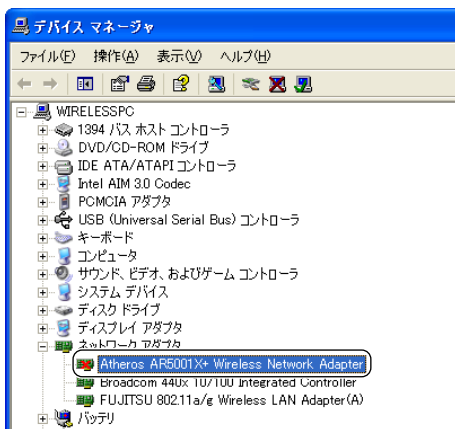
10 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

11 (1)「ハードウェア」タブをクリックして、(2)「デバイス マネージャ」をクリックします。



12 パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが無効になっていることを確認します。



POINT

- ▶ ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンの場合、本インストールにより、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスは無効に設定されます。ただし、お使いの環境によって、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが有効に設定されない場合がありますので、その際は、無効に設定してください。
- 無効にする手順については、「パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスに「×」マークがついています」(●▶ P.208)をご覧ください。

13 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

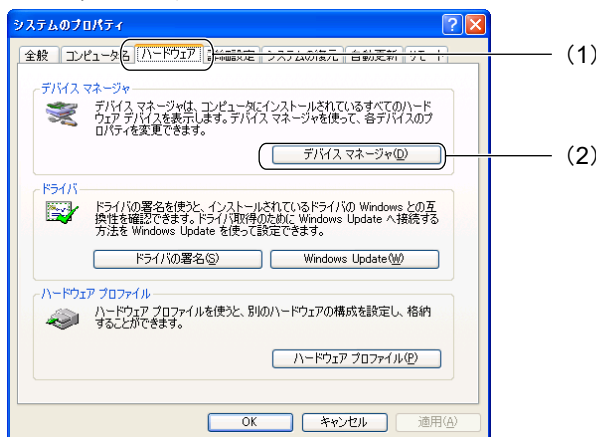
14 Windows を再起動します。

15 「ログオン」ウィンドウが表示されたら、手順 1 で使用したユーザーでログオンします。

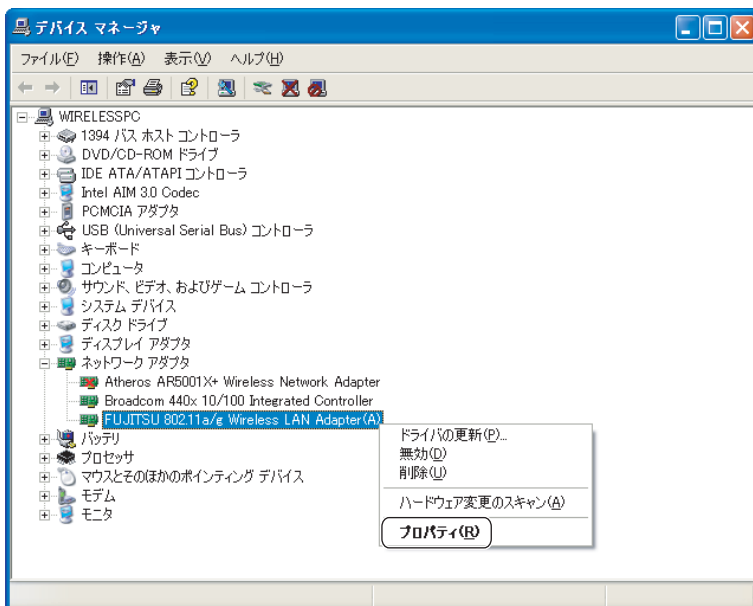
16 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

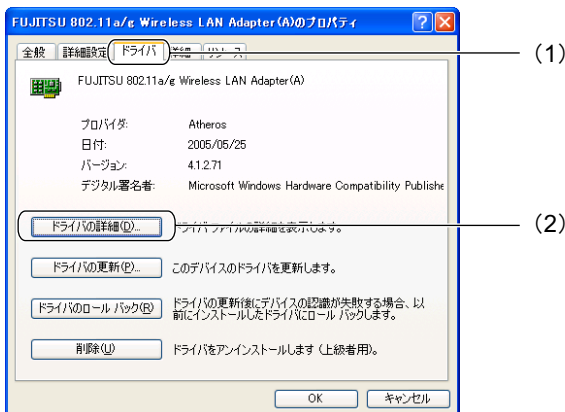
17 (1) 「ハードウェア」タブをクリックして、(2) 「デバイス マネージャ」をクリックします。



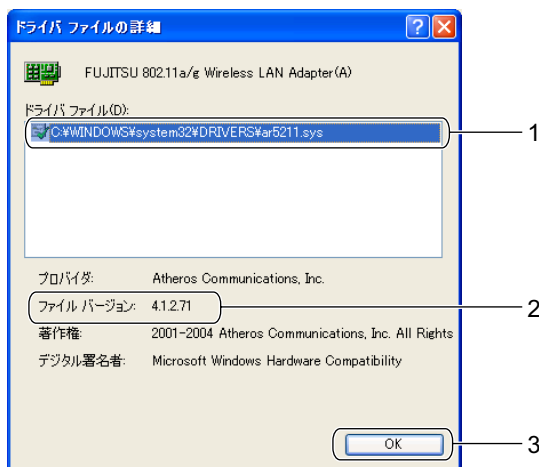
18 「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



19 (1)「ドライバ」タブをクリックして、(2)「ドライバの詳細」をクリックします。



20 次のように操作します。



1. 「ドライバファイル」の「[システムドライブ]:¥WINDOWS¥system32 ¥DRIVERS¥ar5211.sys」をクリックして反転させます。
2. 「ファイルバージョン」が「4.1.2.71」になっていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

21 「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

22 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

以上で、ドライバおよびユーティリティのインストールは終了です。

POINT


- ▶ 本製品のドライバおよびユーティリティをインストールすると、すべての「ローカルエリア接続」および「ワイヤレスネットワーク接続」のプロパティに「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」が追加されます。この「AEGIS Protocol (IEEE 802.1x) v3.2.0.3」は本製品でのみ動作するため、他のネットワークデバイスには影響を与えません。

次に、ワイヤレス LAN 通信のための設定を行います。接続するネットワークによって、「2 ワイヤレス LAN の設定 (インフラストラクチャ通信の場合) 」(●▶P. 102) または「3 ワイヤレス LAN の設定 (アドホック通信の場合) 」(●▶P. 135) にお進みください。

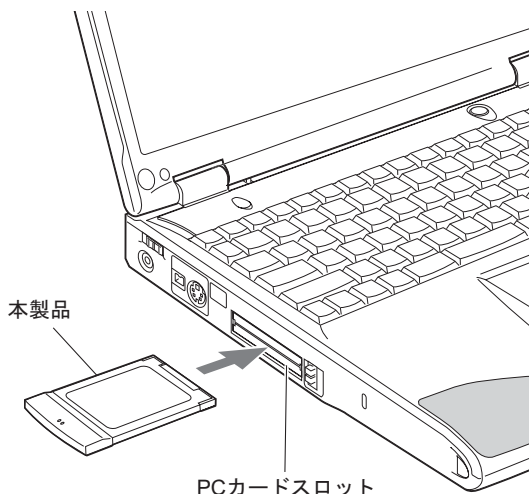
更新インストール

以前のバージョンのドライバおよびユーティリティを、本バージョンに更新する場合のインストール方法を説明します。

POINT

- ▶ 以前のバージョンで使用していたプロファイル（ワイヤレス LAN の設定）は、そのまま引き継がれます。
- ▶ インストール後の「Mr.WLANner」ウィンドウは、簡易表示になっている場合があります。「簡易表示」から、標準の「一覧表示」に切り替えるには、「Mr.WLANner」ウィンドウの右上にある「一覧表示」ボタン（）をクリックします。

1 パソコンの電源を切った状態で、本製品をパソコンの PC カードスロットにセットします。

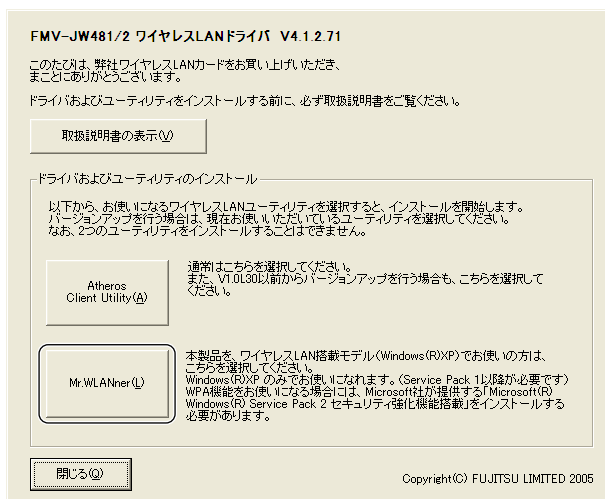


2 パソコンの電源を入れます。

「ログオン」ウィンドウが表示されたら、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバでログオンします。

3 本製品に添付の CD-ROM を、パソコンにセットします。

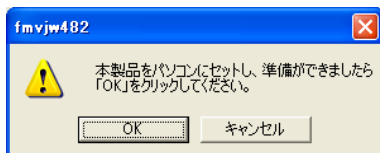
4 「Mr.WLANner」をクリックします。



パソコンの機種によって、次に表示されるメッセージが異なります。

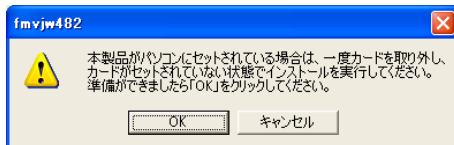
5 メッセージに従って、次のように操作します。

■次のメッセージ画面が表示された場合



1. メッセージの画面で「OK」をクリックします。
カードをセットした状態のまま、手順6に進みます。

■次のメッセージ画面が表示された場合



1. 本製品をパソコンから取り外します。
取り外し方法は、「本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが」(●▶P. 182) をご覧ください。
(後で再度、本製品をセットします。)
2. メッセージの画面で「OK」をクリックします。

POINT

次のメッセージが表示された場合

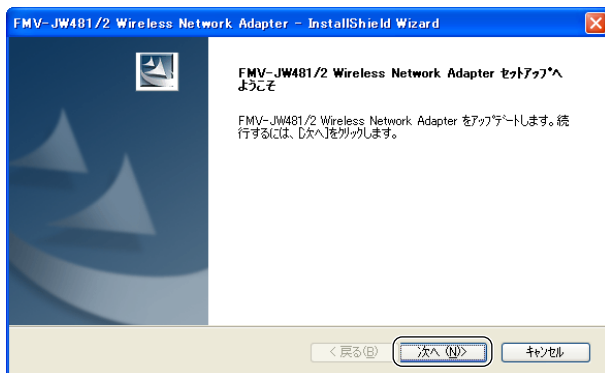


次の手順を行います。

1. 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックします。
3. 「デバイスマネージャ」をクリックします。
4. 「ネットワークアダプタ」の中から「Atheros AR5001X+ Wireless Network Adapter」を右クリックして、表示されるメニューから「有効」をクリックします。
5. 「デバイスマネージャ」ウィンドウを閉じます。
6. メッセージの画面で「OK」をクリックします。

インストール開始の画面が表示されます。

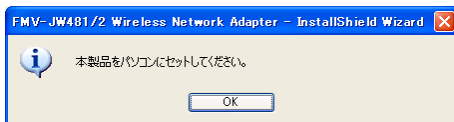
6 「次へ」をクリックします。



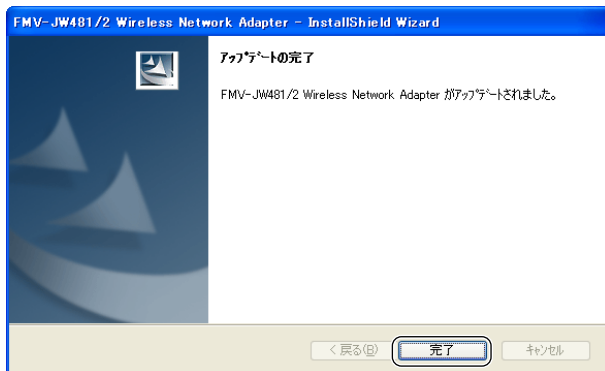
ドライバおよびユーティリティがインストールされ、「アップデートの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

- ▶ 次のメッセージが表示された場合は、本製品をパソコンにセットしてから、「OK」をクリックしてください。



7 「完了」をクリックします。

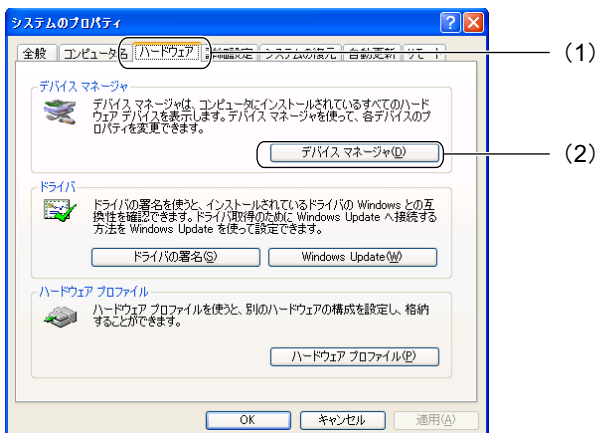


8 CD-ROM を取り出します。

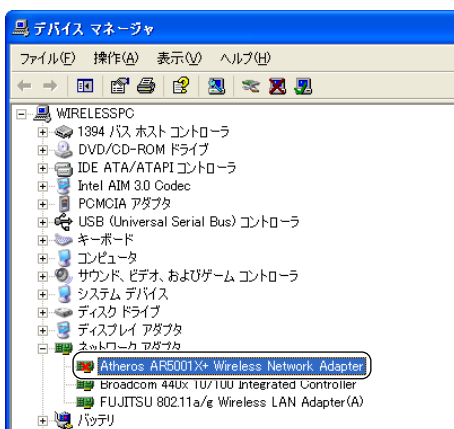
9 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

10 (1)「ハードウェア」タブをクリックして、(2)「デバイス マネージャ」をクリックします。



11 パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが無効になっていることを確認します。



POINT

- ▶ ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンの場合、本インストールにより、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスは無効に設定されます。ただし、お使いの環境によって、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが無効に設定されない場合がありますので、その際は、無効に設定してください。
- 無効にする手順については、「パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスに「×」マークがついています」(●▶ P.208)をご覧ください。

12 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

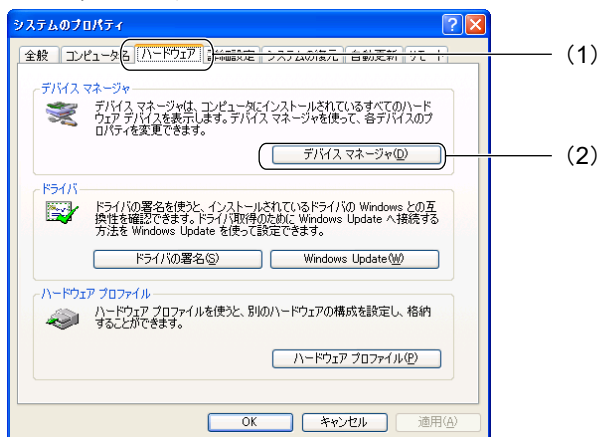
13 Windows を再起動します。

14 「ログオン」ウィンドウが表示されたら、手順 2 で使用したユーザーでログオンします。

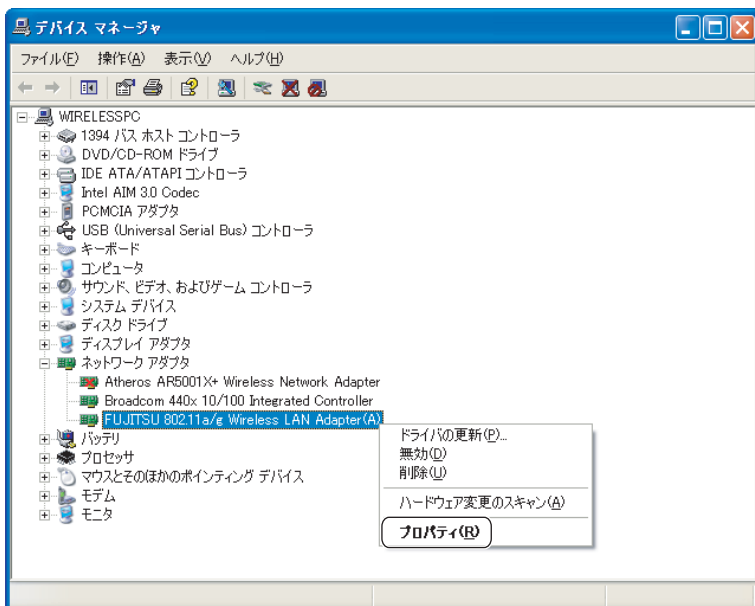
15 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

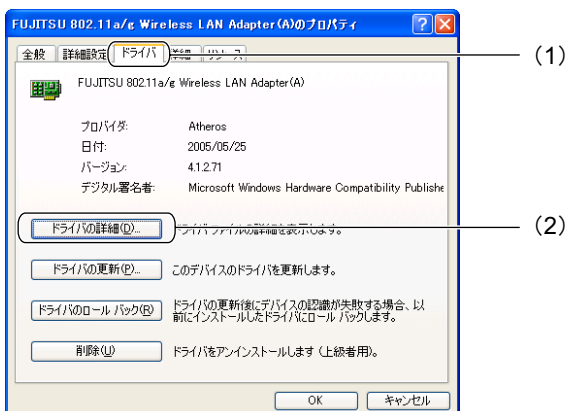
16 (1) 「ハードウェア」タブをクリックして、(2) 「デバイス マネージャ」をクリックします。



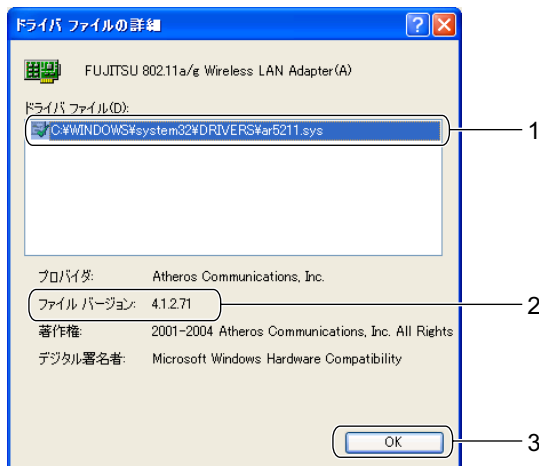
17 「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



18 (1) 「ドライバ」タブをクリックして、(2) 「ドライバの詳細」をクリックします。



19 次のように操作します。



1. 「ドライバファイル」の「[システムドライブ]:¥WINDOWS¥system32 ¥DRIVERS¥ar5211.sys」をクリックして反転させます。
2. 「ファイルバージョン」が「4.1.2.71」になっていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

20 「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

21 「デバイス マネージャ」ウィンドウ、および「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じます。

以上で、ドライバおよびユーティリティのインストールは終了です。

2 ワイヤレス LAN の設定（インフラストラクチャ通信の場合）

インフラストラクチャ通信を行う場合のワイヤレス LAN 設定について説明します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定についてネットワーク管理者に確認してください。

重要

- ▶ 本製品を屋外でお使いになる場合、5GHz 帯の電波を停止する必要があります。停止方法については、「5GHz 帯の電波の停止」（●▶ P. 143）をご覧ください。

POINT

[ADSL（PPPoE）を使用してインターネットに接続する場合](#)

ご使用になる無線 LAN アクセスポイントによっては、パソコンの MTU サイズを変更する必要があります。詳しくは無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

セキュリティの設定：WPA


重要

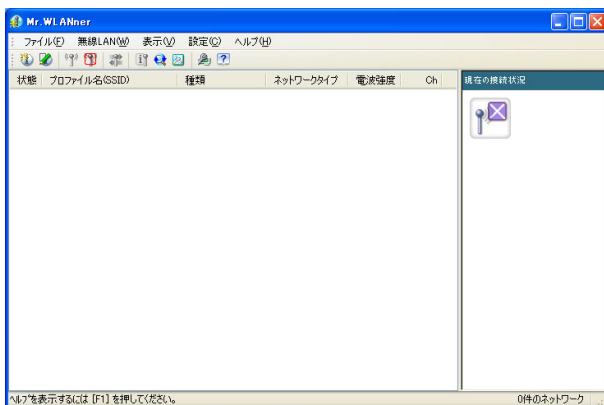
- ▶ WPA をお使いになるためには、Windows XP SP2 をインストールする必要があります。インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

POINT

- ▶ WPA を使用する場合、認証サーバーや CA 局などが必要になります。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。
「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

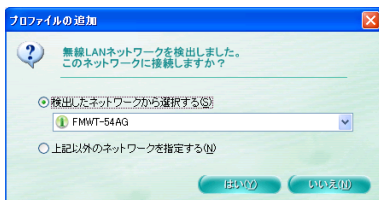


POINT

初めてプロファイルを作成する場合

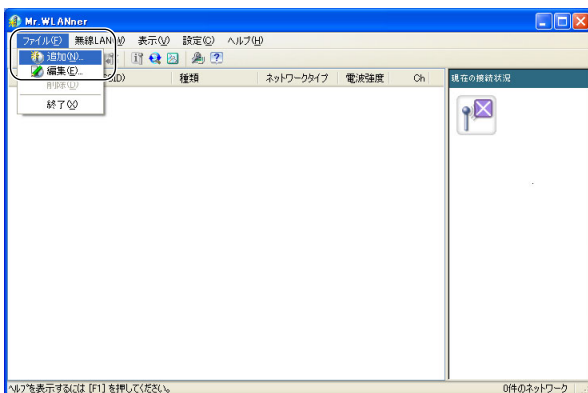
次の画面が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択して、「はい」をクリックします。その後、手順 5 にお進みください。



2

「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。

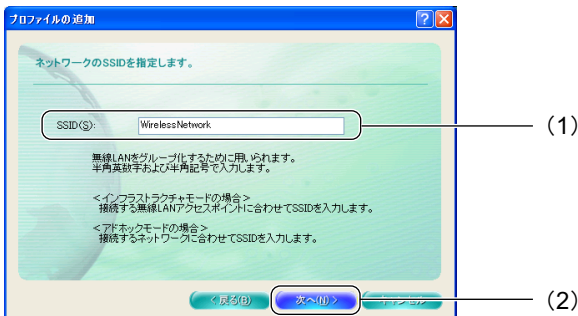


「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

3 (1)「インフラストラクチャモード」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



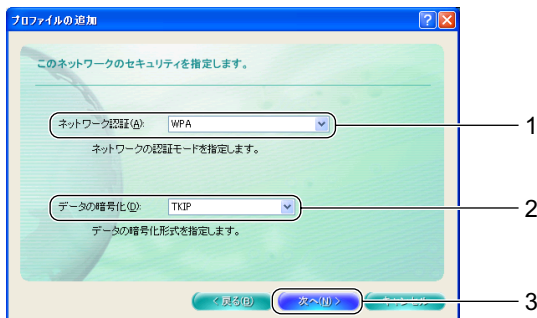
4 (1)「SSID」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。 SSID は接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて入力します。



5 セキュリティを指定します。

重要

- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。



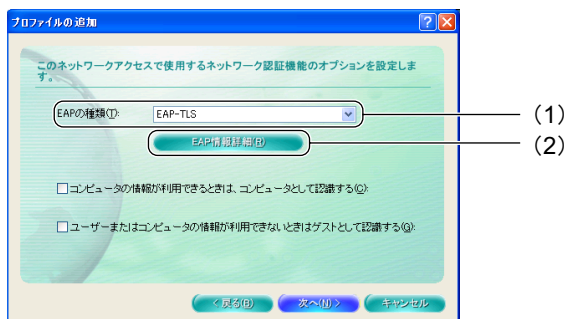
1. ネットワーク認証: 「WPA」を選択します。
2. データの暗号化: 接続する無線 LAN アクセスポイントの設定に合わせて選択します。
3. 「次へ」をクリックします。

6 接続するネットワークに合わせて認証プロトコルを選択します。

使用する認証プロトコルによって、設定が異なります。

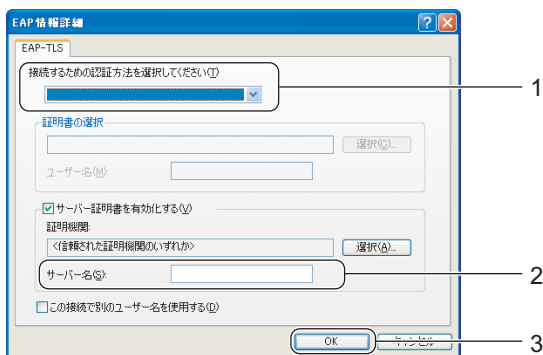
■EAP-TLS の場合

1. (1) 「EAP の種類」で ▼ をクリックして「EAP-TLS」を選択し、(2) 「EAP 情報詳細」をクリックします。



「EAP 情報詳細」ウィンドウが表示されます。

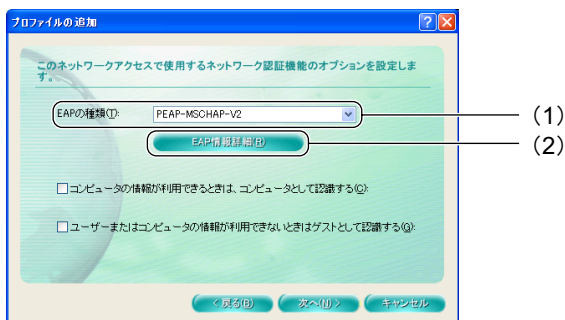
2. 詳細設定を行います。



1. ▼をクリックして認証方法を選択します。
2. 必要に応じて、証明機関の認証サーバーの設定をします。
3. 「OK」をクリックします。

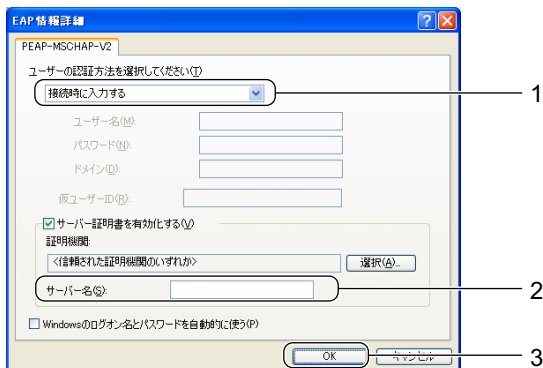
■PEAP-MSCHAP-V2 の場合

1. (1) 「EAP の種類」で ▼をクリックして「PEAP-MSCHAP-V2」を選択し、
(2) 「EAP 情報詳細」をクリックします。



「EAP 情報詳細」ウィンドウが表示されます。

2. 詳細設定を行います。



1. ▼をクリックして認証方法を選択します。

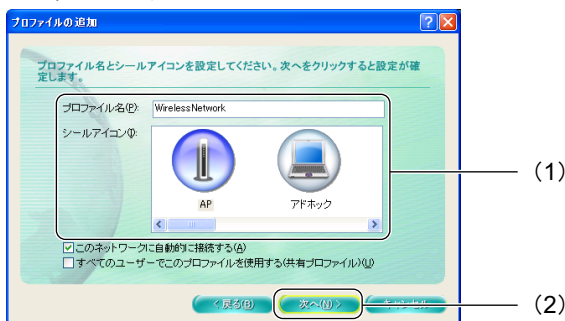
2. 必要に応じて、「証明機関の選択」に認証サーバーの設定をします。
3. 「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ ネットワーク環境によっては、「プロファイルの追加」ウィンドウで「コンピュータの情報」が利用できるときは、コンピュータとして認識するが ☒ になっていると、認証に失敗する場合があります。その場合には、クリックして ☐ にしてください。

7 「プロファイルの追加」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

8 (1)「プロファイル名」と「シールアイコン」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



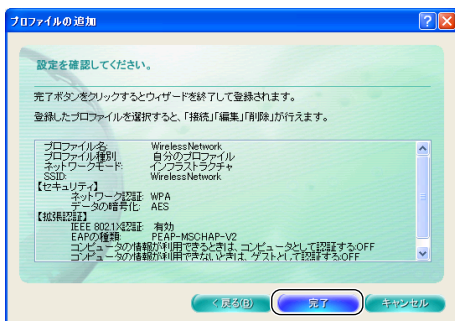
- プロファイル名：識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン：プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

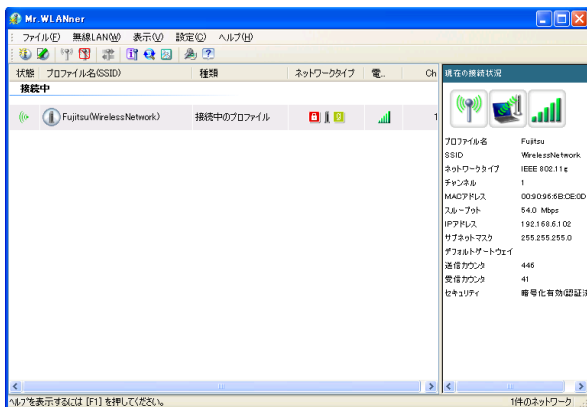
- ▶ このネットワークに自動的に接続する
クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。
- ▶ すべてのユーザーでこのプロファイルを使用する（共有プロファイル）
クリックして ☒ にすると、パソコンに登録したすべてのユーザーが、作成したプロファイルを使用できます。
☐ にすると、このプロファイルを作成したユーザーのみが、このプロファイルを使用してネットワークに接続できます。

9 設定を確認し、「完了」をクリックします。



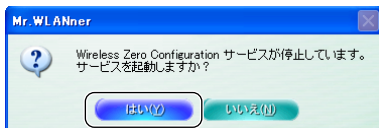
「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

10 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



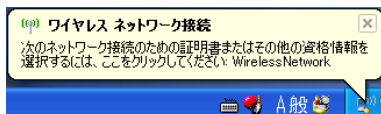
POINT

- ▶ ネットワークに接続されない場合は、作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックしてください。その際、次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- ▶ プロファイルを切り替えた際、切り替えた先のネットワークに接続されない場合は、そのネットワークのプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」をクリックしてください。
- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が有効です。詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶ P. 147) をご覧ください。

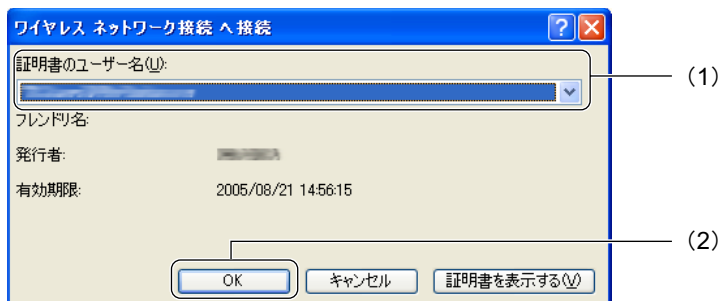
11 デスクトップ右下の通知領域に表示されるメッセージをクリックします。



12 手順 6 で選択した認証プロトコルによって、次のように操作します。

■EAP-TLS の場合

1. (1) 使用する証明書を選択し、(2) 「OK」をクリックします。



POINT

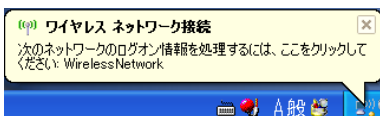
- ▶ 証明書がひとつしかインストールされていない場合には、本手順は必要ありません。手順 13 にお進みください。

■PEAP-MSCHAP-V2 の場合

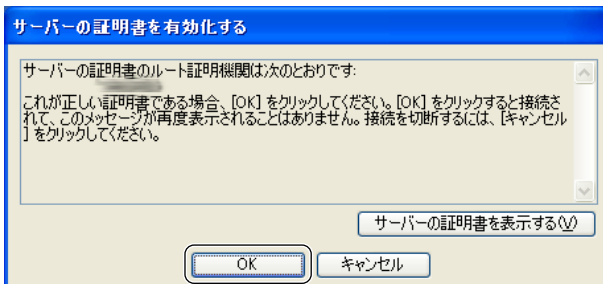
1. (1) 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、(2) 「OK」をクリックします。



13 デスクトップ右下の通知領域に表示されるメッセージをクリックします。



14 「OK」をクリックします。



15 「Mr.WLANner」を終了します。


続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶P. 158）へお進みください。

セキュリティの設定：WPA-PSK

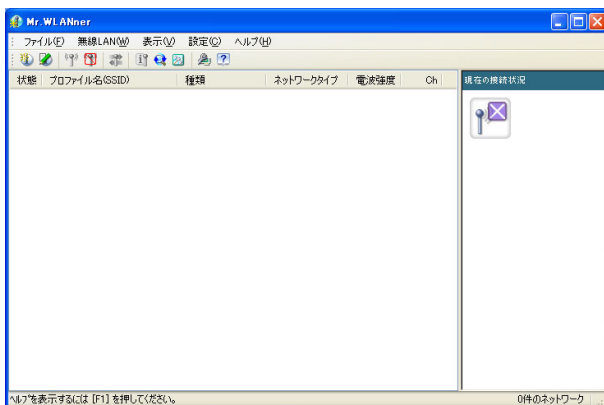
重要

- ▶ WPA-PSK をお使いになるためには、Windows XP SP2 をインストールする必要があります。インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

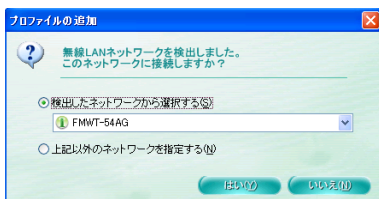


POINT

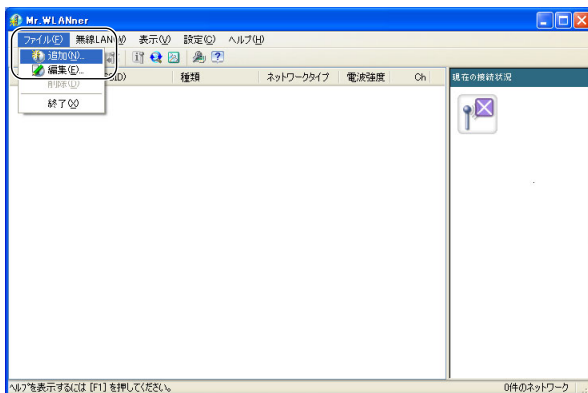
初めてプロファイルを作成する場合

次の画面が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択して、「はい」をクリックします。その後、手順 5 にお進みください。



2 「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。

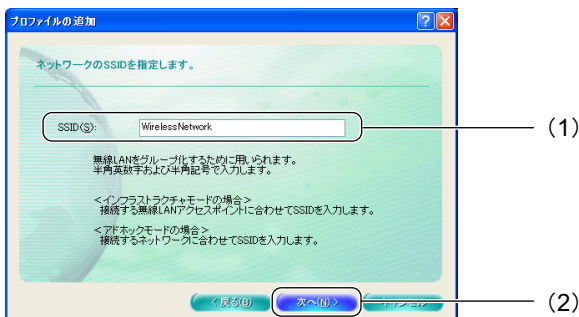


「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

3 (1)「インフラストラクチャモード」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



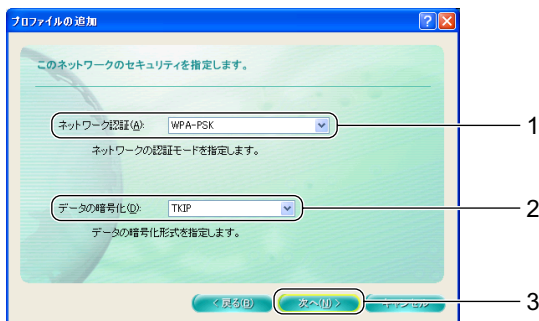
4 (1)「SSID」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。 SSID は接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて入力します。



5 セキュリティを指定します。



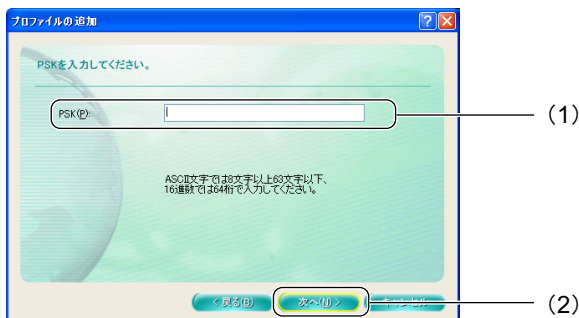
- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。



1. ネットワーク認証:「WPA-PSK」を選択します。
2. データの暗号化: 接続する無線 LAN アクセスポイントの設定に合わせて選択します。
3. 「次へ」をクリックします。

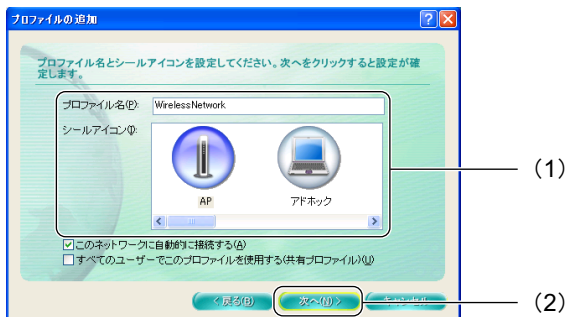
6

- (1) 接続する無線 **LAN** アクセスポイントに合わせて「**PSK**」を入力し、
- (2) 「次へ」をクリックします。



7

- (1) 「プロフィール名」と「シールアイコン」を設定し、(2) 「次へ」をクリックします。



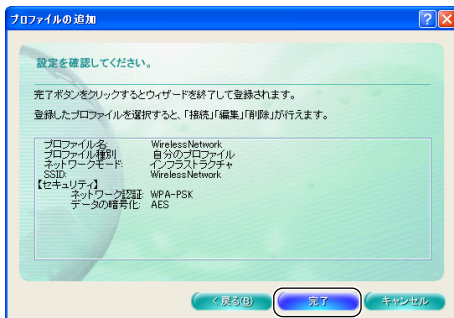
- プロファイル名: 識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン: プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

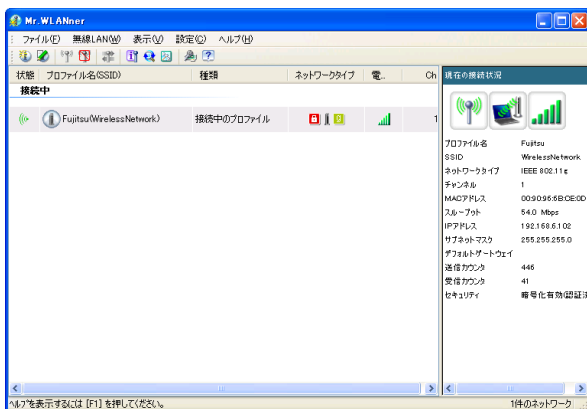
- ▶ このネットワークに自動的に接続する
クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。
- ▶ すべてのユーザーでこのプロファイルを使用する（共有プロファイル）
クリックして ☒ にすると、パソコンに登録したすべてのユーザーが、作成したプロファイルを使用できます。
☐ にすると、このプロファイルを作成したユーザーのみが、このプロファイルを使用してネットワークに接続できます。

8 設定を確認し、「完了」をクリックします。



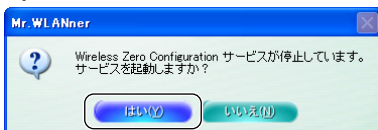
「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

9 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



POINT

- ▶ ネットワークに接続されない場合は、作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックしてください。その際、次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- ▶ プロファイルを切り替えた際、切り替えた先のネットワークに接続されない場合は、そのネットワークのプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」をクリックしてください。
- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が有効です。詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶ P. 147) をご覧ください。

10 「Mr.WLANner」を終了します。


続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」(●▶ P. 158) へお進みください。

セキュリティの設定：IEEE 802.1X

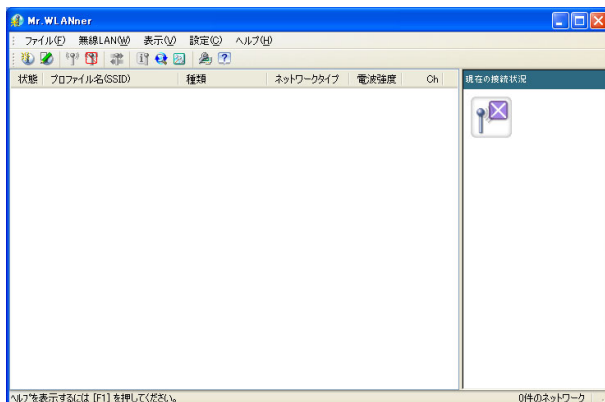
POINT

- ▶ IEEE 802.1X を使用する場合、認証サーバーや CA 局などが必要になります。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

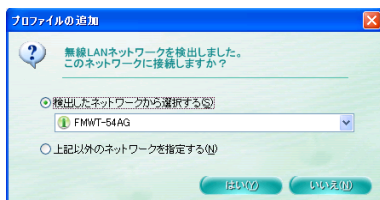


POINT

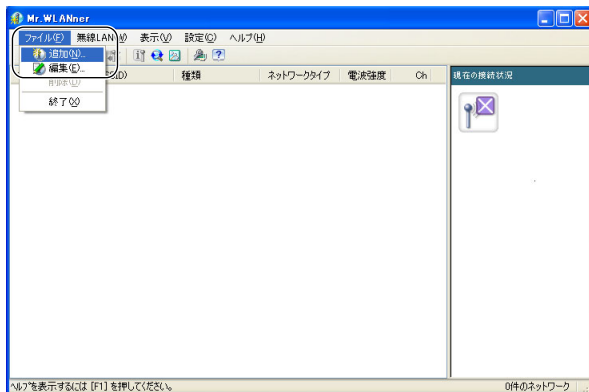
初めてプロファイルを作成する場合

次の画面が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択して、「はい」をクリックします。その後、手順5にお進みください。



2 「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。

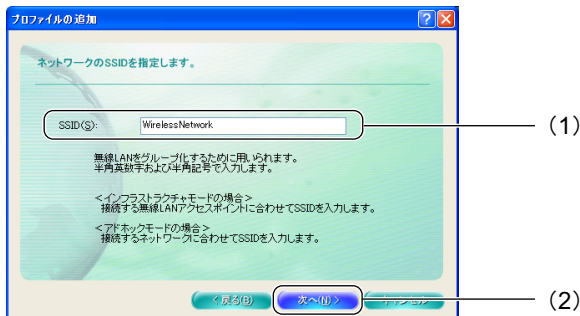


「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

3 (1)「インフラストラクチャモード」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



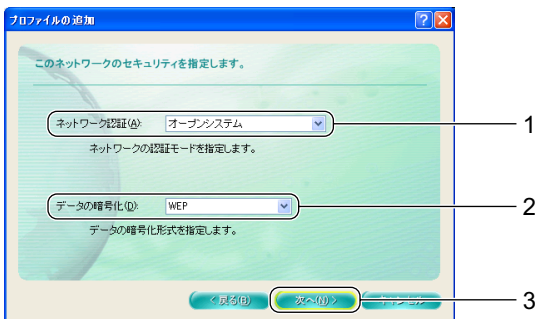
4 (1)「SSID」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。 SSID は接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて入力します。



5 セキュリティを指定します。

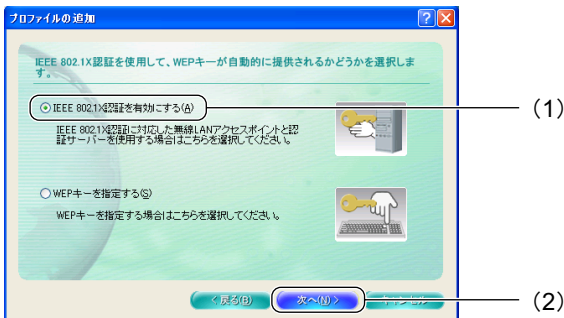


- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。



1. ネットワーク認証:「オープンシステム」を選択します。
2. データの暗号化:「WEP」を選択します。
3. 「次へ」をクリックします。

6 (1)「IEEE 802.1X 認証を有効にする」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。

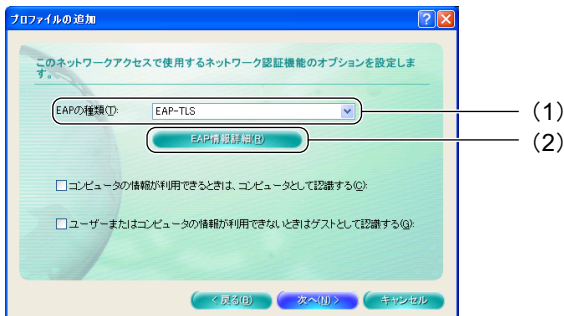


7 接続するネットワークに合わせて認証プロトコルを選択します。

使用する認証プロトコルによって、設定が異なります。

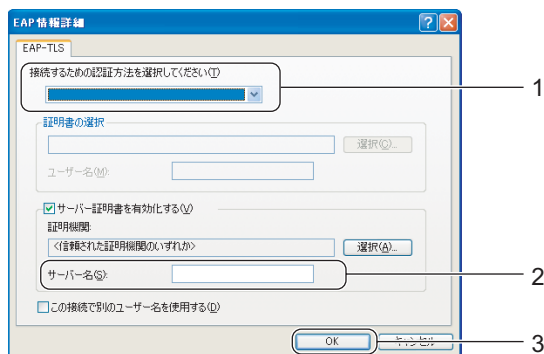
■EAP-TLS の場合

1. (1)「EAP の種類」で▼をクリックして「EAP-TLS」を選択し、(2)「EAP 情報詳細」をクリックします。



「EAP 情報詳細」ウィンドウが表示されます。

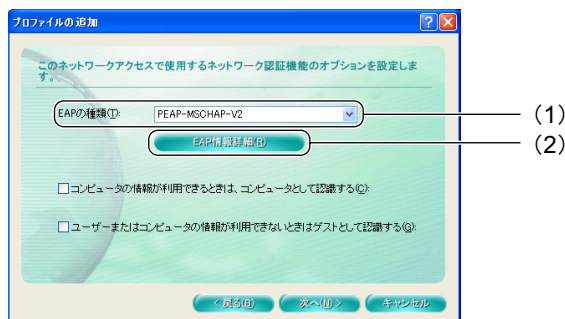
2. 詳細設定を行います。



1. ☒ をクリックして認証方法を選択します。
2. 必要に応じて、証明機関の認証サーバーの設定をします。
3. 「OK」をクリックします。

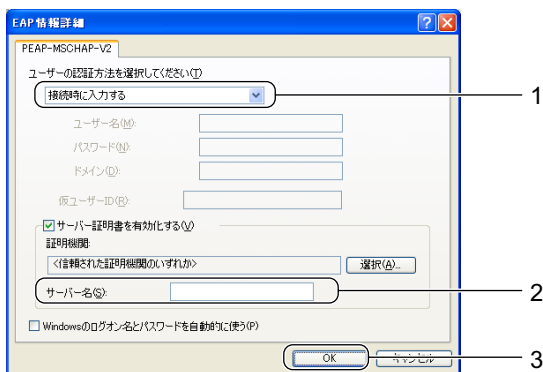
■PEAP-MSCHAP-V2 の場合

1. (1) 「EAP の種類」で ☒ をクリックして「PEAP-MSCHAP-V2」を選択し、
(2) 「EAP 情報詳細」をクリックします。



「EAP 情報詳細」ウィンドウが表示されます。

2. 詳細設定を行います。



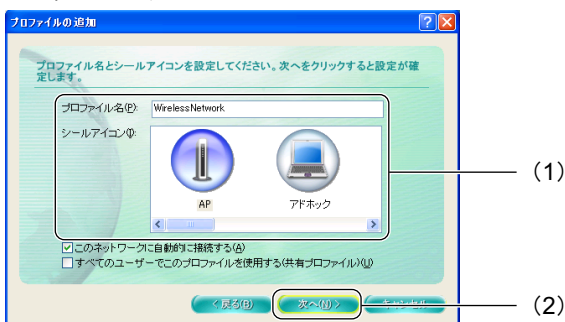
1. ☒ をクリックして認証方法を選択します。
2. 必要に応じて、「証明機関の選択」に認証サーバーの設定をします。
3. 「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ ネットワーク環境によっては、「プロファイルの追加」ウィンドウで「コンピュータの情報を利用できるときは、コンピュータとして認識する」が ☒ になっていると、認証に失敗する場合があります。その場合には、クリックして ☐ にしてください。

8 「プロファイルの追加」ウィンドウで「次へ」をクリックします。

9 (1)「プロファイル名」と「シールアイコン」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



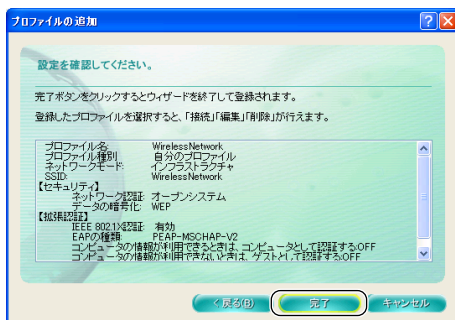
- プロファイル名：識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン：プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

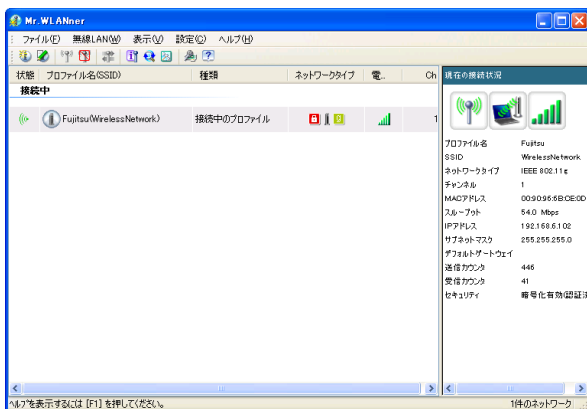
- ▶ このネットワークに自動的に接続する
クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。
- ▶ すべてのユーザーでこのプロファイルを使用する（共有プロファイル）
クリックして ☒ にすると、パソコンに登録したすべてのユーザーが、作成したプロファイルを使用できます。
☐ にすると、このプロファイルを作成したユーザーのみが、このプロファイルを使用してネットワークに接続できます。

10 設定を確認し、「完了」をクリックします。



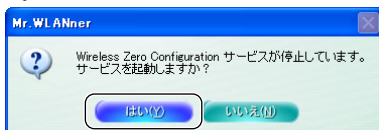
「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

11 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



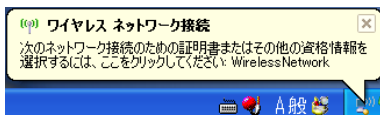
POINT

- ▶ ネットワークに接続されない場合は、作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックしてください。その際、次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- ▶ プロファイルを切り替えた際、切り替えた先のネットワークに接続されない場合は、そのネットワークのプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」をクリックしてください。
- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が有効です。詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶ P. 147) をご覧ください。

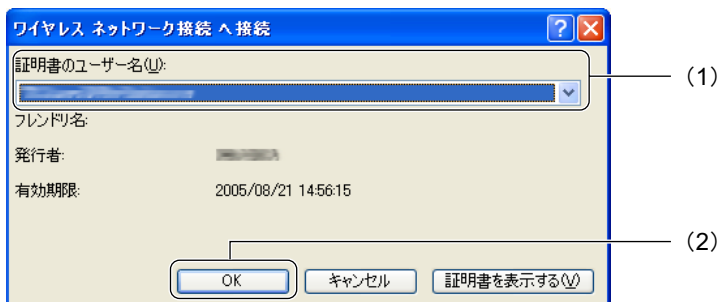
12 デスクトップ右下の通知領域に表示されるメッセージをクリックします。



13 手順 7 で選択した認証プロトコルによって、次のように操作します。

■EAP-TLS の場合

1. (1) 使用する証明書を選択し、(2) 「OK」をクリックします。



POINT

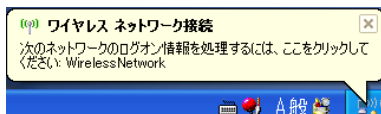
- ▶ 証明書がひとつしかインストールされていない場合には、本手順は必要ありません。手順 14 にお進みください。

■PEAP-MSCHAP-V2 の場合

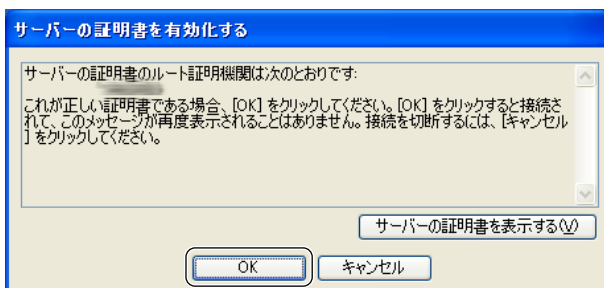
1. (1)「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、(2)「OK」をクリックします。



14 デスクトップ右下の通知領域に表示されるメッセージをクリックします。



15 「OK」をクリックします。




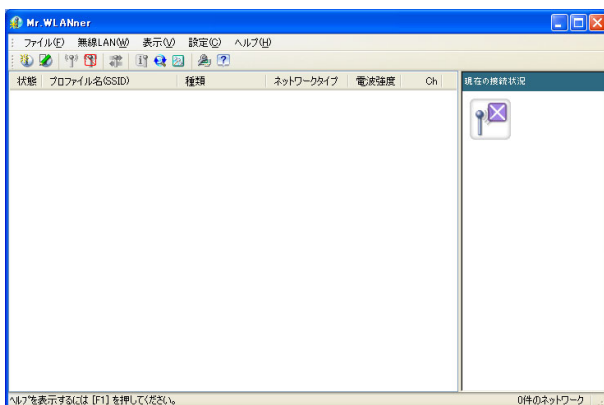
16 「Mr.WLANner」を終了します。

続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）へお進みください。

セキュリティの設定：WEP キー

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（) を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。
「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

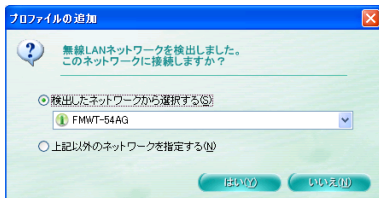


POINT

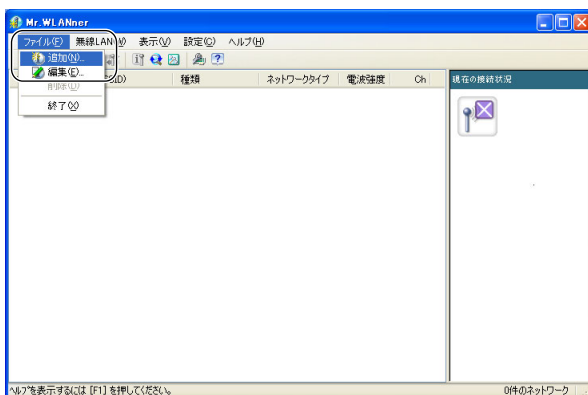
初めてプロファイルを作成する場合

次の画面が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択して、「はい」をクリックします。その後、手順 5 にお進みください。



2 「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。



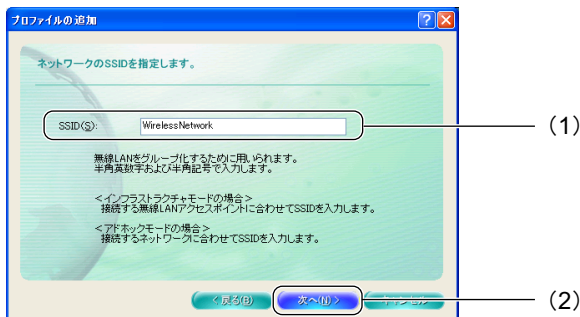
「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

3 (1) 「インフラストラクチャモード」を選択し、(2) 「次へ」をクリックします。



4 (1) 「SSID」を設定し、(2) 「次へ」をクリックします。

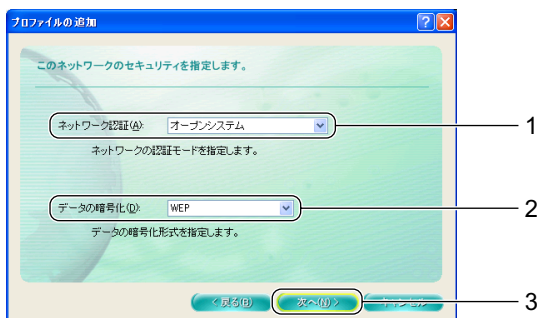
SSID は接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて入力します。



5 セキュリティを指定します。

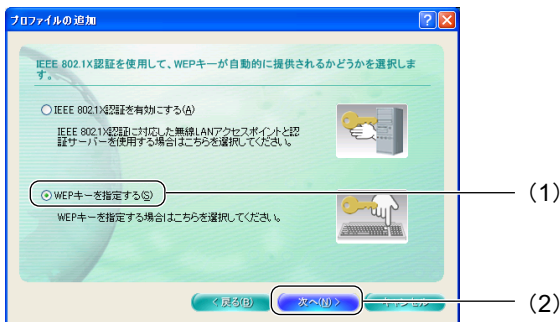


- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。

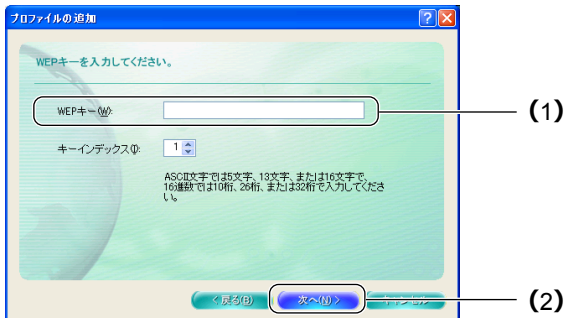


1. ネットワーク認証：接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて選択します。
2. データの暗号化：「WEP」を選択します。
3. 「次へ」をクリックします。

6 (1)「WEP キーを指定する」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



7 (1) WEP キーを設定し、(2)「次へ」をクリックします。



「ASCII 文字」と「16 進数のキャラクターコード」の 2 種類のキー形式で入力できます。接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて設定します。

POINT

- ▶ キーの形式は、入力された WEP キーの文字数により自動的に判別されます。
- ▶ 「WEP キー」にお使いになれる文字は、次のとおりです。
 - ・ キーの形式が ASCII 文字の場合
0 ～9、A～Z、a～z、_（アンダーバー）
 - ・ キーの形式が 16 進数のキャラクターコードの場合
0 ～9、A～F、a～f
- ▶ 「WEP キー」にお使いになれる文字数は、WEP キーの形式や、接続するワイヤレス LAN 機器の仕様により異なります。

WEP キーの形式	キーの長さ		
	40bit	104bit	128bit
16 進数	10 桁	26 桁	32 桁
ASCII 文字	5 文字	13 文字	16 文字

8 (1)「プロファイル名」と「シールアイコン」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



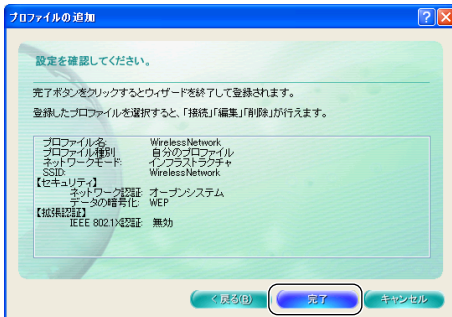
- プロファイル名：識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン：プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

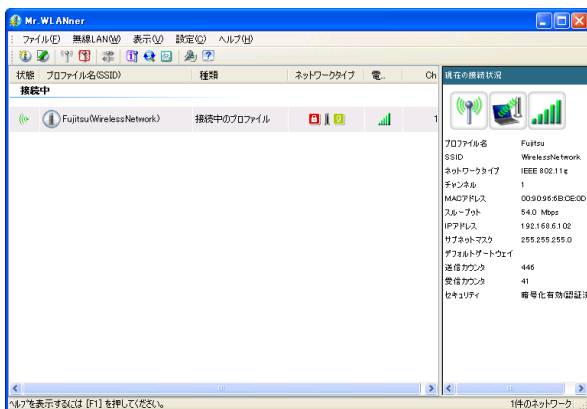
- ▶ このネットワークに自動的に接続する
 クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。
- ▶ すべてのユーザーでこのプロファイルを使用する（共有プロファイル）
 クリックして ☒ にすると、パソコンに登録したすべてのユーザーが、作成したプロファイルを使用できます。
☐ にすると、このプロファイルを作成したユーザーのみが、このプロファイルを使用してネットワークに接続できます。

9 設定を確認し、「完了」をクリックします。



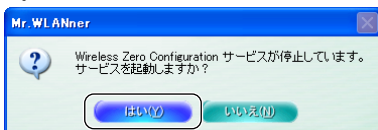
「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

10 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



POINT

- ▶ ネットワークに接続されない場合は、作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックしてください。その際、次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。




- ▶ プロファイルを切り替えた際、切り替えた先のネットワークに接続されない場合は、そのネットワークのプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」をクリックしてください。
- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が有効です。詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶ P. 147) をご覧ください。

11 「Mr.WLANner」を終了します。

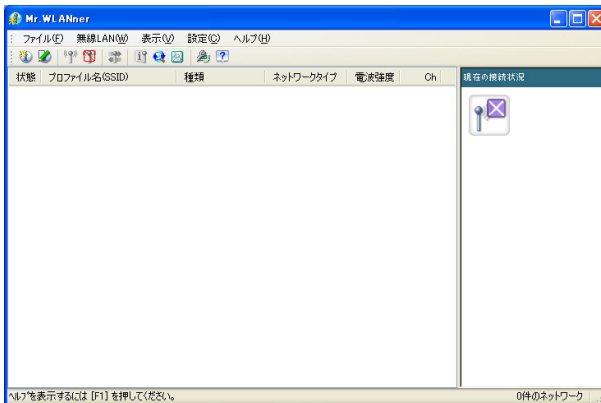
続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」(●▶ P. 158) へお進みください。

セキュリティの設定：暗号化なし

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン() を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

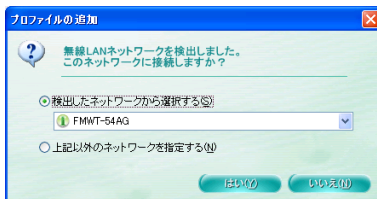


POINT

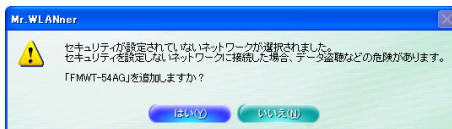
初めてプロファイルを作成する場合

次の画面が表示されます。

接続する無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択して、「はい」をクリックします。

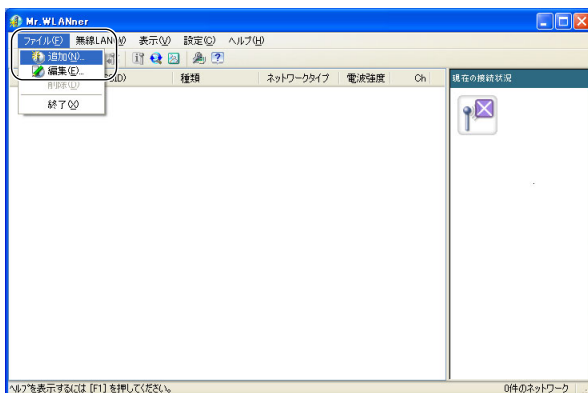


セキュリティが設定されていない無線 LAN アクセスポイントに設定された SSID を選択すると、次の警告メッセージが表示されます。メッセージを確認して、「はい」をクリックします。



手順 10 にお進みください。

2 「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。

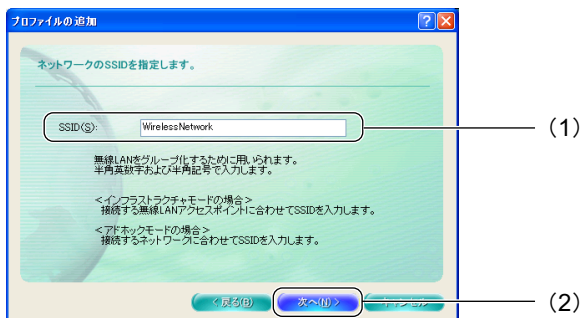


「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

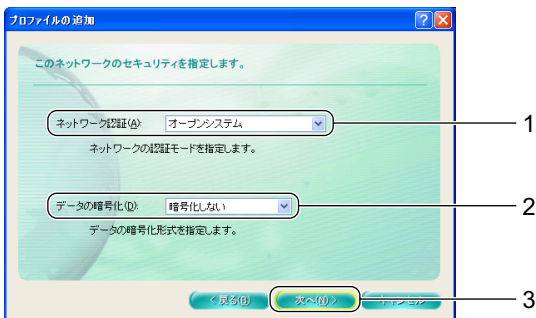
- 3** (1)「インフラストラクチャモード」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



- 4** (1)「SSID」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。
SSID は接続する無線 LAN アクセスポイントに合わせて入力します。



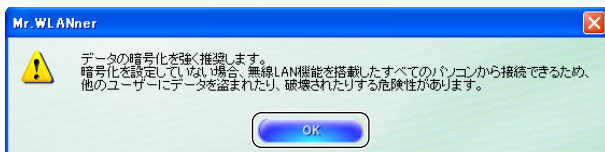
- 5** セキュリティを指定します。



1. ネットワーク認証:「オープンシステム」を選択します。
2. データの暗号化:「暗号化しない」を選択します。

重要

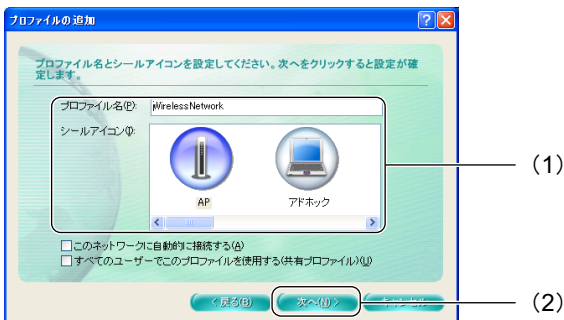
- ▶ データの暗号化で「暗号化しない」を選択すると、次の警告メッセージが表示されます。
メッセージを確認して、「OK」をクリックしてください。



暗号化をしていない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載したすべてのパソコンから接続できるため、他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。

3. 「次へ」をクリックします。

6 (1)「プロファイル名」と「シールアイコン」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



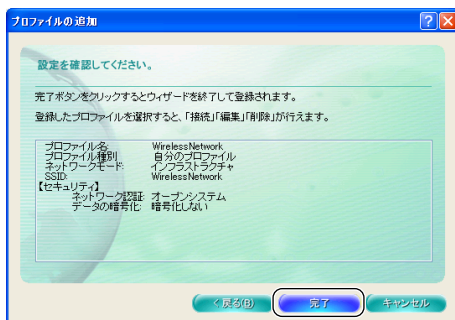
- プロファイル名: 識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン: プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

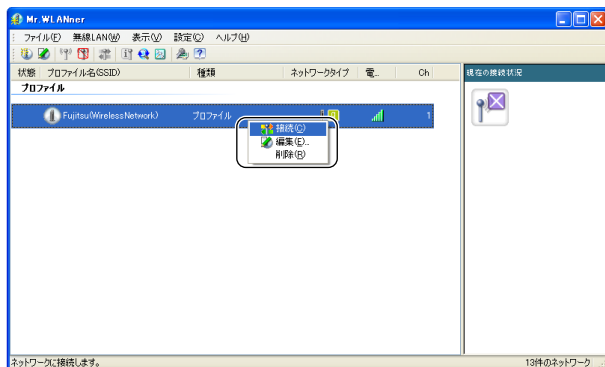
- ▶ このネットワークに自動的に接続する
クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。
- ▶ すべてのユーザーでこのプロファイルを使用する（共有プロファイル）
クリックして ☒ にすると、パソコンに登録したすべてのユーザーが、作成したプロファイルを使用できます。
☐ にすると、このプロファイルを作成したユーザーのみが、このプロファイルを使用してネットワークに接続できます。

7 設定を確認し、「完了」をクリックします。



「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

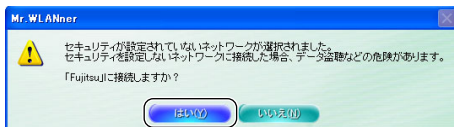
8 作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックします。



POINT

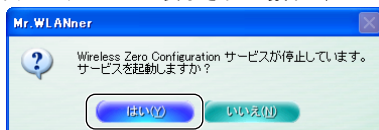
- ▶ プロファイルを切り替えた際、切り替えた先のネットワークに接続されない場合は、そのネットワークのプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」をクリックしてください。

9 確認メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



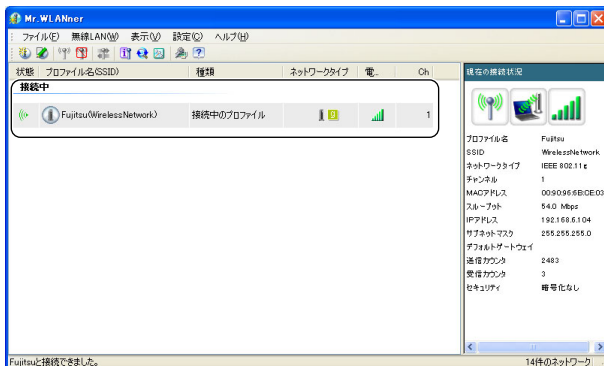
POINT

- ▶ 次のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。



- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が無効です。
詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶P. 147) をご覧ください。

10 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」(●▶P. 158) へお進みください。

3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）

アドホック通信の場合のワイヤレス LAN 設定について説明します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定についてネットワーク管理者に確認してください。


重要

- ▶ 本製品を屋外でお使いになる場合、5GHz 帯の電波を停止する必要があります。停止方法については、「5GHz 帯の電波の停止」（●▶ P. 143）をご覧ください。

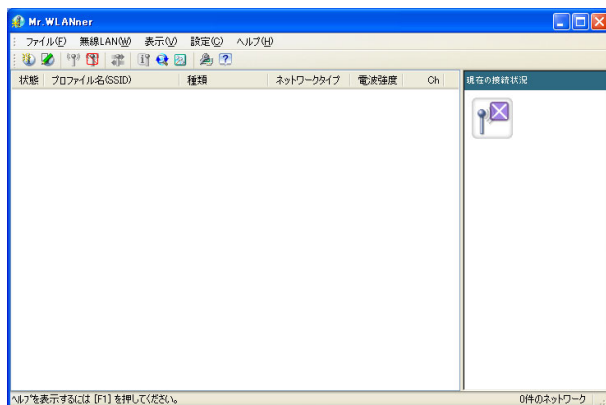
POINT

- ▶ 使用する周波数帯（2.4GHz または 5GHz）を指定する場合は、「オプション」ウィンドウの「ネットワークタイプ」項目で設定します。ただし、チャンネルを指定することはできません。
「オプション」ウィンドウについては、「オプション設定」（●▶ P. 151）をご覧ください。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

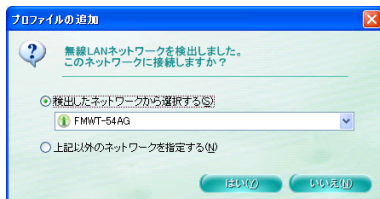


POINT

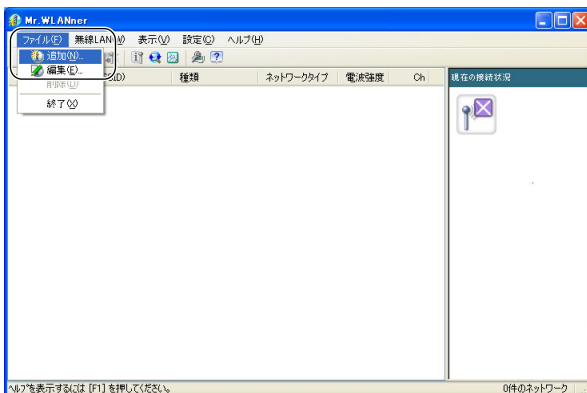
初めてプロファイルを作成する場合

次の画面が表示されます。

接続するネットワークの SSID を選択して、「はい」をクリックします。その後、手順 5 にお進みください。



2 「ファイル」メニュー→「追加」の順にクリックします。

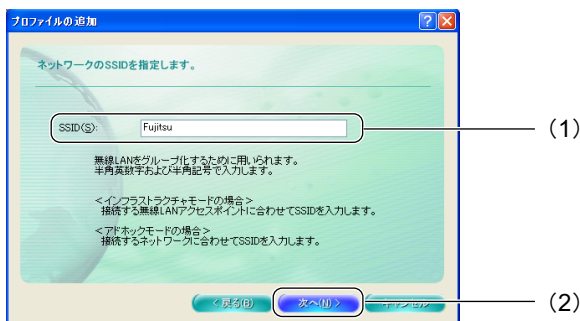


「プロファイルの追加」ウィンドウが表示されます。

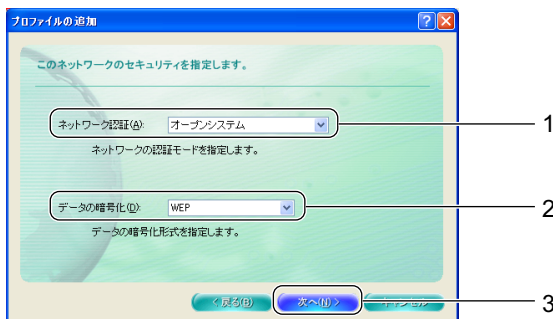
3 (1)「プロファイルの追加」ウィンドウで「アドホックモード」を選択し、(2)「次へ」をクリックします。



4 (1)「SSID」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



5 セキュリティを指定します。



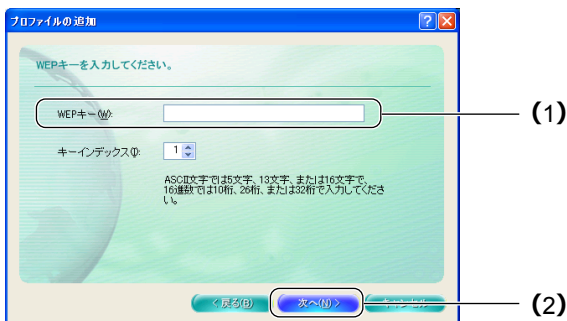
1. ネットワーク認証：「オープンシステム」を選択します。
2. データの暗号化：「WEP」を選択します。

重要

- ▶ セキュリティの設定は必ず行ってください。セキュリティを設定していない場合、ワイヤレス LAN カードを搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする可能性があります。

3. 「次へ」をクリックします。

6 (1) WEP キーを設定し、(2)「次へ」をクリックします。



「ASCII 文字」と「16 進数のキャラクターコード」の 2 種類のキー形式で入力できます。接続するアドホックワイヤレス LAN ネットワークに合わせて設定します。

POINT

- ▶ ネットワーク内に、WEP キーを 16 進数のキャラクターコードで設定しているワイヤレス LAN 機器がすでにあるときは、16 進数のキャラクターコードを入力してください。
- ▶ キーの形式は、入力された WEP キーの文字数により自動的に判別されます。
- ▶ 「WEP キー」にお使いになれる文字は、次のとおりです。
 - ・ キーの形式が ASCII 文字の場合
0 ~ 9、A ~ Z、a ~ z、_ (アンダーバー)
 - ・ キーの形式が 16 進数のキャラクターコードの場合
0 ~ 9、A ~ F、a ~ f
- ▶ 「WEP キー」にお使いになれる文字数は、WEP キーの形式や、接続するワイヤレス LAN 機器の仕様により異なります。

WEP キーの形式	キーの長さ		
	40bit	104bit	128bit
16 進数	10 桁	26 桁	32 桁
ASCII 文字	5 文字	13 文字	16 文字

7 (1)「プロファイル名」と「シールアイコン」を設定し、(2)「次へ」をクリックします。



- プロファイル名：識別しやすい名前を入力します。
- シールアイコン：プロファイルに合わせてシールアイコンが選択できます。

POINT

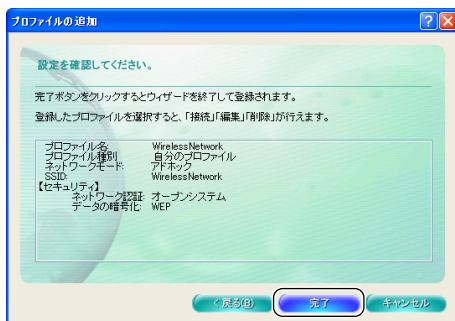
お使いになる環境に応じてオプションを選択できます

- ▶ このネットワークに自動的に接続する

クリックして ☒ にするとプロファイルの自動適用が有効となり、作成したプロファイルのネットワークに自動で接続されます。

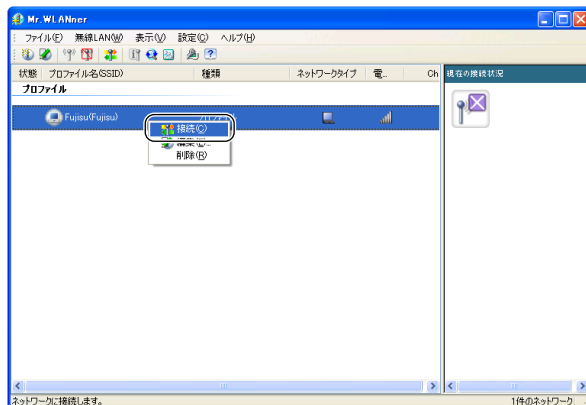
☐ にするとプロファイルの自動適用が無効となり、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に自動で接続されません。このプロファイルを使用して接続する場合は、手動で接続してください。また、電波の状態が悪く接続が切れた際も再接続しない場合があります。この場合も、手動で接続してください。

8 設定を確認し、「完了」をクリックします。



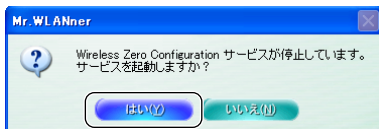
「プロファイルの追加」が終了し、作成したプロファイルがメインウィンドウに追加されます。

9 作成したプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックします。



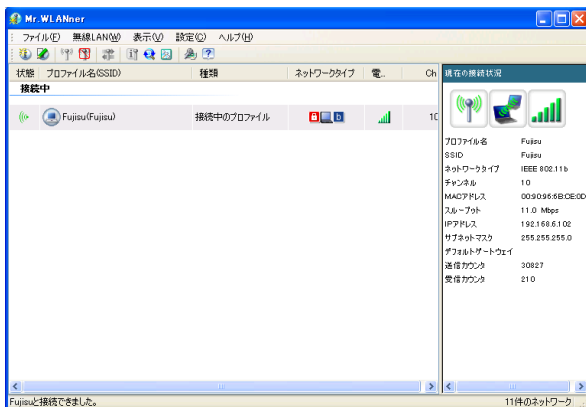
POINT

- ▶ 次のメッセージが表示された場合には、「はい」をクリックしてください。



- ▶ プロファイルの初期設定は、「このネットワークに自動的に接続する」が無効です。
詳細は、「プロファイルの自動適用」(●▶P. 147) をご覧ください。

10 作成したプロファイルでネットワークに接続されたことを確認します。



11 「Mr.WLANner」を終了します。

続いてネットワークの設定をします。「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」(●▶P. 158) へお進みください。

4 ユーティリティの使用法


ドライバユーティリティの使用法について説明します。

接続状況（電波状態）の確認

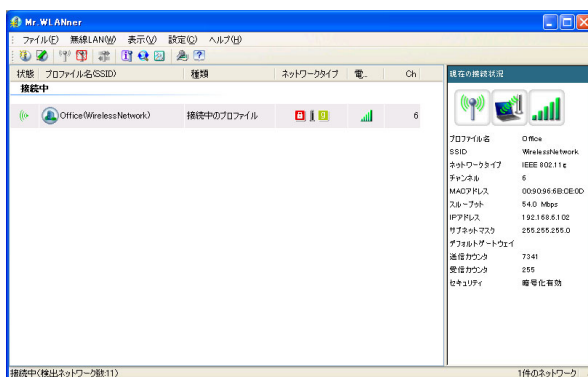
「Mr.WLANner」ウィンドウの「現在の接続状況」には、ワイヤレス LAN の状態や、ネットワークに接続している場合の詳細情報が表示されます。

電波状態もここで確認できます。

1

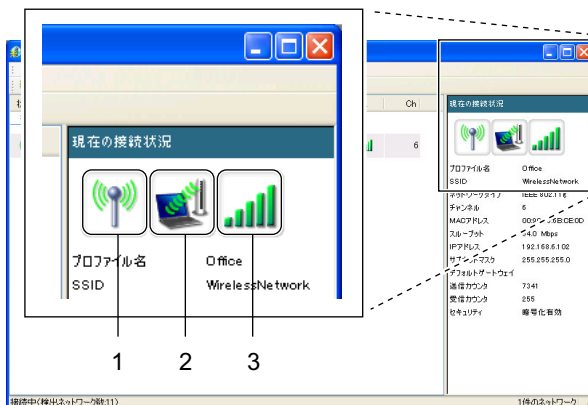
デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。



2

「現在の接続状況」内の各アイコンで、ワイヤレス LAN の状態（図中 1）、ネットワークモード（図中 2）、電波強度（図中 3）を確認します。



アイコン分類	アイコン	アイコンの意味
1.ワイヤレス LAN の状態		ワイヤレスネットワークに接続しています。この場合、接続しているネットワークのネットワークモードと電波強度が右側 2 つのアイコンで表示されます。
		ワイヤレスネットワークに接続していますが、通信できない可能性があります。ワイヤレス LAN の設定およびネットワークの設定を確認してください。
		どのワイヤレスネットワークにも接続していない状態です。
		電波停止している状態です。
		本製品が取り外されているか、無効にされています。
2.ネットワークモード		インフラストラクチャワイヤレスネットワークに接続しています。
		アドホックワイヤレスネットワークに接続しています。
3.電波強度		電波強度が表示されます。 電波強度は、レベル 1～レベル 5 の 5 段階で表示され、レベル 5 が最良の状態です。



電波の停止と再開


POINT

- ▶ 「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されていると操作できません。❌ をクリックしてウィンドウを閉じてから行ってください。

■ 電波の停止


病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめワイヤレス LAN の電波を停止してください。



- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（または）を右クリックして、表示されるメニューから「電波停止」をクリックします。

電波が停止し、ユーティリティアイコンがに変わります。

■電波の再開



ワイヤレス LAN 機能を使って通信を行う場合は、ワイヤレス LAN の電波が発信できる状態にしてください。

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「電波発信」をクリックします。

電波の発信が開始され、ユーティリティアイコンがまたはに変わります。

■5GHz 帯の電波の停止



本製品を屋外でお使いになる場合、5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（または）を右クリックし、表示されるメニューから「5GHz 帯の停止」をクリックします。

重要

- ▶ 本操作を行うと、使用しているネットワークが 2.4GHz 帯であっても、通信がいったん切断されます。

■5GHz 帯の電波の再開

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（または）を右クリックし、表示されるメニューから「5GHz 帯の発信」をクリックします。

重要




- ▶ 本操作を行うと、使用しているネットワークが 2.4GHz 帯であっても、通信がいったん切断されます。

プロフィール

■プロフィールとは

Mr.WLANner では、ワイヤレスネットワークの設定を「プロフィール」と呼ばれる単位で管理します。

- 接続するワイヤレスネットワークごとの設定を、プロフィールとして作成します。自宅や会社など、さまざまなワイヤレスネットワーク環境で利用したい場合には、あらかじめそれらの設定をプロフィールにしておきます。あとは、行った先々で必要なプロフィールに切り替えて、ワイヤレスネットワークに接続します。また、手動で切り替えるのではなく、接続可能なプロフィールを自動的に適用する機能も利用できます。
- プロフィールには、「共有プロフィール」と「自分のプロフィール」があります。

 共有プロフィール	すべてのユーザーが使用できるプロフィールです。 「すべてのユーザーでこのプロフィールを使用する」をクリックして  にすると、共有プロフィールになります。 共有プロフィールの追加、編集および削除は、管理者権限を持つユーザーのみ可能です。
 自分のプロフィール	プロフィールを作成したユーザーだけが使用できるプロフィールです。 すべてのユーザーが作成できますが、編集および削除が可能なのは、そのプロフィールを作成したユーザーだけです。 他のユーザーのプロフィールは表示されません。

- プロフィールは、共有プロフィールと自分のプロフィールをそれぞれ最大 20 個まで作成できます。それぞれのプロフィールには、識別しやすいようにお好みのシールアイコンを設定できます。


■プロフィールの編集

ワイヤレスネットワークの設定が変更された場合など、作成済みのプロフィールの設定を変更します。

POINT

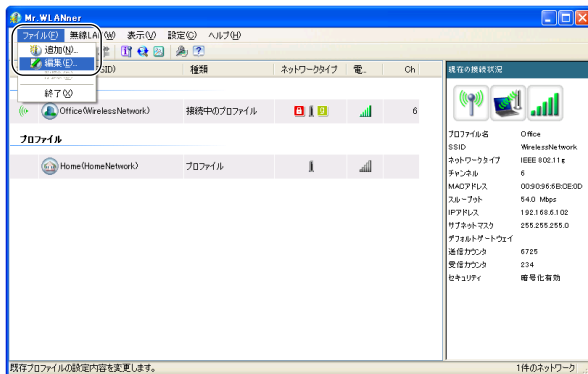
- ▶ ワイヤレス LAN の設定は、接続するワイヤレスネットワークの設定に従って、正しく設定する必要があります。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

2 「ファイル」メニュー→「編集」の順にクリックします。

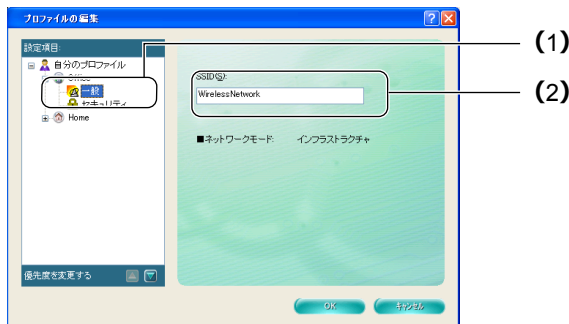


「プロファイルの編集」ウィンドウが表示されます。

3 画面左側の「設定項目」から確認、変更を行う項目を選択して、画面右側で設定を確認、変更します。

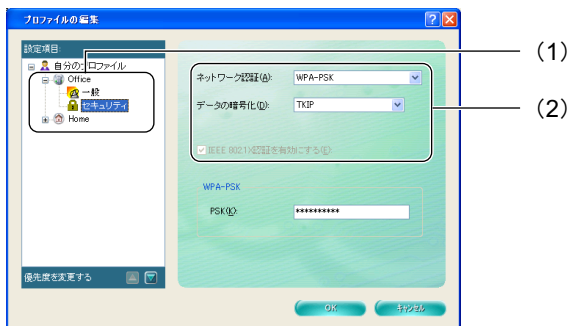
- 例1) SSID を変更する場合

(1) 画面左側の「設定項目」から「一般」をクリックして、(2) 画面右側で SSID を変更します。



- 例2) セキュリティ設定を変更する場合

(1) 画面左側の「設定項目」から「セキュリティ」をクリックして、(2) 画面右側で変更します。

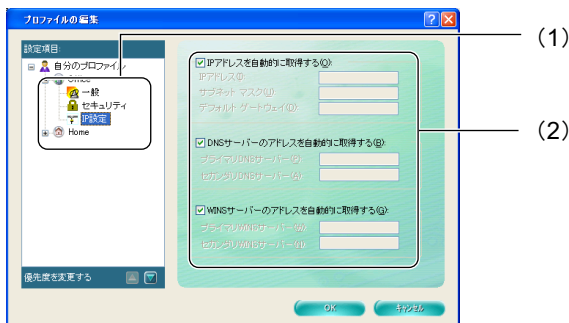


- 例 3) プロファイルごとに IP 設定を行う場合
プロファイルを複数設定していて、接続するネットワーク（プロファイル）ごとに IP アドレスなどの設定を変更したい場合に、本設定を行います。


重要


- ▶ 本設定を行うためには、「オプション」ウィンドウの「接続」で、「Mr.WLANnerで TCP/IP の設定をする」をクリックして ☒ に設定する必要があります。
「オプション」ウィンドウについては、「オプション設定」(▶ P. 151)をご覧ください。

(1) 画面左側の「設定項目」から「IP 設定」をクリックして、(2) 画面右側で IP アドレスに関する設定を編集します。





- ・「IP アドレスを自動的に取得する」
DHCP クライアント機能で IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックして ☒ にします。
固定 IP アドレスを設定する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックして ☐ にし、IP アドレスなどを入力します。
- ・「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」

DNS サーバーを特に指定する必要がある場合、および DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得する場合は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックして  にします。

個別に IP アドレスを設定して使用する場合は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックして  にし、設定する DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

- ・「WINS サーバーのアドレスを自動的に取得する」

WINS サーバーを特に指定する必要がある場合、および WINS サーバーの IP アドレスを自動的に取得する場合は、「WINS サーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックして  にします。

個別に IP アドレスを設定して使用する場合は、「WINS サーバーのアドレスを自動的に取得する」をクリックして  にし、設定する WINS サーバーの IP アドレスを入力します。


4 設定の確認、変更が終了したら「OK」をクリックします。

「プロファイルの編集」ウィンドウが終了します。

5 「Mr.WLANner」ウィンドウで、接続したいプロファイルをクリックし、表示されるメニューから「接続」または「再接続」をクリックします。

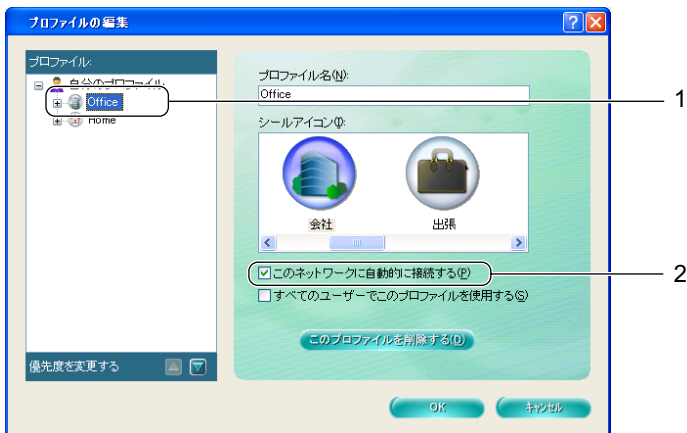
■プロファイルの自動適用

Mr.WLANner には、あらかじめ決定しておいた優先度順にプロファイルを適用しながら接続可能なワイヤレスネットワークを探し、自動接続する機能があります。

- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。
「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

- 2 「ファイル」メニュー→「編集」の順にクリックします。
「プロファイルの編集」ウィンドウが表示されます。

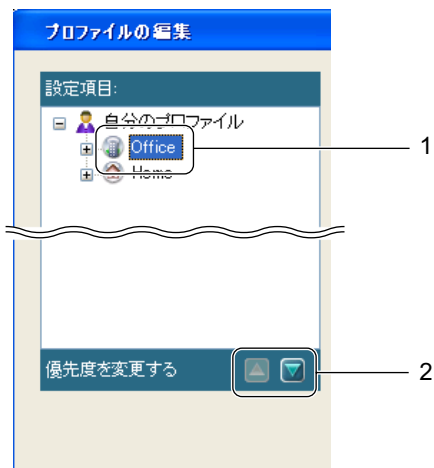
- 3 自動適用の対象にしたいプロファイルの設定を行います。



1. 「設定項目」の一覧から自動切り替えを行うプロファイルを選択します。
2. 「このネットワークに自動的に接続する」をクリックして ☒ にします。
☐ にすると、自動適用の対象にはなりません。

4 必要に応じてプロファイルの優先度を変更します。

「このネットワークに自動的に接続する」を ☒ にして自動適用の対象にしたプロファイルのうち、上に表示されるプロファイルほど、優先度が高くなります。



1. 「設定項目」の一覧から優先順位を変更するプロファイルを選択します。
2. ボタンをクリックして、上または下に移動します。

重要

- ▶ 自動適用機能を使用している場合、接続できるネットワークが複数存在する環境では、コンピュータの起動時またはスタンバイ・休止状態からの復帰時に、それまで接続していたプロファイルではなく、優先順位の高いプロファイルに接続する場合があります。
お使いになる環境に合わせて、優先順位を適切に設定してください。
- ▶ インフラストラクチャ通信のプロファイルは、アドホック通信のプロファイルよりも優先度が高くなります。

5 「OK」をクリックします。


■プロファイルのインポートとエクスポート

Mr.WLANner は、作成したプロファイルをファイルに出力（エクスポート）し、他のパソコン側で入力（インポート）することで、設定を他のパソコンにコピーできます。

重要

- ▶ 「インポート」および「エクスポート」できるのは、Mr.WLANner で設定した情報のみです。認証のための証明書は「インポート」および「エクスポート」できません。
- ▶ プロファイルの「インポート」および「エクスポート」は、同じバージョンの Mr.WLANner を使用して行ってください。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

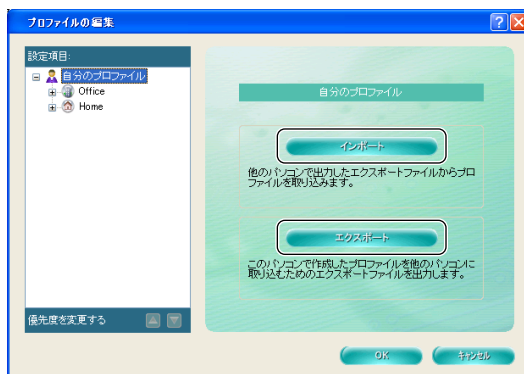
2

「ファイル」メニュー→「編集」の順にクリックします。

「プロファイルの編集」ウィンドウが表示されます。

3

プロファイルのインポートまたはエクスポートを行います。



- インポート

「エクスポート」によりファイルに出力したプロファイルを取り込みます。「インポート」をクリックし、Mr.WLANner エクスポートファイルを指定します。

- エクスポート

作成したプロファイルをファイルに出力します。「エクスポート」をクリックし、エクスポートするファイル（Mr.WLANner エクスポートファイル）を指定します。


POINT

- ▶ Mr.WLANner エクスポートファイルの拡張子は、「.wpm」です。
- ▶ エクスポートの際、ファイルにパスワードを設定できます。必要に応じて設定してください。
- ▶ インポートの際、ファイルにパスワードが設定されている場合には、確認画面が表示されます。
- ▶ インポートした際、制御モードによっては正しくインポートできず、「無効なプロファイル」となる場合があります。その場合は、プロファイルの編集で設定を変更してください。

簡易表示

本製品では表示形式を切り替えてお使いいただくことができます。

1

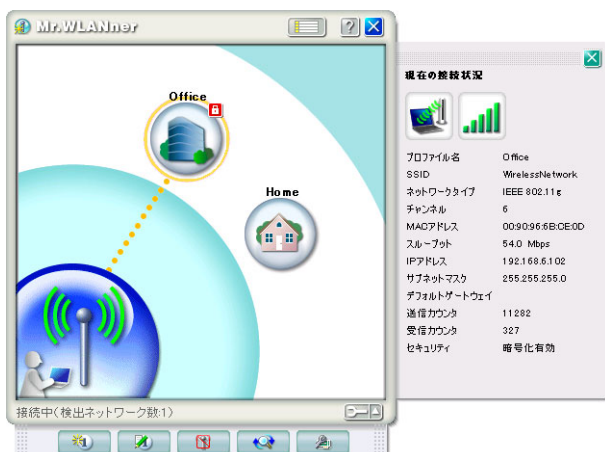
デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。


2

「表示」をクリックし、表示されるメニューから「簡易表示」をクリックします。

表示形式が「簡易表示」に切り替わります。



POINT

- ▶ 「簡易表示」から、標準の「一覧表示」に切り替えるには、「Mr.WLANner」ウィンドウの右上にある「一覧表示」ボタン（）をクリックします。


オプション設定

「オプション」ウィンドウでは、Mr.WLANner やドライバファイルのバージョン情報を確認できます。

また、Mr.WLANner のより高度な機能を設定することができます。ここで設定する機能は、ワイヤレス LAN に詳しいお客様向けです。通常は、これらの設定を変更する必要はありません。

「オプション」ウィンドウの起動方法と、各機能について説明します。

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（）を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。

「Mr.WLANner」ウィンドウが表示されます。

2

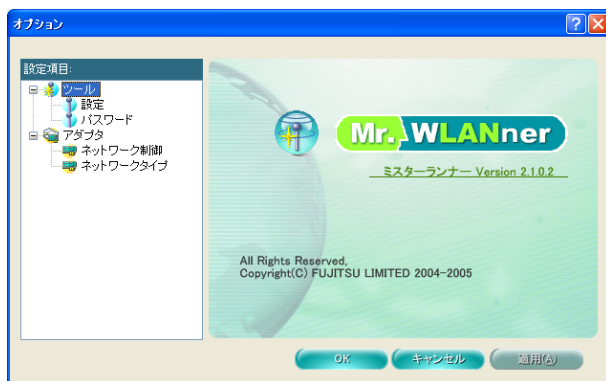
「設定」メニュー→「オプション」の順にクリックします。

「オプション」ウィンドウが表示されます。

画面左側の「設定項目」の一覧から項目を選択して、画面右側で情報の確認や各種の設定を行います。

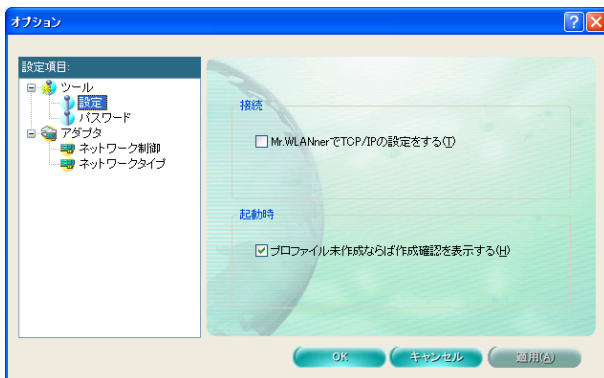
■ ツール

Mr.WLANner のバージョン情報を確認できます。



- 設定

Mr.WLANner の基本的な動作についての設定を行います。



- ・ 接続

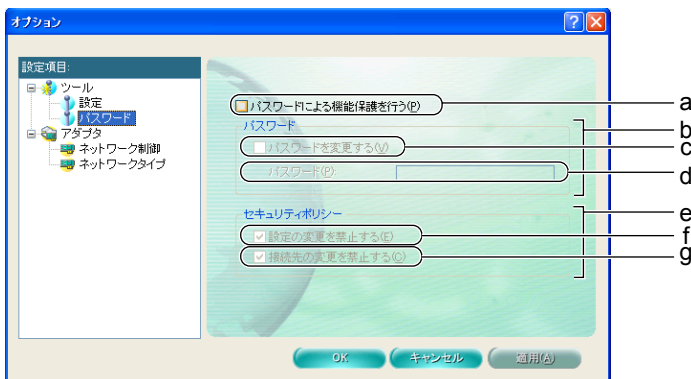
プロファイルを複数設定していて、接続するネットワーク（プロファイル）ごとに IP アドレスなどの設定を切り替えたい場合は、「Mr.WLANner で TCP/IP の設定をする」をクリックして ☒ にし、プロファイルごとに IP アドレスの設定を行います。初期状態は ☐ です。
プロファイルごとの IP アドレスの設定は、「プロファイルの編集」ウィンドウで行います。設定方法については、「プロファイル」（●▶ P. 144）をご覧ください。

- ・ 起動時

Mr.WLANner の起動時にプロファイルが 1 つも作成されていない場合、プロファイル作成確認メッセージを表示するかどうかを設定します。「プロファイル未作成ならば作成確認を表示する」をクリックして ☒ にすると、確認メッセージを表示します。 ☐ にすると、確認メッセージを表示しません。初期状態は、 ☒ です。

- ・ パスワード

Mr.WLANner のパスワードに関する設定を行います。

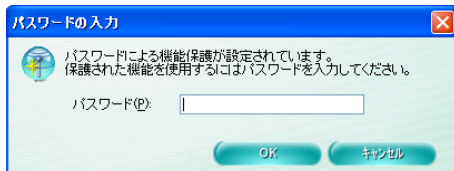


Mr.WLANner にパスワードを設定することができます。正しいパスワードを入力しない場合に、使用できる機能を制限することができます。

POINT

「パスワードの入力」ウィンドウ

パスワードを設定すると、Mr.WLANner 起動時に次の画面が表示されます。この画面で正しいパスワードを入力しなかったり、「キャンセル」をクリックしたりした場合に、使用できる機能が制限されます。



重要

- ▶ 「パスワードの入力」画面で「キャンセル」をクリックした場合、設定するセキュリティポリシーによって、使用できる Mr.WLANner の機能が制限されます。あわせて、「オプション」ウィンドウの表示も変更されます。
- ▶ パスワードを忘れた場合は、ドライバを再インストールする必要があります。忘れないようにご注意ください。

a パスワードによる機能保護を行う

初期状態は ☐ です。パスワードを設定する場合は、クリックして ☒ にします。

パスワードは「パスワード」カテゴリの「パスワード」で設定します。

正しいパスワードを入力しない場合に制限される機能については、「セキュリティポリシー」カテゴリで設定します。

b 「パスワード」カテゴリ

Mr.WLANner のパスワードを設定するカテゴリです。

c パスワードを変更する

設定済みのパスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」をクリックして ☐ にし、「パスワード」に変更後のパスワードを入力します。

d パスワード

設定するパスワードを入力します。

e 「セキュリティポリシー」カテゴリ

Mr.WLANner 起動時に表示される「パスワードの入力」ウィンドウで正しいパスワードが入力されない場合に、制限する機能を設定するカテゴリです。

f 設定の変更を禁止する

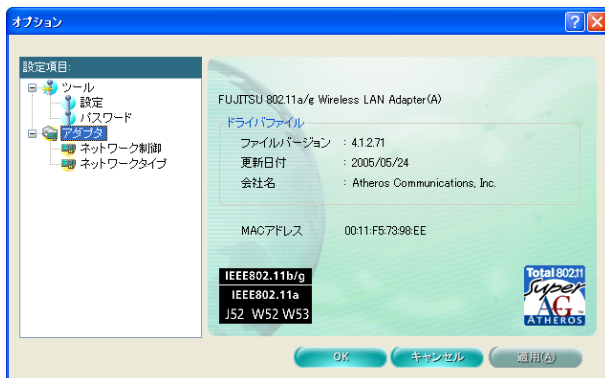
クリックして ☒ にすると、プロファイルの「追加」「編集」「削除」ができませんようにします。

9 接続先の変更を禁止する

クリックして ☒ にすると、プロファイルを使用した「接続」を禁止します（ただし、接続中のプロファイルを使用して、「再接続」は行えます）。また、プロファイルの自動適用も行われません。

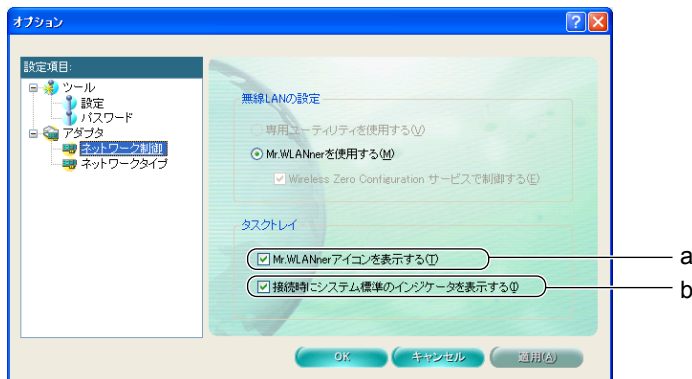
■ アダプタ

ドライバファイルのバージョン情報が確認できます。



- ネットワーク制御

通知領域への表示に関する設定を行います。



a Mr.WLANner アイコンを表示する

デスクトップ右下の通知領域に、Mr.WLANner のアイコンを表示するかどうかを設定します。初期状態は ☒ です。

b 接続時にシステム標準のインジケータを表示する

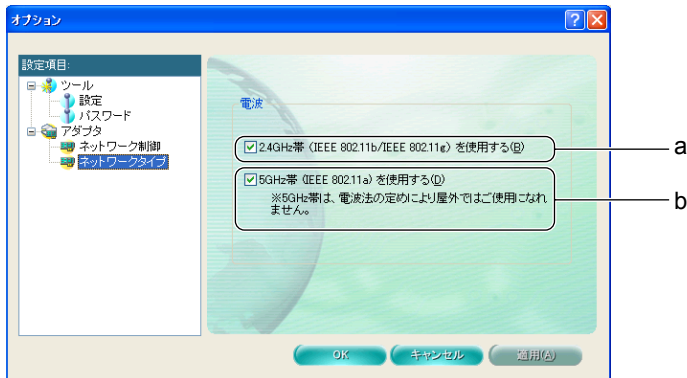
Windows XP が標準で提供しているワイヤレス LAN のインジケータを表示するかどうかを設定します。初期状態は ☒ です。

POINT

設定を変更した場合

本設定を変更した場合には、Windows を再起動してください。正しく設定が反映されない場合があります。

- ネットワークタイプ
使用する周波数帯の設定を行います。



a 2.4GHz 帯 (IEEE 802.11b/IEEE 802.11g) を使用する
初期状態は ☒ です。

b 5GHz 帯 (IEEE 802.11a) を使用する
初期状態は ☒ です。本製品を屋外で使用する場合は、クリックして ☐ にします。

Memo _____

第 4 章

ネットワークの設定

ネットワークに接続するための設定方法を説明します。

1	ネットワークの設定 (Windows XP の場合)	158
2	ネットワークの設定 (Windows 2000 の場合)	169

1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)

ネットワークに接続する方法について説明します。

ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク接続の設定

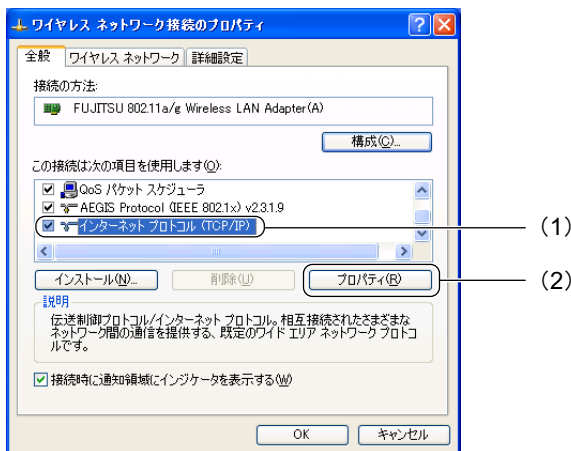
- ・ 「IP アドレスの設定」 (●▶ P. 158)
- ・ 「フル コンピュータ名/ワークグループの確認」 (●▶ P. 160)

■ IP アドレスの設定

POINT

- ▶ Mr.WLANner の IP 設定を行っている場合は、IP アドレスの設定は不要です。「フル コンピュータ名/ワークグループの確認」 (●▶ P. 160) にお進みください。
- ▶ IP アドレスを設定する場合は、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバーでログオンしている必要があります。



- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
- 3 「ネットワーク接続」をクリックします。
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。
- 4 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「**FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)**」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「全般」タブをクリックします。
- 6 (1) 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」をクリックして反転表示させ、(2) 「プロパティ」をクリックします。

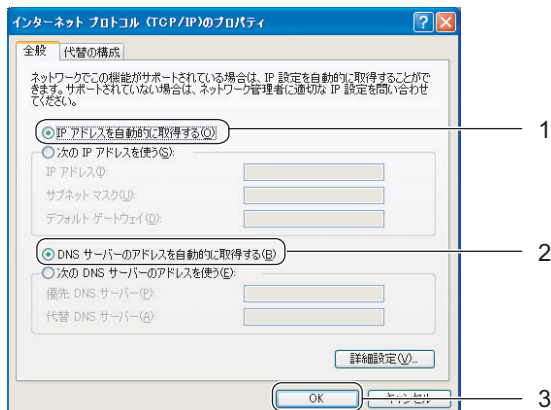


7 IP アドレスを設定します。


IP アドレス／DNS サーバーの設定／デフォルトゲートウェイの設定について、ネットワーク管理者の指示があった場合は、その指示に従ってください。

■DHCP クライアント（IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得する）に設定する場合

1. IP アドレスを自動的に取得する
クリックして  にします。
2. DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する
クリックして  にします。
3. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。



■固定 IP アドレスを設定する場合

1. 次の IP アドレスを使う
クリックして  にします。

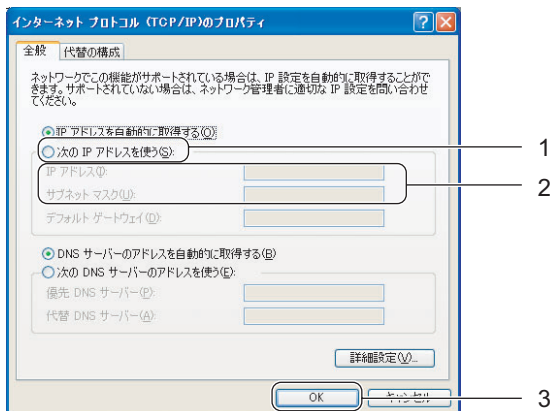
2. IP アドレス／サブネットマスク

IP アドレス／サブネットマスクを入力します。

IP アドレスの設定例については、「IP アドレスの設定方法を知りたいのですが」(●▶ P. 179) をご覧ください。

3. OK

設定が完了したら、「OK」をクリックします。



「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

8 「OK」または「閉じる」をクリックします。

9 「ネットワーク接続」ウィンドウで をクリックします。

■フル コンピュータ名／ワークグループの確認

POINT

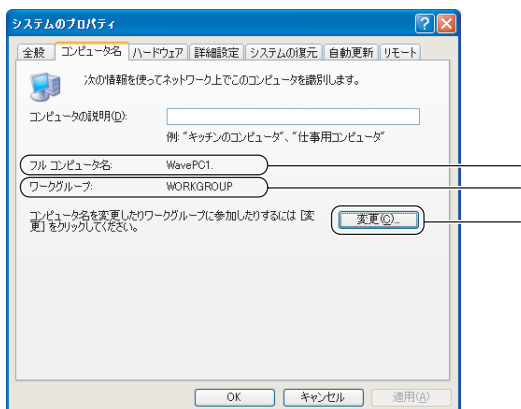
- ▶ フルコンピュータ名、ワークグループを変更する場合は、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバでログオンしている必要があります。

1 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「コンピュータ名」タブをクリックします。

3 「フル コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。



1. フルコンピュータ名

ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、重複しない任意の名前を設定します。半角 15 文字以内で設定します。機種名やユーザー名などを設定すると、識別しやすくなります。

2. ワークグループ

ネットワークのグループ名です。半角 15 文字以内で設定します。

- ・ インフラストラクチャ通信の場合

接続したいワークグループ名が設定されているか確認します。


- ・ アドホック通信の場合

アドホック通信するすべてのパソコンで、同じ名前が設定されているか確認します。

3. 設定を変更する場合は「変更」をクリックして設定し、画面の指示に従って操作してください。

4 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

再起動のメッセージが表示されない場合は、「パフォーマンスとメンテナンス」ウィンドウ、または「コントロールパネル」ウィンドウで  をクリックします。

次に、ファイルやプリンタをネットワーク上のパソコンと共有する場合は、「共有設定をする」([●▶P. 161](#))へお進みください。

共有しない場合は、「接続を確認する」([●▶P. 167](#))へお進みください。

共有設定をする

ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合の設定を行います。共有しない場合は、設定の必要はありません。「接続を確認する」([●▶P. 167](#))へお進みください。

共有設定したフォルダ、およびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

- ・ 「Microsoft ネットワーク共有サービスの設定」 (●▶ P. 162)
- ・ 「ファイルの共有設定」 (●▶ P. 163)
- ・ 「プリンタの共有設定」 (●▶ P. 165)

■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

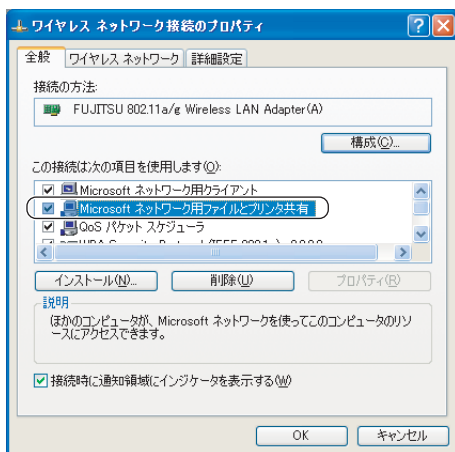
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「**FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)**」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 **Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていることを確認します。**

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が ☐ になっている場合は、クリックして ☒ にします。



6 「OK」または「閉じる」をクリックします。

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合は、「インストール」→「サービス」→「追加」→「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」→「OK」の順にクリックしてインストールを行ってください。

7 「ネットワーク設定」ウィンドウで をクリックします。

■ファイルの共有設定

ここでは、Cドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

1 「スタート」ボタン→「マイ コンピュータ」の順にクリックします。

2 「ローカルディスク (C:)」をクリックします。

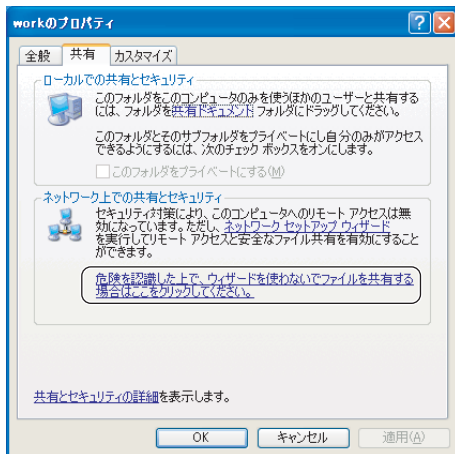
3 「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックします。

「workのプロパティ」ウィンドウが表示されます。ファイルの共有設定を行います。

POINT

- ▶ 画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したファイル共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN の場合、SSID やネットワークキーなどによってセキュリティが守られています。ここではネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、簡単にファイルの共有設定を行う方法を説明します。

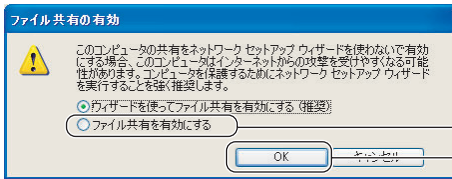
4 「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。



POINT

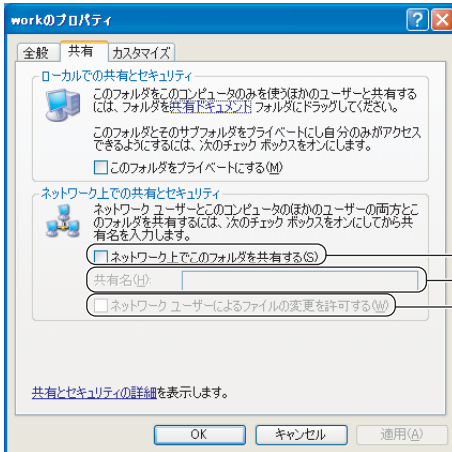
- ▶ すでに「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックしている場合は、この画面は表示されません。手順 6 へお進みください。

5 (1)「ファイル共有の有効」ウィンドウで「ファイル共有を有効にする」をクリックして  にし、(2)「OK」をクリックします。



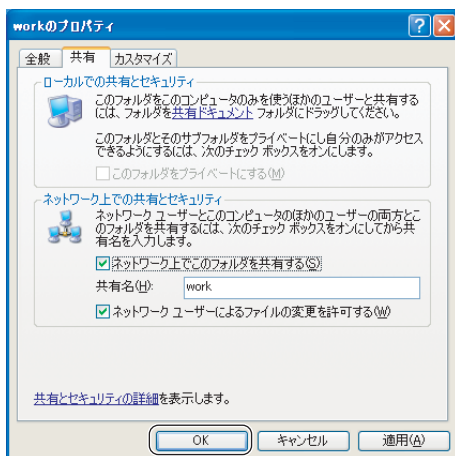
「workのプロパティ」ウィンドウ内の「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の表示内容が変わります。

6 次のように操作します。



1. ネットワーク上でこのフォルダを共有する
クリックして ☒ にします。
2. 共有名
共有するフォルダのネットワーク上での名前を入力します。
3. ネットワーク ユーザーによるファイルの変更を許可する
共有するフォルダをネットワーク経由で書き込み可能にする場合は、クリックして ☒ にします。

7 「OK」をクリックします。



フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンが共有の表示に変わります。

■プリンタの共有設定

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。

3 「プリンタとFAX」をクリックします。

「プリンタとFAX」ウィンドウが表示され、接続されているプリンタが表示されます。

4 共有設定するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

共有設定するプリンタのプロパティウィンドウが表示されます。プリンタの共有設定を行います。

POINT

- ▶ 画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したプリンタ共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN の場合、SSID やネットワークキーによってセキュリティが守られています。ここではネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、簡単にプリンタの共有設定を行う方法を説明します。

5 「危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。

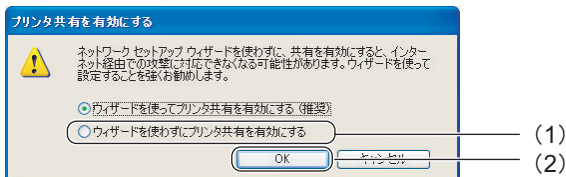


POINT

- ▶ すでに「危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。」をクリックしている場合は、この画面は表示されません。手順 7 へお進みください。

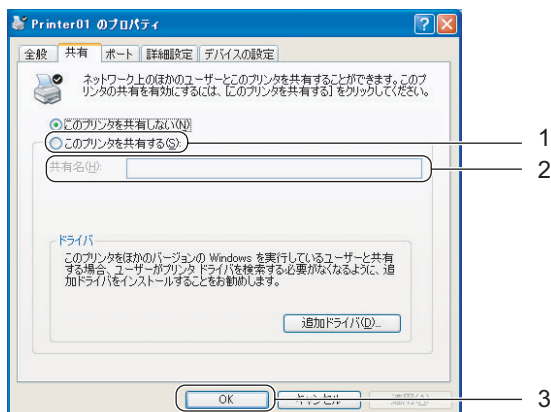
プリンタ共有を有効にする画面が表示されます。


6 (1)「ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする」をクリックして にし、(2)「OK」をクリックします。



プリンタのプロパティウィンドウに戻ります。

7 次のように操作します。



1. このプリンタを共有する
クリックして  にします。
2. 共有名
ネットワーク上で識別するためのプリンタ名を入力します。
3. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。

プリンタが共有設定され、プリンタのアイコンが共有の表示に変わります。

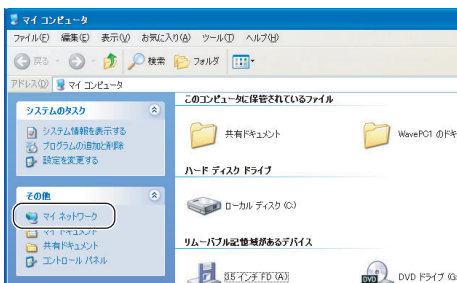
次に、「接続を確認する」(▶P. 167) へお進みください。

接続を確認する

ネットワークの設定ができれば他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続して、正常にネットワーク接続できるか確認します。

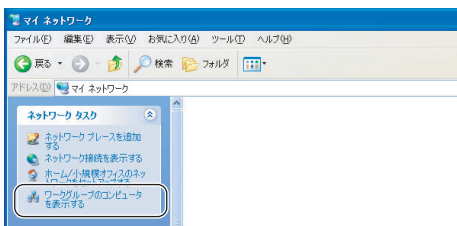
■他のパソコンへの接続

- 1 「スタート」→「マイ コンピュータ」の順にクリックします。
「マイ コンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「その他」の一覧から「マイ ネットワーク」をクリックします。

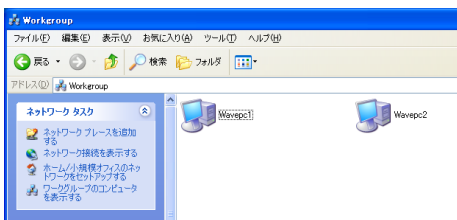


「マイ ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

3 「ネットワーク タスク」の一覧から、「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。



自分が参加しているワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。



4 接続したいパソコンをクリックします。

ネットワーク上のパソコンが共有設定したフォルダが表示されます。

5 接続したい共有フォルダをクリックします。

フォルダの内容が表示され利用可能になります。

正常に接続できない場合は、お使いのドライバユーティリティによって、次をご覧ください。

- ドライバユーティリティが Atheros クライアントユーティリティの場合は、「ネットワークに接続できません」(●▶P. 188) をご覧ください。
- ドライバユーティリティが Mr.WLANner の場合は、「ネットワークに接続できません」(●▶P. 201) をご覧ください。

2 ネットワークの設定 (Windows 2000 の場合)

ネットワークに接続するための設定方法について説明します。

ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク接続の設定

ネットワークの接続に必要な、次の設定を行います。

- ・ 「IP アドレスの設定」 (●▶ P. 169)
- ・ 「フル コンピュータ名/ワークグループの確認」 (●▶ P. 171)

■IP アドレスの設定

POINT

- ▶ IP アドレスを設定する場合は、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバーでログオンしている必要があります。

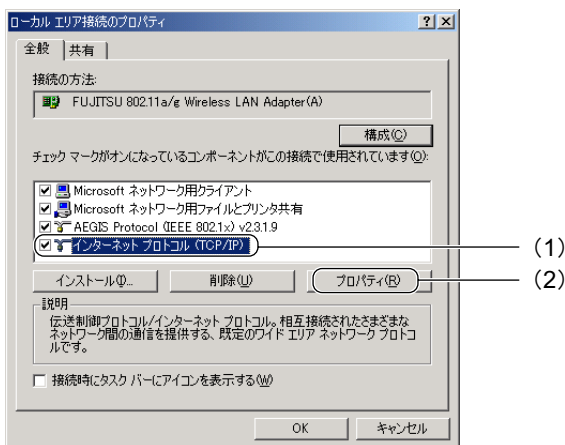
1 デスクトップの「マイ ネットワーク」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウに、現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

2 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 (1)「インターネット プロトコル (TCP/IP)」をクリックして反転表示させ、(2)「プロパティ」をクリックします。



インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面が表示されます。

4 IP アドレスの設定をします。

IP アドレス／DNS サーバーの設定／デフォルトゲートウェイの設定について、ネットワーク管理者の指示があった場合は、その指示に従ってください。

■DHCP クライアント (IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得する) に設定する場合

1. IP アドレスを自動的に取得する

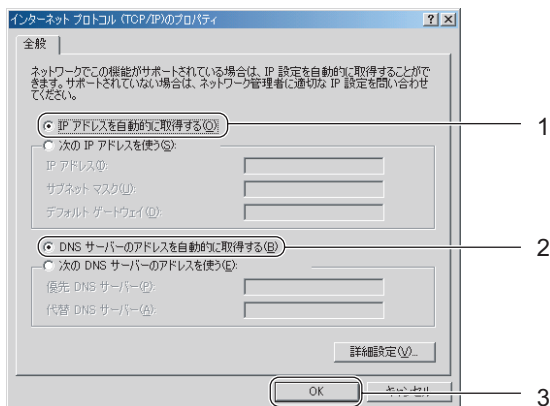
クリックして にします。

2. DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得する

クリックして にします。

3. OK

設定が完了したら、「OK」をクリックします。



■固定 IP アドレスを設定する場合

1. 次の IP アドレスを使う

クリックして  にします。

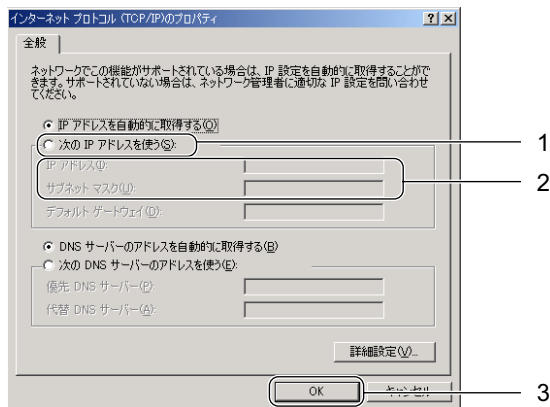
2. IP アドレス／サブネットマスク

IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

IP アドレスの設定例については「IP アドレスの設定方法を知りたいのですが」(●▶P. 179) をご覧ください。

3. OK


設定が完了したら、「OK」をクリックします。



「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

5 「OK」または「閉じる」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

再起動のメッセージが表示されない場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウで  をクリックします。

■フル コンピュータ名／ワークグループの確認

POINT

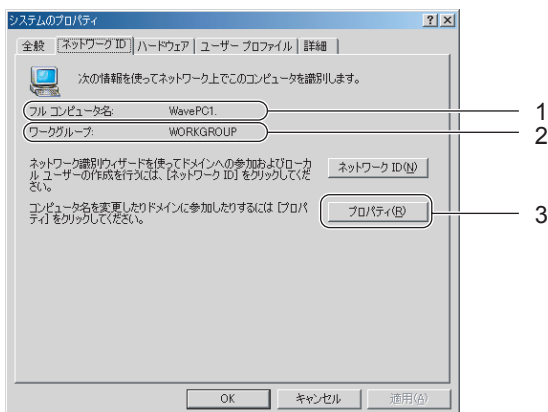
- ▶ フルコンピュータ名、ワークグループを変更する場合は、コンピュータの管理者または Administrators グループのメンバでログオンしている必要があります。

1 デスクトップの「マイ コンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ネットワーク ID」タブをクリックします。

3 「フル コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。



1. フルコンピュータ名

ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、重複しない任意の名前を設定します。機種名やユーザー名などを設定すると、識別しやすくなります。

2. ワークグループ

ネットワークのグループ名です。

- ・ インフラストラクチャ通信の場合
接続したいワークグループ名が設定されているか確認します。
- ・ アドホック通信の場合
アドホック通信するすべてのパソコンで、同じ名前が設定されているか確認します。

3. 設定を変更する場合は、「プロパティ」をクリックして表示されるウィンドウで設定します。

4 「システムのプロパティ」ウィンドウで、「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックしてパソコンを再起動してください。

次に、ファイルやプリンタをネットワーク上のパソコンと共有する場合は、「共有設定をする」(●▶P. 172) へお進みください。

共有しない場合は、「接続を確認する」(●▶P. 175) へお進みください。

共有設定をする

ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合の設定を行います。共有しない場合は、設定の必要はありません。「接続を確認する」(●▶P. 175) へお進みください。

共有設定したフォルダ、およびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

- ・ 「Microsoft ネットワーク共有サービスの設定」(●▶P. 173)
- ・ 「ファイルの共有設定」(●▶P. 174)

- ・ 「プリンタの共有設定」 (●▶ P. 175)

■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

1 デスクトップの「マイ ネットワーク」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

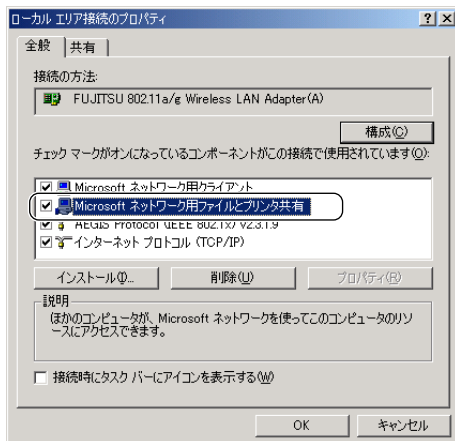
「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウに、現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

2 一覧に表示されているアイコンにマウスポインタを重ねて「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が表示されるアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていることを確認します。

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が ☐ になっている場合は、クリックして ☒ にします。



4 「OK」または「閉じる」をクリックします。

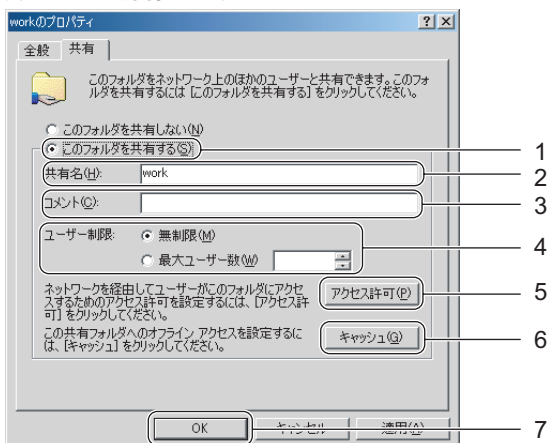
「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合は、「インストール」→「サービス」→「追加」→「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」→「OK」の順にクリックしてインストールを行ってください。


5 「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウで、をクリックします。

■ ファイルの共有設定

ここでは、C ドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

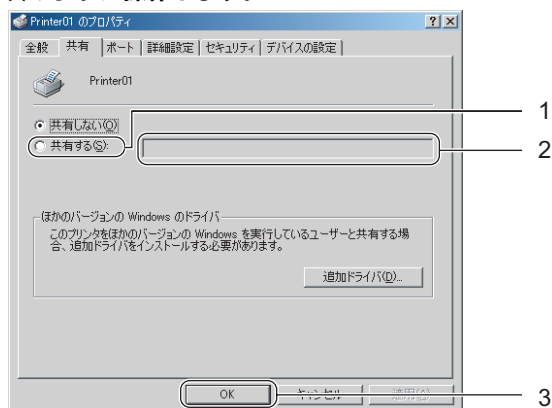
- 1 デスクトップ画面の「マイ コンピュータ」→C ドライブの順にクリックします。
- 2 「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。
- 3 次のように操作します。





1. このフォルダを共有する
クリックして  にすると、ネットワーク上のパソコンとフォルダを共有できるようにします。
2. 共有名
共有するドライブまたはフォルダを、ネットワーク上で識別するための名前を設定します。
3. コメント
共有するドライブまたはフォルダの説明を入力します。
4. ユーザー制限
共有するユーザー数の制限を設定します。
5. アクセス許可
フォルダに対するアクセス権を設定します。
6. キャッシュ
フォルダのキャッシュを設定します。
7. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。
フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンが共有の表示に変わります。

■プリンタの共有設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
プリンタ画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。
- 2 共有設定するプリンタにカーソルを合わせて右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。
共有するプリンタのプロパティウィンドウが表示されます。
- 3 次のように操作します。



1. 共有する
クリックして  にすると、プリンタをネットワーク上のパソコンと共有できます。
 2. 「共有する」を  にした場合、プリンタをネットワーク上で識別するための名前をテキストボックスに入力します。
 3. OK
設定が完了したら、「OK」をクリックします。
プリンタが共有設定され、アイコンが共有の表示に変わります。
- 次に、「接続を確認する」(●▶P. 175) へお進みください。

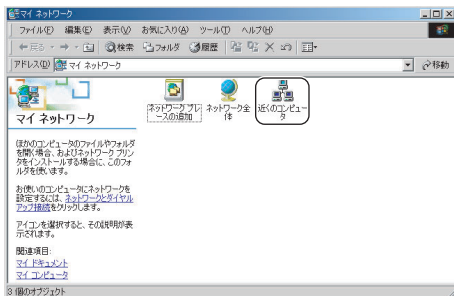
接続を確認する

ネットワークの設定ができれば他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続して、正常にネットワーク接続できるか確認します。

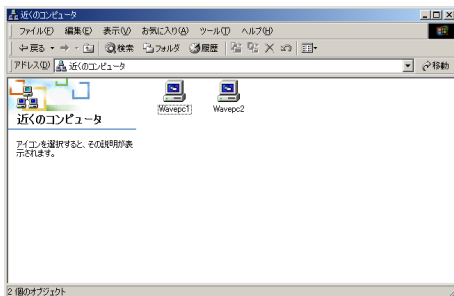
■他のパソコンへの接続

- 1 デスクトップ画面の「マイ ネットワーク」アイコンをクリックします。
「マイ ネットワーク」ウィンドウが表示されます。

2 「近くのコンピュータ」をクリックします。



ネットワークに接続されているパソコンが表示されます。



3 接続したいパソコンをクリックします。

ネットワーク上のパソコンで共有設定したフォルダが表示されます。

4 接続したい共有フォルダをクリックします。

フォルダの内容が表示され、利用可能になります。

正常に接続できない場合は、「ネットワークに接続できません」(●▶P. 188) をご覧ください。

第 5 章

こんなときは

本製品をお使いになっいて、わからないことや困ったことがあった場合の対処方法などについて説明します。

1	Q&A.....	178
2	Q&A（Atheros クライアントユーティリティの場合）	186
3	Q&A（Mr.WLANner の場合）	201
4	お問い合わせ先.....	212

1 Q&A

正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。また、本製品以外の原因も考えられますので、システムとして組み合わされている他の機器も合わせてお調べください。どうしても原因がわからないときは「4 お問い合わせ先」(●▶P. 212)、またはご購入元に連絡してください。

また、お使いのドライバユーティリティによって、それぞれ次もご確認ください。

- ドライバユーティリティが「Atheros クライアントユーティリティ」の場合
「2 Q&A (Atheros クライアントユーティリティの場合)」(●▶P. 186)
- ドライバユーティリティが「Mr.WLANner」の場合
「3 Q&A (Mr.WLANner の場合)」(●▶P. 201)

次の項目について記載しています。

- 「本製品をセットしてパソコンの電源を入れても、本製品が検出されません」(●▶P. 178)
- 「IP アドレスの設定方法を知りたいのですが」(●▶P. 179)
- 「接続確認をしたいのですが」(●▶P. 180)
- 「ネットワークに接続できるのですが、共有フォルダなどにはアクセスできません」(●▶P. 181)
- 「本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが」(●▶P. 182)

Q 本製品をセットしてパソコンの電源を入れても、本製品が検出されません

A 本製品がパソコンの PC カードスロットに確実に差し込まれているか確認してください

本製品の向きを確認し、差し込み直してください。

A パソコンの PC カードスロットが故障している可能性があります

PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いの方は、もう一方のスロットに差し込んでください。また、他のパソコンをお持ちの方は、他のパソコンの PC カードスロットに本製品をセットして電源を入れてください。正常に検出されれば、最初に本製品をセットしたパソコンの PC カードスロットが故障している可能性があります。ご購入元、または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口にご相談ください(→「4 お問い合わせ先」(●▶P. 212) 参照)。なお、本製品をパソコンにセットするには、ドライバのインストールが必要です。インストール方法については、それぞれ次の章をご覧ください。

- 通常は、「1 インストール」(●▶P. 32) をご覧ください。

- ・ ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンを Windows XP でお使いの場合は、「1 インストール」(●▶ P. 86) をご覧ください。

Q IP アドレスの設定方法を知りたいのですが

IP アドレスの設定がわからない場合は、次の項目を参考にして、IP アドレスを設定してください。


A 次のようにして IP アドレスを設定します

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ウィンドウで、次のように設定します。「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ウィンドウの開き方については、次をご覧ください。

- ・ Windows XP の場合
「IP アドレスの設定」(●▶ P. 158)
- ・ Windows 2000 の場合
「IP アドレスの設定」(●▶ P. 169)

□ パソコンの IP アドレスを自動的に取得する場合

ネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合、パソコン側で個別に IP アドレスを設定する必要はありません。次のようにして IP アドレスを自動的に取得します。

- ・ 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ウィンドウで、「IP アドレスを自動的に取得する」をクリックして  にします。

POINT

- ▶ DHCP サーバーとは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り当てるサーバーです。

□ 各機器に固定 IP アドレスを設定する場合

IP アドレスは、0 から 255 までの 4 個の数値で表します。各パソコンや無線 LAN アクセスポイントに次のように設定します。() 内はサブネットマスクです。サブネットマスクは、ネットワーク内のパソコンや無線 LAN アクセスポイントで、同じ値を設定します。

- ・ 無線 LAN アクセスポイントの設定例 (インフラストラクチャ接続の場合)
無線 LAN アクセスポイント : 192.168.2.1 (255.255.255.0)
無線 LAN アクセスポイントの IP アドレスを上記のように設定した場合、無線 LAN アクセスポイントに接続するクライアントのパソコンの IP アドレスは次のように設定します。
- ・ パソコン側の設定例 (「次のようにして IP アドレスを設定します」(●▶ P. 179) の画面で設定します)
パソコン A : 192.168.2.2 (255.255.255.0)
パソコン B : 192.168.2.3 (255.255.255.0)
パソコン C : 192.168.2.4 (255.255.255.0)
:

：
パソコン X : 192.168.2.254 (255.255.255.0)

POINT

家庭内や組織内などの閉じたネットワークの中で、プライベートアドレスとして使用できる IP アドレス

- ▶ 10.0.0.1～10.255.255.254
- ▶ 172.16.0.1～172.31.255.254
- ▶ 192.168.0.1～192.168.255.254

Q 接続確認をしたいのですが

A PING コマンドで接続確認をします

1 パソコンで、IP アドレスが正常に取得できているか確認します。

確認方法は、次をご覧ください。

- Atheros クライアントユーティリティをお使いの場合は、「IP アドレス／MAC アドレスの確認方法」(●▶ P. 190) をご覧ください。
- Mr.WLANner をお使いの場合は、「IP アドレス／MAC アドレスの確認方法」(●▶ P. 204) をご覧ください。

2 次のように操作します。

- Windows XP の場合
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。(接続確認相手の IP アドレスが「192.168.2.1」の場合)

ping 192.168.2.1

正常に接続できている場合は、パソコンで次のように表示されます。

```
Pinging 192.168.2.1 with 32 bytes of data:
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time=9ms TTL=255
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<1ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.2.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 9ms, Average = 2ms
```

POINT

[「Request timed out」](#) [「Destination host unreachable」](#) などと表示される場合

- ▶ 接続確認相手と正常に接続できていません。IP アドレスの設定および SSID/セキュリティの設定を、再度確認してください。
- ▶ 接続確認相手のパソコンの OS が Windows XP の場合、パソコンのファイアウォールの設定を確認してください。
Windows XP のファイアウォールが有効になっていると、PING コマンドが正しく動作しない場合があります。この場合は、パソコンのファイアウォールの詳細設定で、ICMP (Internet Control Message Protocol) のエコー要求の着信を許可するように設定を行う必要があります。
詳しくは、Windows XP のヘルプをご覧ください。

4 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

exit

「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

Q ネットワークに接続できるのですが、共有フォルダなどにはアクセスできません

A 接続先のネットワークにアクセスする権限があるかどうか確認してください

接続先となるパソコンの共有フォルダなどの設定によりアクセスが制限されている場合があります。

この場合はネットワークに接続できても、共有フォルダなどのネットワーク資源にアクセスできなくなります。このような場合には接続先のパソコンなどの設定をご確認ください。

A 接続先のパソコンの OS やアプリケーションの仕様をご確認ください


接続先のパソコンの OS やアプリケーションによっては、同時に接続できる台数が数台に制限されている場合があります。

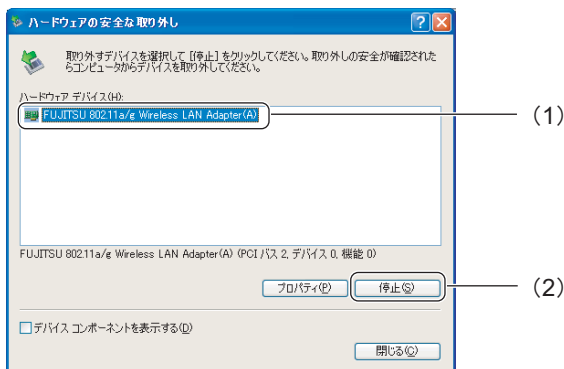
接続先の OS やアプリケーションの仕様をご確認ください。

Q 本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが

A 次の手順で本製品を取り外してください

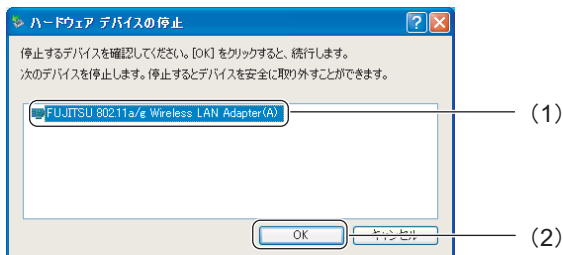
□ Windows XP の場合

- 1 デスクトップ右下の通知領域から、ハードウェアの安全な取り外しアイコン（）をクリックします。
- 2 (1)「ハードウェアデバイス」から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」をクリックし、(2)「停止」をクリックします。



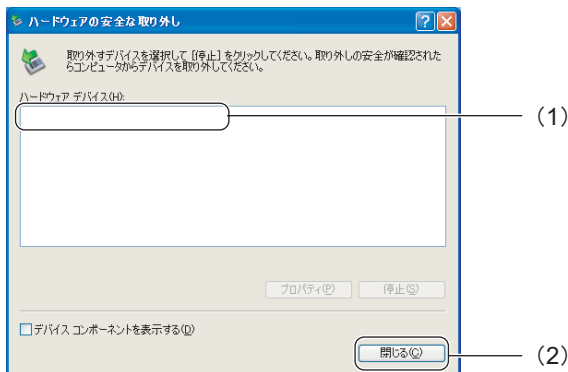
「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されます。

- 3 (1)「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が選択されていることを確認して、(2)「OK」をクリックします。



デスクトップ右下の通知領域に「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A) は安全に取り外す事ができます。」というメッセージが表示されます。

- 4 (1)「ハードウェアデバイス」から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が消えていることを確認し、(2)「閉じる」をクリックします。




5 本製品をパソコンから取り外します。

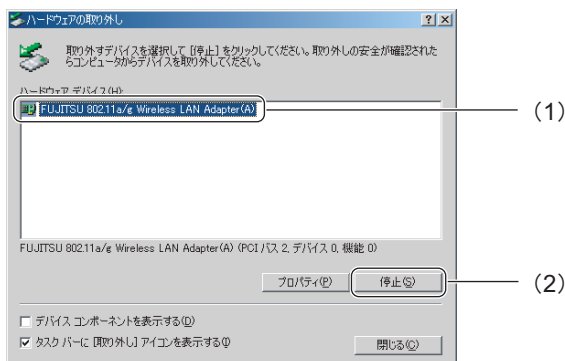
取り外し方法についてはパソコン本体のマニュアルをご覧ください。

再度、本製品をお使いになる場合は、「再度本製品をお使いになる場合」(●▶ P. 185)をご覧ください。

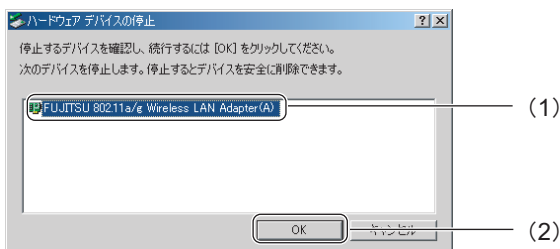
□ Windows 2000 の場合

1 デスクトップ右下の通知領域から、ハードウェアの取り外しまたは取り出しアイコン () をクリックします。

2 (1)「ハードウェアデバイス」から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」をクリックし、(2)「停止」をクリックします。



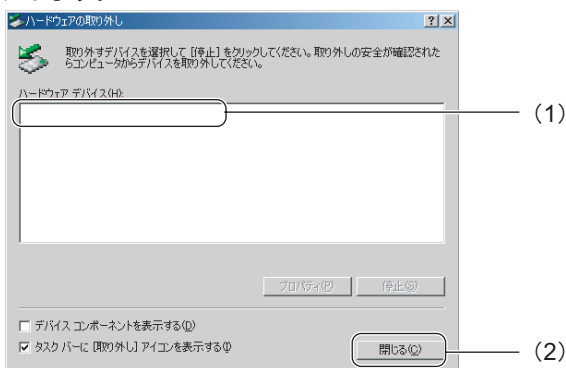
3 (1)「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が選択されていることを確認して、(2)「OK」をクリックします。



4 「OK」をクリックします。



5 (1)「ハードウェアデバイス」から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」が消えていることを確認し、(2)「閉じる」をクリックします。



6 本製品をパソコンから取り外します。

取り外し方法についてはパソコン本体のマニュアルをご覧ください。

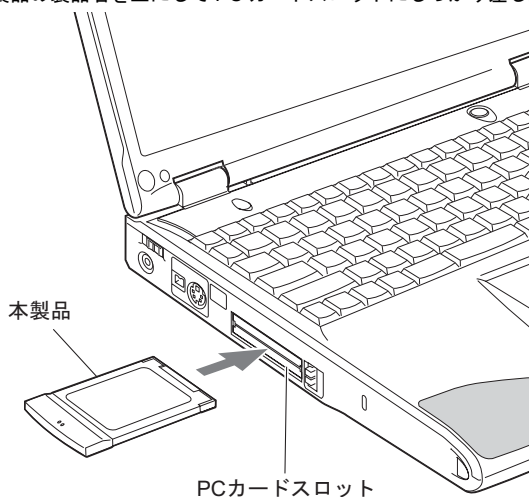
POINT

再度本製品をお使いになる場合

次のようにして、本製品をパソコンにセットしてください。

1. 本製品をパソコンにセットします。

本製品の製品名を上にしてPCカードスロットにしっかり差し込みます。



2. ネットワークにアクセスできることを確認します。

2 Q&A (Atheros クライアントユーティリティの場合)

ドライバユーティリティに「Atheros クライアントユーティリティ」をお使いの場合の Q&A です。

次の項目について記載しています。

「1 Q&A」(●▶P. 178) も合わせてご覧ください。

- ・ 「デバイスマネージャの画面で、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」に「！」マークや「×」マークがついています」(●▶P. 187)
- ・ 「アドホック通信できません」(●▶P. 188)
- ・ 「ネットワークに接続できません」(●▶P. 188)
- ・ 「IP アドレス/MAC アドレスの確認方法」(●▶P. 190)
- ・ 「電波状態を確認したいのですが」(●▶P. 193)
- ・ 「パソコン起動時にネットワークドライブの接続に失敗します」(●▶P. 193)
- ・ 「スタンバイから復帰後、IEEE 802.1X や WPA の認証に失敗します」(●▶P. 194)
- ・ 「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」(●▶P. 194)
- ・ 「Windows の起動時に「athgina.dll を読み込めませんでした」というメッセージが表示され、先に進めません。」(●▶P. 198)

Q デバイスマネージャの画面で、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」に「！」マークや「×」マークがついています

POINT

デバイスマネージャ画面について

デバイスマネージャ画面では、ハードウェアの状態などを確認できます。次のように操作して表示します。

- ▶ Windows XP の場合
 1. 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 2. 「ハードウェア」タブをクリックします。
 3. 「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- ▶ Windows 2000 の場合
 1. デスクトップ画面の「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 2. 「ハードウェア」タブをクリックします。
 3. 「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

A パソコンを再起動してください

パソコンが本製品の認識に失敗している可能性があります。本製品をセットし直して、パソコンを再起動してください。本製品をセットし直すには、「本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが」(●▶P. 182) をご覧ください。

A 「！」マークがついている場合は、ドライバのインストールに失敗している可能性があります

本製品が PC カードスロットに確実に差し込まれているか確認し、ドライバを削除後、再度ドライバのインストールを行ってください。ドライバの削除については、「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」(●▶P. 194) をご覧ください。

A 「×」マークがついている場合は、本製品が無効に設定されている可能性があります

「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」の中から「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」を右クリックして、表示されるメニューに「有効」が表示されていると、本製品が無効に設定されています。

「有効」をクリックして、使用可能な状態にしてください。

A ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンでは、Atheros クライアントユーティリティが正常に動作しない場合があります

誤って、ワイヤレス LAN 機能が搭載されているパソコンに Atheros クライアントユーティリティをインストールした場合には、本製品が PC カードスロットに確実に差し込まれているか確認し、ドライバを削除後、Mr.WLANner のインストールを行ってください。

ドライバの削除については、「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」(●▶ P. 194) をご覧ください。

Mr.WLANner のインストールについては、「第 3 章 インストールとパラメータの設定 (Mr.WLANner の場合)」(●▶ P. 85) をご覧ください。

Q アドホック通信できません

「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 188) を合わせてご覧ください。

A ワイヤレス LAN の設定を確認してください

アドホック通信するパソコンのワイヤレス LAN の設定が、すべてのパソコンで同じ設定になっていることを確認してください。設定方法は「3 ワイヤレス LAN の設定 (アドホック通信の場合)」(●▶ P. 71) をご覧ください。

A ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 とのアドホック通信で、接続できない場合があります

ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 を搭載した Windows 2000 のパソコンとアドホック通信を行う場合は、ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 を搭載したパソコンを先に起動してください。なお、本現象は、FUJITSU 802.11a Wireless LAN Adapter(T)を搭載したパソコンでも発生する場合があります。

Q ネットワークに接続できません

アドホック通信の場合は、「アドホック通信できません」(●▶ P. 188) を合わせてご覧ください。

A ワイヤレス LAN の設定が正しいか確認してください

- インフラストラクチャ通信の場合
SSID、およびセキュリティの設定を、無線 LAN アクセスポイントおよびお使いになる認証環境に合わせて設定してください。
- アドホック通信の場合
アドホックワイヤレスネットワークに接続するすべてのパソコンで、SSID、および WEP キーを同じ値に設定してください。

確認方法、および設定の変更方法については、次をご覧ください。

- 「2 ワイヤレス LAN の設定 (インフラストラクチャ通信の場合)」(●▶ P. 56)
- 「3 ワイヤレス LAN の設定 (アドホック通信の場合)」(●▶ P. 71)

A デバイスマネージャの画面で、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」に「！」マークや「×」マークがついていないか確認してください

デバイスマネージャ画面の見方、および「！」や「×」マークがついている場合の対処方法は、「デバイスマネージャの画面で、「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」に「！」マークや「×」マークがついています」(●▶P. 187) をご覧ください。

A 電波状態を確認してください

電波状態の確認方法については、「電波状態の確認」(●▶P. 78) をご覧ください。

電波の状態が良くない場合には、次のような対策を行ってください。また、あわせて「干渉に関する注意事項」(●▶P. 9) をご覧ください。

- ・ インフラストラクチャ通信の場合
無線 LAN アクセスポイントとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。
- ・ アドホック通信の場合
接続相手のパソコンとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。

A 接続先の無線 LAN アクセスポイントやパソコンの電源が入っているか確認してください

A 同一フロア内などで複数のワイヤレス LAN ネットワークがある場合、使用するチャンネルが重なっている可能性があります

近くに他のワイヤレス LAN のネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないように設定してください。使用中のチャンネルの確認方法／変更方法は、次をご覧ください。

- ・ インフラストラクチャ通信の場合
無線 LAN アクセスポイントのチャンネルの設定を確認してください。チャンネルを変更する場合は、無線 LAN アクセスポイント側で設定を変更してください。確認方法／変更方法は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- ・ アドホック通信の場合
チャンネルの変更方法は、「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」(●▶P. 71) をご覧ください。

A ネットワーク内のすべてのパソコンで電波の停止／再開を行ってください

複数のパソコンでワイヤレス LAN に接続して、サイズが大きいファイルのコピーなどを同時に複数のパソコンで行うと、電波の状態が悪くなり、正常に通信できない場合があります。

正常に通信が行えない場合は、本製品を使用しているネットワーク内のすべてのパソコンで、電波の停止と再開を行ってください。

電波の停止と再開については、「電波の停止と再開」(●▶P. 78) をご覧ください。

このような現象が頻繁に起こる場合は、SSID やチャンネルを変更してください。チャンネルの変更方法は、「3 ワイヤレス LAN の設定（アドホック通信の場合）」（●▶ P. 71）をご覧ください。

A IP アドレスの設定が正しいか確認してください

次をご覧になり、パソコンに設定された IP アドレスを確認してください。

- Windows XP の場合
「IP アドレスの設定」（●▶ P. 158）
- Windows 2000 の場合
「IP アドレスの設定」（●▶ P. 169）

A 接続先のネットワークにアクセスする権限があるかどうか確認してください

接続先となるパソコンの共有フォルダなどの設定によりアクセスが制限されている場合があります。この場合はネットワークに接続できても、共有フォルダなどのネットワーク資源にアクセスできなくなります。このような場合には接続先のパソコンなどの設定をご確認ください。


A ネットワーク接続の設定が正常にできているか確認してください

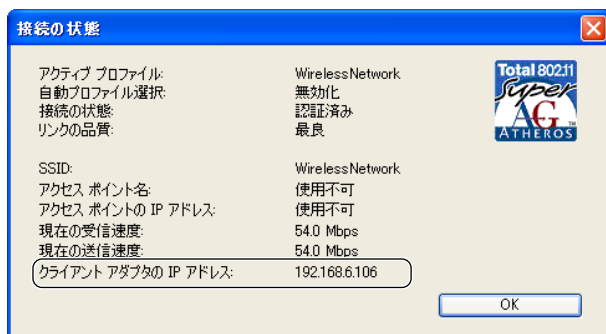
IP アドレスの設定、ワークグループ、共有設定などを確認してください。

- Windows XP の場合
「1 ネットワークの設定（Windows XP の場合）」（●▶ P. 158）
- Windows 2000 の場合
「2 ネットワークの設定（Windows 2000 の場合）」（●▶ P. 169）

Q IP アドレス／MAC アドレスの確認方法

A ユーティリティでの IP アドレス確認方法

- 1** デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン（) を右クリックし、表示されるメニューから「接続情報の表示」をクリックします。
「接続の状態」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「クライアントアダプタの IP アドレス」を確認します。

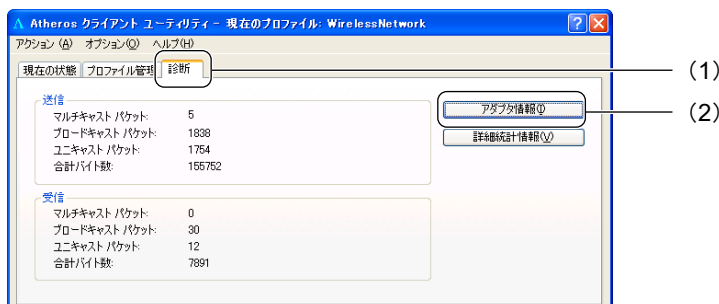


3 「OK」をクリックします。

A ユーティリティでの MAC アドレス確認方法

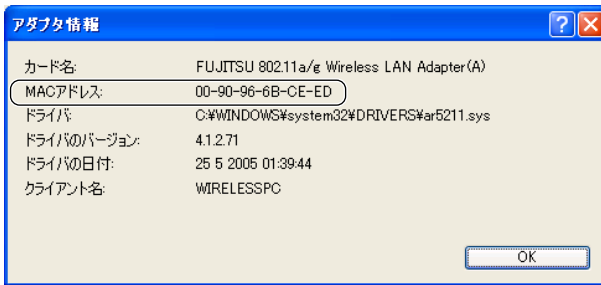
- 1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン (📶) を右クリックし、表示されるメニューから「Atheros クライアントユーティリティを開く」をクリックします。
「Atheros クライアントユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 (1)「診断」タブをクリックし、(2)「アダプタ情報」をクリックします。



「ドライバ情報」ウィンドウが表示されます。

3 「MAC アドレス」を確認します。



4 「OK」をクリックします。

A コマンドプロンプトでの IP アドレス／MAC アドレス確認方法

1 次のように操作します。

- Windows XP の場合
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

2 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
ipconfig /all
```

3 IP アドレスが正常に表示されているか確認します。

POINT

[1台のパソコンで、本製品と、別のLAN機能を同時に運用している場合](#)

「Description」に「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」と表示された接続の IP アドレスが、正常に取得できているか確認してください。

正常な場合は、次のように表示されます（IP アドレスが 192.168.0.73 の場合）。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続 3:
Connection-specific DNS Suffix . : FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)
Description . . . . . : FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)
Physical Address. . . . . : 00-90-96-52-26-D1
DHCP Enabled. . . . . : Yes
Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes
IP Address. . . . . : 192.168.0.73
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.128
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1
DHCP Server . . . . . : 192.168.0.1
DNS Servers . . . . . : 192.168.0.1
Lease Obtained. . . . . : 2003年7月10日 9:20:40
Lease Expires . . . . . : 2003年7月13日 9:20:40
```

POINT

IP Address が正常に表示されない場合

「IP Address」の項目が次のように表示される、または正常に表示されない場合は、次の方法で確認してください。

- ▶ 「IP Address」に、169.254.nnn.mmm または 0.0.0.0 と表示された場合、IP アドレスを正常に取得できていません。
「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 188) をご覧ください。
- ▶ 「IP Address」が表示されず、「Media State」に「Media Disconnected」と表示された場合、ネットワークに接続できていません。
「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 188) をご覧ください。

- 次の点を確認してください。
- ・ SSID が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ セキュリティの設定が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ ネットワーク認証が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか

4 MAC アドレスを確認します。

「Physical Address」の値が MAC アドレスです。

5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

exit

「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

Q 電波状態を確認したいのですが

- A 電波状態の確認方法は、「電波状態の確認」(●▶ P. 78) をご覧ください

Q パソコン起動時にネットワークドライブの接続に失敗します

- A 再接続に失敗したネットワークドライブをクリックしてください。

コンピュータ起動時にネットワークドライブの再接続に失敗する場合がありますが、再接続に失敗したネットワークドライブをクリックすると接続できます。

- A ユーティリティが起動してからサーバーと通信を行ってください。

IEEE 802.1X 認証および WPA をお使いになる場合、セキュリティ認証はユーティリティが行います。このため、ユーティリティが起動してからサーバーと通信を行ってください。

Q スタンバイから復帰後、IEEE 802.1X や WPA の認証に失敗します

A スタンバイから復帰したときに、IEEE 802.1X や WPA の認証が失敗する場合があります。

この場合は、本製品をいったんパソコンから取り外し、再度セットしてください。取り外し方法については、「本製品を一時的にパソコンから取り外したいのですが」(●▶P. 182) をご覧ください。


Q ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが

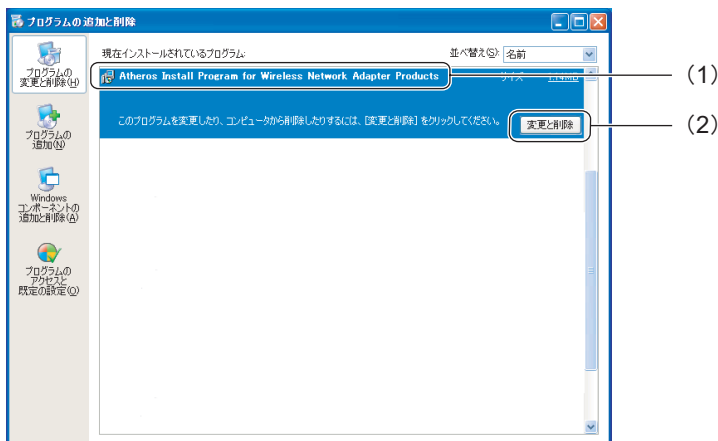
A 次の手順で削除してください

□ Windows XP の場合



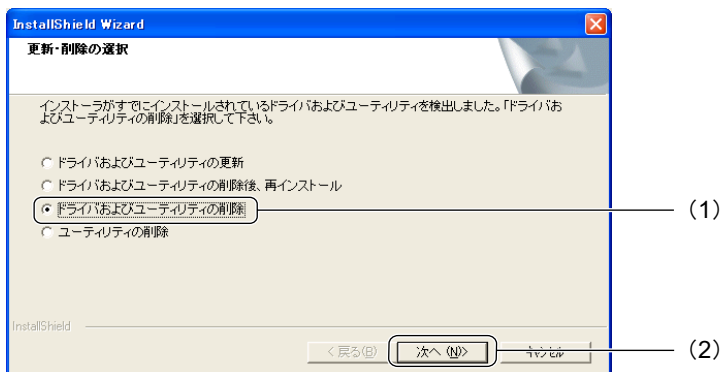
- ▶ 本製品をパソコンにセットした状態で、本手順を開始してください。

- 1** デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。
ユーティリティが終了し、通知領域からユーティリティアイコンが消えます。
- 2** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 3** 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「現在インストールされているプログラム」で (1) 「**Atheros Install Program for Wireless Network Adapter Products**」をクリックし、(2) 「変更と削除」をクリックします。



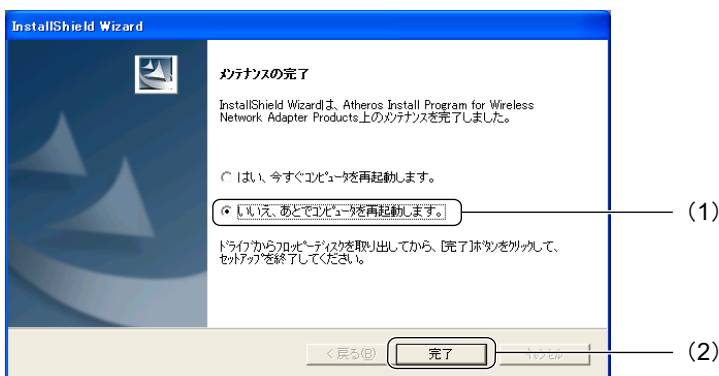
「InstallShield Wizard」ウィンドウが表示されます。

- 5** (1) 「ドライバおよびユーティリティの削除」をクリックして にし、
(2) 「次へ」をクリックします。



- 6** 「ファイル削除の確認」ウィンドウで「OK」をクリックします。
ドライバおよびユーティリティが削除されます。

- 7** 「メンテナンスの完了」が表示されたら、(1) 「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックして にし、(2) 「完了」をクリックします。



8 「プログラムの追加と削除」ウィンドウを閉じます。

9 「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。

10 Windows を終了し、パソコンの電源を切ります。

11 本製品をパソコンから取り外します。


取り外し方法についてはパソコン本体のマニュアルをご覧ください。

以上でドライバおよびユーティリティの削除は完了です。

□ Windows 2000 の場合

重要

- ▶ 本製品をパソコンにセットした状態で、本手順を開始してください。

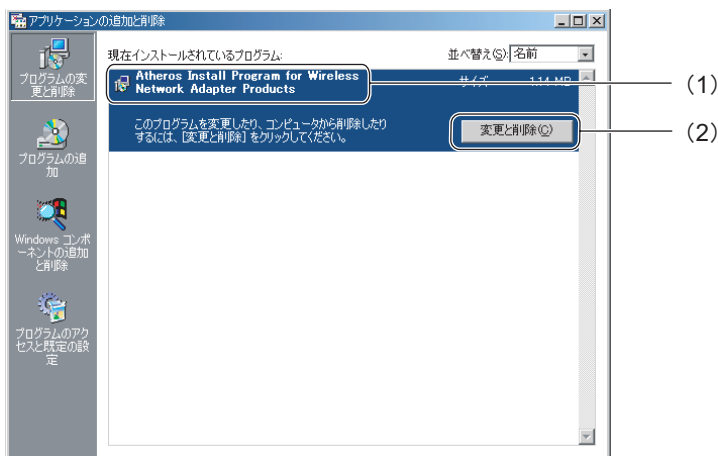
1 デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。

ユーティリティが終了し、通知領域からユーティリティアイコンが消えます。

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

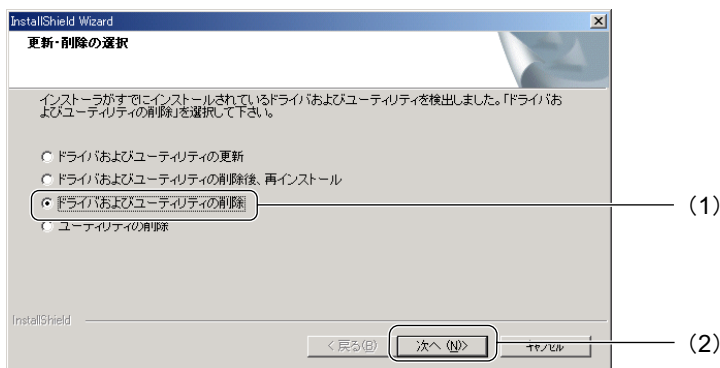
3 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウが表示されます。

4 「現在インストールされているプログラム」で (1) 「Atheros Install Program for Wireless Network Adapter Products」をクリックし、(2) 「変更と削除」をクリックします。



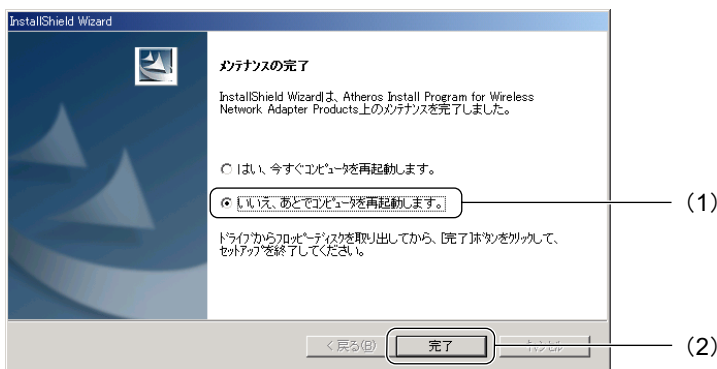
「InstallShield Wizard」ウィンドウが表示されます。

- 5** (1)「ドライバおよびユーティリティの削除」をクリックして にし、
(2)「次へ」をクリックします。



- 6** 「ファイル削除の確認」ウィンドウで「OK」をクリックします。
ドライバおよびユーティリティが削除されます。

- 7** 「メンテナンスの完了」が表示されたら、(1)「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックして にし、(2)「完了」をクリックします。



8 「アプリケーションの追加と削除」ウィンドウを閉じます

9 「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。

10 Windows を終了し、パソコンの電源を切ります。

11 本製品をパソコンから取り外します。

取り外し方法についてはパソコン本体のマニュアルをご覧ください。

以上でドライバおよびユーティリティの削除は完了です。

Q Windows の起動時に「athgina.dll を読み込めませんでした」というメッセージが表示され、先に進めません。

A 次の手順を行ってください

1 「athgina.dll を読み込めませんでした」というメッセージの画面で「再起動」をクリックします。

Windows が再起動されます。手順 2 に従って、セーフモードで Windows を起動します。

2 次の手順で Windows をセーフモードで起動します。

■Windows XP の場合

1. 再起動が開始したら、【F8】キーを押します。

「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されます。

【F8】キーは押すタイミングにより認識されない場合があります。「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されるまで押してください。

2. 「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。

「オペレーティングシステムの選択」が表示されます。

3. 「Microsoft Windows XP」が選択されていることを確認し、【Enter】キーを押します。
4. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
「Administrator パスワード」を設定している場合は、パスワードを入力してログオンします。
「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。
5. 「はい」をクリックします。

■Windows 2000 の場合

1. 「Windows を起動しています」と表示されたら、【F8】キーを押します。
「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。
【F8】キーは押すタイミングにより認識されない場合があります。「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されるまで押してください。
2. 「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。
「オペレーティングシステムの選択」が表示されます。
3. 「Microsoft Windows 2000」が選択されていることを確認し、【Enter】キーを押します。
4. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
「Administrator のパスワード」を設定している場合は、パスワードを入力してログオンします。
「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。
5. 「OK」をクリックします。

3 本製品に添付の CD-ROM を、パソコンにセットします。

「FMV-JW481/2 ワイヤレス LAN ドライバ V4.1.2.71」ウィンドウが表示されます。

4 「閉じる」をクリックします。

5 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

6 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで、「名前」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]¥Utils¥EraseReg.exe -d

CD-ROM ドライブが E ドライブの場合は、「E:¥Utils¥EraseReg.exe -d」となります。

POINT

- ▶ このユーティリティを実行すると、シングルサインオン用インストールによってレジストリに追加された、次の値を削除します。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion
¥Winlogon¥GinaDLL
パラメータ (-d) を付加せず実行した場合、レジストリは変更されません。

7 確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

POINT

- ▶ 「該当するレジストリが見つかりません」と表示された場合、本手順では回避できません。
- 「4 お問い合わせ先」(●▶ P. 212) にご相談ください。

8 結果が表示されたら、「OK」をクリックします。

9 パソコンを再起動します。

重要

- ▶ ドライバおよびユーティリティを削除するときに、本製品をパソコンにセットせずに行うと、本現象が発生する場合があります。本現象が発生した場合、ドライバおよびユーティリティの削除は完了していません。再度、本製品をセットした状態で、ドライバおよびユーティリティの削除を行ってください。その際、「プログラムの追加と削除」からセットアップを起動できない場合には、次の手順でセットアップを起動してください。
 1. 本製品に添付の CD-ROM をパソコンにセットします。
 2. 「FMV-JW481/2 ワイヤレス LAN ドライバ V4.1.2.71」ウィンドウで「Atheros Client Utility」をクリックします。
- ▶ 本手順を行うと、Windows にログオンできるようになりますが、GINA が正しくチェーンされていない可能性があります。その場合には、専用 GINA を使用するアプリケーションの再インストールを行ってください。再インストールを行っても、正しくチェーンされない場合は、専用 GINA を使用するアプリケーションの順番を変更してください。インストールの順番を変更すると、GINA のチェーンが正しく設定される場合があります。

3 Q&A (Mr.WLANner の場合)

ドライバユーティリティに「Mr.WLANner」をお使いの場合の Q&A です。

次の項目について記載しています。

「1 Q&A」(●▶ P. 178) も合わせてご覧ください。

- ・ 「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 201)
- ・ 「アドホック通信できません」(●▶ P. 204)
- ・ 「IP アドレス/MAC アドレスの確認方法」(●▶ P. 204)
- ・ 「Mr.WLANner の設定画面が開けません」(●▶ P. 206)
- ・ 「ユーティリティアイコンが通知領域に表示されません」(●▶ P. 206)
- ・ 「パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスに「×」マークがついています」(●▶ P. 208)
- ・ 「WPA 機能が使えません」(●▶ P. 209)
- ・ 「ドライバおよびユーティリティを削除したいのですが」(●▶ P. 209)

Q ネットワークに接続できません

- ・ 「ネットワークコンピュータ」をクリックしても、他のコンピュータが表示されないか、表示されても接続ができません。
- ・ インフラストラクチャ通信で、無線 LAN アクセスポイントに接続できません。

POINT

- ▶ スタンバイおよび休止状態から復帰した際、ネットワークに接続できない場合があります (Mr.WLANner の画面上で接続していても、接続できない場合もあります)。この場合には、接続するプロファイルを右クリックし、表示されるメニューから「再接続」を行ってください。
- ▶ コンピュータ起動時に、ネットワークドライブの再接続に失敗する場合がありますが、再接続に失敗したネットワークドライブをクリックすると接続できます。

アドホック通信の場合は、「アドホック通信できません」(●▶ P. 204) を合わせてご覧ください。

A SSID や WEP キーなどのセキュリティの設定を確認してください

設定内容の確認や変更は、「プロファイルの編集」ウィンドウにて行います。

「プロファイルの編集」ウィンドウについては、「プロファイル」(●▶ P. 144) をご覧ください。

- ・ アドホック通信の場合
接続するすべてのパソコンで、SSID、および WEP キーを同じ値に設定してください。
- ・ インフラストラクチャ通信の場合

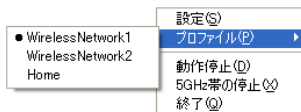
SSID、および WEP キーなどのセキュリティの設定を無線 LAN アクセスポイントと同じ値に設定してください。

設定内容を確認した後、次のように操作します。

- 1 「プロファイルの編集」ウィンドウを閉じます。
- 2 「Mr.WLANner」ウィンドウで、接続したいプロファイルをクリックし、表示されるメニューから「接続」をクリックします。

POINT

- ▶ それでも接続できない場合には、ユーティリティアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロファイル」から、接続したいプロファイルをクリックします。



A IP アドレスの設定を確認してください

お使いのプロトコルが TCP/IP の場合は、次の手順で IP アドレスを確認できます。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- 2 「コマンドプロンプト」ウィンドウで、次のように「**ipconfig**」コマンドを入力し、【Enter】キーを押します。

ipconfig

3 IP アドレスが正常に表示されているか確認します。

POINT

- ▶ IP アドレスが「169.254.nnn.mmm」または「0.0.0.0」と表示される場合、IP アドレスを正常に取得できていません。
次の点を確認して、設定に誤りがある場合は、修正してください。それでも現象が変わらない場合は、パソコンを再起動してください。
 - ・ セキュリティの設定が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ パソコンのインターネットプロトコル (TCP/IP) の設定
- ▶ IP アドレスが表示されず、「Cable Disconnected」または「Media Disconnected」と表示される場合、次の点を確認してください。
 - ・ SSID が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ セキュリティの設定が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか

A ネットワークの設定が正しいか確認してください

プロトコル、ワークグループ名や共有設定を確認してください。確認方法は、「1 ネットワークの設定 (Windows XP の場合)」(●▶ P. 158) をご覧ください。

A 電波の状態を確認してください

電波の状態が悪い場合、電波が届いていない場合があります。電波状態の確認方法は、「接続状況（電波状態）の確認」（●▶P. 141）をご覧ください。

□ アドホック通信の場合

接続相手のパソコンとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。

□ インフラストラクチャ通信の場合

無線 LAN アクセスポイントとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。

A 同一フロア内などで複数のワイヤレス LAN ネットワークがある場合、使用するチャンネルが重なっている可能性があります

近くに他のワイヤレス LAN のネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないように無線 LAN アクセスポイントのチャンネルを変更してください。使用中のチャンネルの確認方法は、「接続状況（電波状態）の確認」（●▶P. 141）をご覧ください。

A 使用する周波数帯が正しいか確認してください

使用する周波数帯の確認は、「オプション」ウィンドウの「ネットワークタイプ」項目で行います。「オプション」ウィンドウについては、「オプション設定」（●▶P. 151）をご覧ください。

A 接続先のパソコンで、次の確認を行ってください

- ・ 接続先のパソコンの電源が入っているか、確認してください。
- ・ 接続先のネットワークに、アクセスする権限があるか確認してください。

A コンピュータの検索をしてください

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるまでに時間がかかっている可能性があります。次の手順でコンピュータの検索をしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「検索」の順にクリックします。
- 2 「コンピュータまたは人」をクリックします。
- 3 「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。
- 4 「コンピュータ名」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索」をクリックします。
- 5 検索されたコンピュータのアイコンをクリックします。

Q アドホック通信できません

「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 201) を合わせてご覧ください。

A ワイヤレス LAN の設定を確認してください

アドホック通信するパソコンのワイヤレス LAN の設定が、すべてのパソコンで同じ設定になっていることを確認してください。

設定内容の確認や変更は、「プロファイルの編集」ウィンドウにて行います。

「プロファイルの編集」ウィンドウについては、「プロファイル」(●▶ P. 144) をご覧ください。


A ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 とのアドホック通信で、接続できない場合があります

ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 を搭載したパソコンとアドホック通信を行う場合は、ワイヤレス LAN カード FMV-JW381 を搭載したパソコンを先に起動してください。なお、本現象は、ワイヤレス LAN デバイス「FUJITSU 802.11a Wireless LAN Adapter(T)」を搭載したパソコンでも発生する場合があります。

Q IP アドレス／MAC アドレスの確認方法

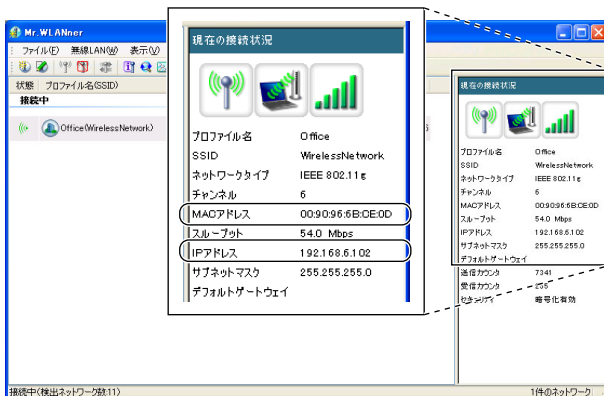
A ユーティリティでの IP アドレス／MAC アドレス確認方法

1

デスクトップ右下の通知領域からユーティリティアイコン () を右クリックし、表示されるメニューから「設定」をクリックします。
「Mr. WLANer」ウィンドウが表示されます。

2

画面右側の「現在の接続状況」で IP アドレスと MAC アドレスを確認します。



A コマンドプロンプトでの IP アドレス／MAC アドレス確認方法

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

2 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

ipconfig /all

3 IP アドレスが正常に表示されているか確認します。

POINT

1台のパソコンで、本製品と、別の LAN 機能を同時に運用している場合

「Description」に「FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)」と表示された接続の IP アドレスが、正常に取得できているか確認してください。

正常な場合は、次のように表示されます（IP アドレスが 192.168.0.73 の場合）。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続 3:  
Connection-specific DNS Suffix . :  
Description . . . . . : FUJITSU 802.11a/g Wireless LAN Adapter(A)  
Physical Address. . . . . : 00-90-96-62-26-D1  
DHCP Enabled. . . . . : Yes  
Autoconfiguration Enabled . . . . : Yes  
IP Address. . . . . : 192.168.0.73  
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.128  
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1  
DHCP Server . . . . . : 192.168.0.1  
DNS Servers . . . . . : 192.168.0.1  
Lease Obtained. . . . . : 2003年7月10日 9:20:40  
Lease Expires . . . . . : 2003年7月13日 9:20:40
```

POINT

IP Address が正常に表示されない場合

「IP Address」の項目が次のように表示される、または正常に表示されない場合は、次の方法で確認してください。

- ▶ 「IP Address」に、169.254.nnn.mmm または 0.0.0.0 と表示された場合、IP アドレスを正常に取得できていません。
「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 201) をご覧ください。
- ▶ 「IP Address」が表示されず、「Media State」に「Media Disconnected」と表示された場合、ネットワークに接続できていません。
「ネットワークに接続できません」(●▶ P. 201) をご覧ください。
次の点を確認してください。
 - ・ SSID が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ セキュリティの設定が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか
 - ・ ネットワーク認証が無線 LAN アクセスポイントと一致しているか

4 MAC アドレスを確認します。

「Physical Address」の値が MAC アドレスです。

5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

exit

「コマンドプロンプト」ウィンドウが閉じます。

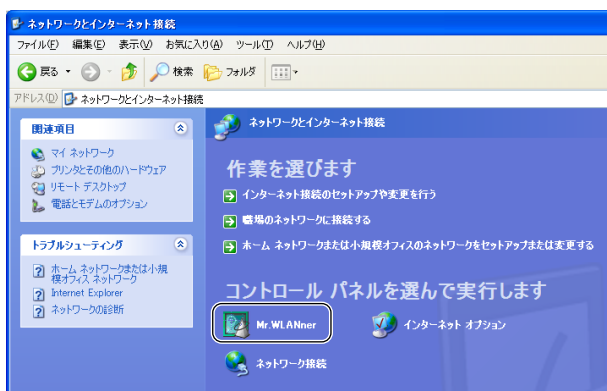
Q Mr.WLANner の設定画面が開けません

A ユーティリティアイコンが表示されていない場合はコントロールパネルから起動します

通常、Mr.WLANner は、デスクトップ右下の通知領域に表示されているユーティリティアイコンをクリックすると起動します。

ユーティリティアイコンを右クリックして表示されるメニューから「終了」を行った場合や、Mr.WLANner のシステム設定で「Mr.WLANner アイコンを表示する」を ☐ にしている場合は、デスクトップ右下の通知領域にユーティリティアイコンが表示されません。この場合は、次の手順で起動してください。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
- 3 「Mr.WLANner」をクリックします。

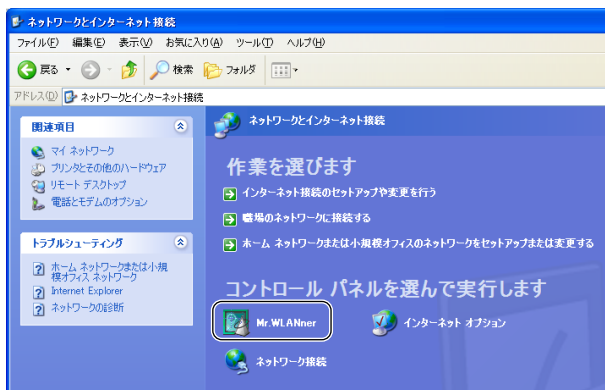


Mr.WLANner が起動します。

Q ユーティリティアイコンが通知領域に表示されません

A ユーティリティアイコンの設定が非表示設定になっています

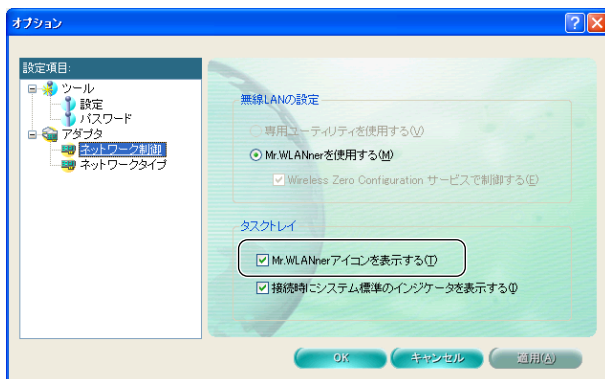
- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
- 3 「Mr.WLANner」をクリックします。



Mr.WLANner が起動します。

- 4 「設定」メニュー→「オプション」の順にクリックします。
「オプション」ウィンドウが表示されます。

- 5 「ネットワーク制御」をクリックし、**Mr.WLANner** のアイコンの設定を確認します。



「Mr.WLANner アイコンを表示する」が ☐ になっている場合は、通知領域にユーティリティアイコンが表示されません。
アイコンを通知領域に表示させる場合は、「Mr.WLANner アイコンを表示する」をクリックして ☒ にします。

- A 本製品がパソコンの PC カードスロットに確実にセットされているか確認してください

本製品の向きを確認し、セットし直してください。

Q パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスに「x」マークがついています

POINT

デバイスマネージャ画面について

デバイスマネージャ画面では、ハードウェアの状態などを確認できます。次のように操作して表示します。

1. 「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックします。
3. 「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスの確認方法

1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

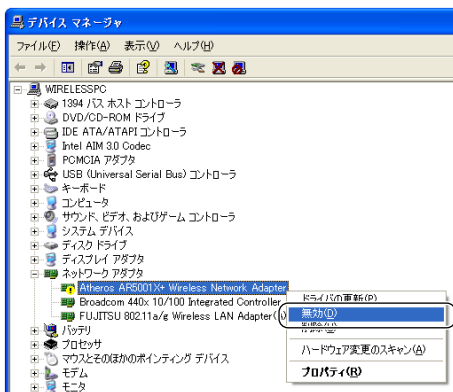
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。表示形式を「詳細」にして、デバイス名を確認してください。

A ワイヤレス LAN 機能を搭載しているパソコンで本製品をお使いになる場合、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスは使用できません

本製品のインストール時に、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが無効に設定されます。

ただし、お使いの環境によって、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスが無効に設定されない場合がありますので、その際は、無効に設定してください。

無効に設定するには、デバイスマネージャの画面で、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN デバイスを右クリックして、表示されるメニューから「無効」をクリックします。



Q WPA 機能が使えません

A WPA 機能をお使いになるには、Windows XP SP2 をインストールする必要があります

インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

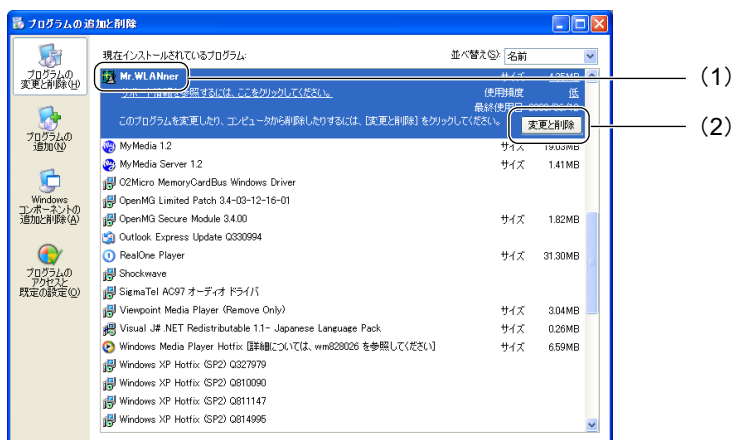
Q ドライバおよびユーティリティを削除したいのです

A 次の手順で削除してください

重要

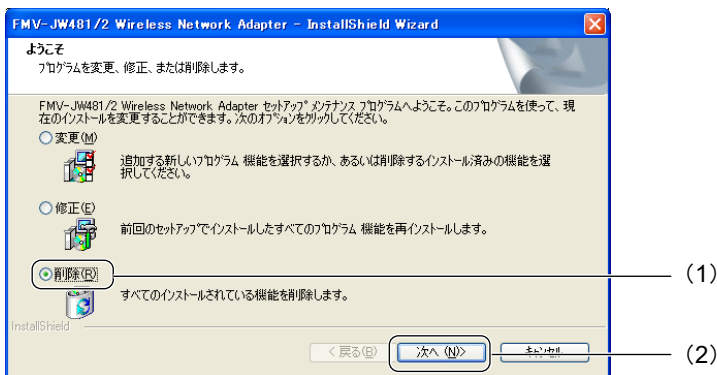
- ▶ 本製品をパソコンにセットした状態で、本手順を開始してください。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの追加と削除」ウィンドウが表示されます。
- 3 「現在インストールされているプログラム」で (1)「Mr.WLANner」をクリックし、(2)「変更と削除」をクリックします。




「InstallShield Wizard」ウィンドウが表示されます。

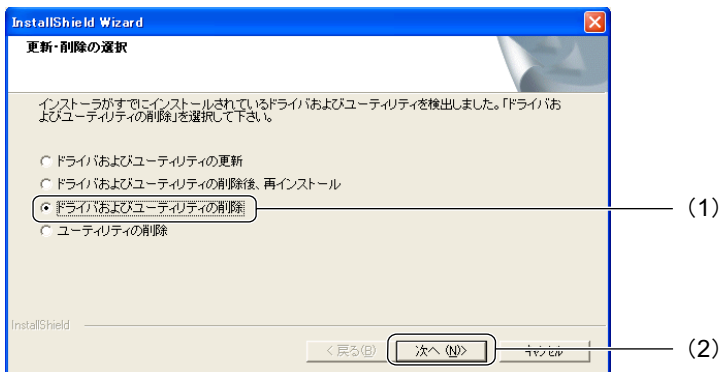
- 4 (1)「削除」をクリックして  にし、(2)「次へ」をクリックします。




5 確認のメッセージが表示されますので「はい」をクリックします。
ユーティリティが削除されます。

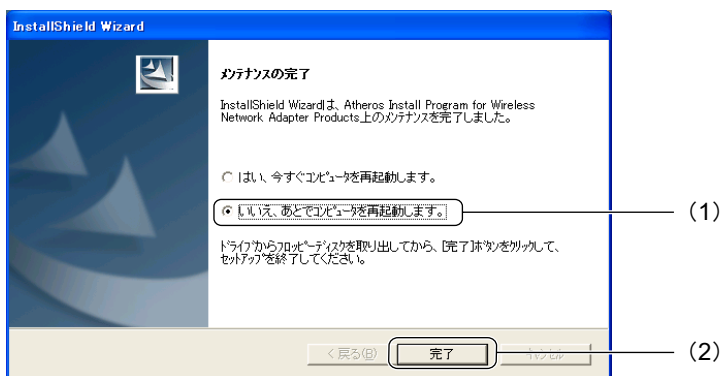
6 ドライバのアンインストール確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

7 (1)「ドライバおよびユーティリティの削除」をクリックして  にし、
(2)「次へ」をクリックします。



8 「ファイル削除の確認」ウィンドウで「OK」をクリックします。
ドライバが削除されます。

9 「メンテナンスの完了」が表示されたら、(1)「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」をクリックして  にし、(2)「完了」をクリックします。



10 「プログラムの追加と削除」ウィンドウを閉じます。

11 「コントロールパネル」ウィンドウを閉じます。

12 **Windows** を終了し、パソコンの電源を切ります。

13 本製品をパソコンから取り外します。

取り外し方法についてはパソコン本体のマニュアルをご覧ください。

POINT

- ▶ 本手順を行うと、パソコン本体に搭載されているワイヤレス LAN のドライバも削除される場合があります。
その場合には、パソコン本体に添付の「ドライバズディスク」または「アプリケーションディスク」からワイヤレス LAN ドライバをインストールしてください。

4 お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただきます場合があります。

■ 故障・修理に関するお問い合わせ先

□ 法人のお客様

「富士通ハードウェア修理相談センター」

- フリーダイヤル 0120-422-297
- お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

□ 個人のお客様

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222
- お問い合わせ時間 24 時間・365 日対応

■ 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222
- お問い合わせ時間 9:00～17:00

第 6 章

付録

ネットワーク関連の用語と本製品の仕様について説明します。

1	用語集.....	214
2	仕様.....	219

1 用語集

本製品をお使いになる上で参考となるネットワーク関連の用語について説明します。

AES (Advanced Encryption Standard)

強固な暗号化方式としてワイヤレス LAN への幅広い普及が見込まれています。暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael (ラインダール)」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化を行います。データ長は 128、192、256 ビット、鍵の長さは 128、192、256 ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設計されています。

CA 局 (Certification Authority)

インターネット上の電子資産を証明するために使用される電子証明書を発行する機関です。
電子証明書の所有者の身元を確認し、証明します。

DFS (Dynamic Frequency Control)

航空管制レーダーや気象レーダーなどで使用されるレーダーの干渉波を検出して、使用するチャンネルを自動的に変更する、無線 LAN アクセスポイントの機能です。レーダーの検出は、無線 LAN アクセスポイントの起動時に行われた後も定期的に行われます。レーダーが検出された場合には、使用するチャンネルが変更されるため、通信がいったん切断されます。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IP アドレスなどの通信に関するパラメータを自動取得するために使用するプロトコルです。
IP アドレスを与える側を DHCP サーバー、IP アドレスを与えられる側を DHCP クライアントと呼びます。

DNS (Domain Name System)

コンピュータに割り当てた IP アドレスと名前の対応を管理する機能です。
IP アドレスがわからないコンピュータでも名前がわかっているコンピュータと通信できます。

EAP (Extensible Authentication Protocol)

リモートアクセスによるユーザー認証の際に使用されるプロトコルです。
電子証明書を使用する EAP-TLS や電子証明書とユーザー ID / パスワードを使用する PEAP などがあります。

ICMP (Internet Control Message Protocol)

通信回線の状況を確認する際に使用されるプロトコルで、PING などで使用されます。

IEEE 802.11a

IEEE (米国電気電子学会) で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、ワイヤレス LAN の規格の 1 つです。5GHz 帯を使った高速ワイヤレス

LAN の規格で、最大 54Mbps の通信が行えます。変調方式として、エラー訂正に優れた OFDM 方式を採用しています。

IEEE 802.11b

IEEE（米国電気電子学会）で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、ワイヤレス LAN の規格の 1 つです。無線免許なしで自由に使える 2.4GHz 帯の電波（ISM バンド）を使い、最大 11Mbps の速度で通信を行うことができます。

IEEE 802.11g

IEEE（米国電気電子学会）で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、ワイヤレス LAN の規格の 1 つです。現在最も普及している IEEE 802.11b と互換性を持ち、同じ 2.4GHz 帯を使いながら、最大で 54Mbps の通信が行えます。

IEEE 802.1X

ネットワークでのユーザー認証方式を定めた IEEE 標準プロトコルです。クライアントは、RADIUS サーバーとの相互認証が成功しない限り、ネットワークにアクセスすることはできません。クライアントと RADIUS サーバーで相互認証が成功するとセッションごとにネットワークキーが自動的に生成され、クライアントに配信されます。このため、ワイヤレス LAN クライアントで個々にネットワークキーを設定する必要がありません。また、通信中にもネットワークキーを自動的に変更するためセキュリティが高まります。認証の種類には電子証明書を使った TLS、電子証明書とユーザー名／パスワードを使用した PEAP などがあります。

IP アドレス（Internet Protocol Address）

TCP/IP 環境で、パソコンが通信するために使用するアドレスです。

現在使用されている IPv4（バージョン 4）では、0 から 255 までの、4 個の数値で表します（例：192.168.100.123）。

また、IP アドレスには、グローバルアドレスとプライベートアドレスがあります。

グローバルアドレスは、世界でただひとつのアドレスです。国内では、JPNIC（日本ネットワークインフォメーションセンター）により管理されています。プライベートアドレスは、閉じたネットワークの中でひとつのアドレスです。

LAN（Local Area Network）

同一フロアやビルなどの比較的狭い範囲で、コンピュータどうしを接続した環境をいいます。

MAC アドレス（Media Access Control Address）

ネットワークカードに固有の物理アドレスです。

Ethernet ならバイト長で、先頭の 3 バイトはベンダコードとして IEEE が管理／割り当てを行っています。残り 3 バイトは各ベンダで独自に（重複しないように）管理しているコードですので、結果として、世界中で同じ物理アドレスを持つ Ethernet カードは存在せず、すべて異なるアドレスが割り当てられていることになります。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行っています。

MTU (Maximum Transmission Unit)

インターネットなどのネットワーク上で、一度に転送可能な最大データサイズのことです。最大データサイズが大きすぎてデータが正しく通信できない環境などでは、MTU のサイズを小さく設定することにより正常に通信できるようになります。

PEAP (Protected Extensible Authentication Protocol)

IEEE 802.1X の認証プロトコルの 1 つです。PEAP では、電子証明書および ID / パスワードを使って認証を行います。

PING (Packet Internet Groper)

インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、相手先のコンピュータと通信できているかや通信回線の状況を確認するコマンドです。

PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet)

電話回線接続で使用する認証プロトコル (PPP) を、Ethernet 上で使用するための方式です。

PSK (Pre-shared Key)

暗号化キーを生成するために用いられる文字列 (事前共有キー) のことです。また、あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントとで一致した場合、相互認証を行う簡易認証の方式を表す場合もあります。

SSID (Security Set Identifier)

ワイヤレス LAN を構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを SSID で行います。さらにセキュリティ強化のためにネットワークキーを設定し、SSID とネットワークキーが一致しないと通信できないようになっています。

Super AG, Super G

米国アセロス・コミュニケーションズ社の開発した無線高速化技術です。通信データフレームをバースト転送する技術に加え、データの圧縮を行うことによって、ワイヤレス通信をより高速化します。

Super AG および Super G をご利用になるには、無線 LAN アクセスポイント側もご利用になる機能に対応している必要があります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

WEP に代わる暗号化方式です。静的な WEP に対し、動的に暗号化キーを生成します。暗号化キーをパケットごとに自動的に更新したり、通信データを複雑にしたりして、暗号強度を大幅に高めています。

TLS (Transport Layer Security)

IEEE 802.1X の認証プロトコルの 1 つです。TLS では、電子証明書を使って認証を行います。

WEP キー (Wired Equivalent Privacy Key)

ワイヤレス LAN でデータ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。

本製品はデータの暗号化／復号化共に同一のネットワークキーを用いるため、通信する相手と同一のネットワークキーを設定する必要があります。

Wi-Fi® (Wireless Fidelity)

ワイヤレス LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi Alliance が新たに策定したセキュリティ規格です。従来の SSID や WEP キーに加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi Alliance が新たに策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK (WPA Pre-Shared Key)

WPA の家庭向け簡易認証方式です。PSK が無線 LAN アクセスポイントと一致した場合、相互認証を行います。

アドホック

ワイヤレス LAN のネットワーク構成の呼び名です。ワイヤレス LAN カードを搭載したコンピュータどうして通信を行う形態を言います。詳しくは「アドホック通信」(●▶P. 22) をご覧ください。

インフラストラクチャ

ワイヤレス LAN のネットワーク構成の呼び名です。無線 LAN アクセスポイントを使用して通信を行う形態を言います。詳しくは、「インフラストラクチャ通信」(●▶P. 21) をご覧ください。

オープンシステム認証

ワイヤレス LAN のネットワーク認証の 1 つです。認証の際にネットワークキーの確認を行わないため、クライアントは正しいネットワークキーを提示しなくても無線 LAN アクセスポイントと接続することができます。しかし、実際に通信を行う場合には同じネットワークキーが設定されている必要があります。オープンキー認証と呼ばれる場合もあります。

共有キー (シェアードキー) 認証

ワイヤレス LAN のネットワーク認証の 1 つです。無線 LAN アクセスポイントは、クライアントに対し、同じネットワークキーが設定されているかどうかを認証する際に確認します。クライアントが誤ったネットワークキーを使用している場合や、ネットワークキーが設定されていない場合は認証に失敗し、無線 LAN アクセスポイントと通信できなくなります。

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークは、複数の小さなネットワーク (サブネット) に分割されて管理されます。IP アドレスは、そのサブネットのアドレスと、個々のコンピュータのアドレスから構成されています。IP アドレスの何ビットがサブネットのアドレスかを定義するのが、サブネットマスクです。

チャンネル

ワイヤレス LAN カードや無線 LAN アクセスポイントで通信するために使用する、無線の周波数帯を表します。

認証サーバー

ユーザーのネットワークアクセスを許可するか否かを確認するサーバーのことです。

ソフトウェアでユーザーの名前やパスワードなどを一括管理します。暗号を利用した認証用のプロトコルを使い、ユーザーが「アクセスを許可された本人である」ことを認証します。RADIUS サーバーなどがこれに該当します。

ネットワーク認証

ワイヤレス LAN クライアントが、無線 LAN アクセスポイントと接続する場合に行う認証方式を指します。オープンシステム認証と、共有キー（シェアードキー）認証があります。認証方法は、それぞれのクライアントに設定されていなければならない、通信したい無線 LAN アクセスポイントの設定とも一致している必要があります。認証モードと呼ばれる場合もあります。

パスフレーズ

PSK を ASCII 文字で設定した値のことを指します。

プリアンプル

無線通信において同期をとるために、データの前に付加するビット列のことです。アドホック通信で通信を開始できない場合には、この設定を切り替えます。通常は変更する必要はありません。

2 仕様

FMV-JW482 および FMV-JW481 の仕様について、それぞれ次をご覧ください。

- ・ 「FMV-JW482 の仕様」 (●▶ P. 219)
- ・ 「FMV-JW481 の仕様」 (●▶ P. 220)

FMV-JW482 の仕様

種類	仕様
ワイヤレス LAN 規格	IEEE 802.11a 準拠 (J52/W52/W53) [注 1] IEEE 802.11b 準拠 [注 1] IEEE 802.11g 準拠 [注 1]
伝送方式	OFDM 方式 DS-SS 方式
転送レート	DS-SS : 11/5.5/2/1Mbps (自動切り替え) OFDM : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動切り替え)
周波数範囲	5150MHz～5340MHz 2400MHz～2497MHz
チャンネル数	IEEE 802.11a 準拠 (J52/W52/W53) : 12ch (そのうち 1ch を使用) IEEE 802.11b 準拠 : 14ch (DS-SS) (そのうち 1ch を使用) IEEE 802.11g 準拠 : 13ch (OFDM) (そのうち 1ch を使用)
本体インターフェース	PC Card Standard 準拠 Card Bus Type II
VCCI	Class B
セキュリティ	SSID WEP キー (64 ビット、128 ビット、152 ビット) [注 2] WPA-PSK, WPA2-PSK [注 3] [注 4] WPA (TLS、PEAP) , WPA2 (TLS、PEAP) [注 3] [注 4] IEEE 802.1X (TLS、PEAP)
対応 OS	Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004 Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 Microsoft® Windows® 2000 Professional
動作電源電圧	DC3.3V

種類	仕様
消費電流	480mA (Max)
外形寸法	W54mm×D118mm×H7mm
質量	38g
推奨接続台数（アドホック通信時）	最大 10 台 ^[注 5]
推奨最大通信距離	IEEE 802.11a (J52/W52/W53) : 15m IEEE 802.11b/IEEE 802.11g : 25m

[注 1] Wi-Fi[®]に準拠しています。Wi-Fi[®]準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

[注 2] WEP キーによる暗号化は、上記ビットで行いますが、お客様が設定可能なビット数は、固定長 24 ビットを差し引いた 40 ビット、104 ビット、128 ビットです。本書の本文中では、お客様が設定可能なビット数（40 ビット、104 ビット、128 ビット）で記述しています。

[注 3] WPA に準拠しています。WPA 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」が提唱するセキュリティ規格 WPA（Wi-Fi Protected Access）の相互接続性テストに合格していることを示します。

[注 4] Mr.WLANner をお使いの場合、Microsoft 社が提供する Windows XP SP2 をインストールする必要があります。また、WPA2 を使用する場合は、Windows XP の更新プログラム（KB893357）を適用する必要があります。
インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

[注 5] お使いになる環境によって、接続可能台数は減少することがあります。

FMV-JW481 の仕様

種類	仕様
ワイヤレス LAN 規格	IEEE 802.11a 準拠 (J52/W52) ^[注 1] IEEE 802.11b 準拠 ^[注 1] IEEE 802.11g 準拠 ^[注 1]
周波数範囲	5150MHz～5260MHz 2400MHz～2497MHz
チャンネル数	IEEE 802.11a 準拠 (J52/W52) : 8ch（そのうち 1ch を使用） IEEE 802.11b 準拠 : 14ch（DS-SS）（そのうち 1ch を使用） IEEE 802.11g 準拠 : 13ch（OFDM）（そのうち 1ch を使用）

種類	仕様
ワイヤレス LAN 規格	IEEE 802.11a 準拠 (J52) [注 1] IEEE 802.11b 準拠 [注 1] IEEE 802.11g 準拠 [注 1]
周波数範囲	5150MHz～5250MHz 2400MHz～2497MHz
チャンネル数	IEEE 802.11a 準拠 (J52) : 4ch (そのうち 1ch を使用) IEEE 802.11b 準拠 : 14ch (DS-SS) (そのうち 1ch を使用) IEEE 802.11g 準拠 : 13ch (OFDM) (そのうち 1ch を使用)

種類	仕様
伝送方式	OFDM 方式 DS-SS 方式
転送レート	DS-SS : 11/5.5/2/1Mbps (自動切り替え) OFDM : 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動切り替え)
本体インターフェース	PC Card Standard 準拠 Card Bus Type II
VCCI	Class B
セキュリティ	SSID WEP キー (64 ビット、128 ビット、152 ビット) [注 2] WPA-PSK, WPA2-PSK [注 3] [注 4] WPA (TLS、PEAP) , WPA2 (TLS、PEAP) [注 3] [注 4] IEEE 802.1X (TLS、PEAP)
対応 OS	Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2004 Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 Microsoft® Windows® 2000 Professional
動作電源電圧	DC3.3V
消費電流	590mA (Max)
外形寸法	W54mm×D121mm×H6mm
質量	40g
推奨接続台数 (アドホック通信時)	最大 10 台 [注 5]
推奨最大通信距離	IEEE 802.11a : 15m IEEE 802.11b/IEEE 802.11g : 25m

- [注 1] Wi-Fi®に準拠しています。Wi-Fi®準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- [注 2] WEP キーによる暗号化は、上記ビットで行いますが、お客様が設定可能なビット数は、固定長 24 ビットを差し引いた 40 ビット、104 ビット、128 ビットです。本書の本文中では、お客様が設定可能なビット数（40 ビット、104 ビット、128 ビット）で記述しています。
- [注 3] WPA に準拠しています。WPA 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」が提唱するセキュリティ規格 WPA（Wi-Fi Protected Access）の相互接続性テストに合格していることを示します。
- [注 4] Mr.WLANner をお使いの場合、Microsoft 社が提供する Windows XP SP2 をインストールする必要があります。また、WPA2 を使用する場合は、Windows XP の更新プログラム（KB893357）を適用する必要があります。
インストール方法については、Microsoft 社のホームページをご覧ください。
- [注 5] お使いになる環境によって、接続可能台数は減少することがあります。

ワイヤレス LAN カード FMV-JW481/2
取扱説明書（ワイヤレス LAN ドライバ V4.1.2.71 対応）

B5FY-6131-01 Z2-00

発行日 2005 年 10 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。